

西海市第4次子ども読書活動推進計画



国指定重要文化財：西海橋

令和5（2023）年3月
西海市教育委員会

目 次

第 1 章 西海市第 4 次子ども読書活動推進計画の概要

- 1 計画の目的・・・・・・・・・・2
- 2 計画の対象・・・・・・・・・・2
- 3 計画の期間・・・・・・・・・・2
- 4 計画の基本方針・・・・・・・・・・3

第 2 章 第 3 次計画における子ども読書活動の取組・成果・課題

- 1 市立図書館（室）における読書活動の取組・・・・・・・・・・4
- 2 家庭における読書活動の取組・・・・・・・・・・10
- 3 学校・幼稚園・保育園等における読書活動の取組・・・・・・・・・・13
- 4 「家庭」・「学校」・「幼稚園」・「保育園」・「市立図書館（室）」・「地域」の連携・協力・・・・・・・・・・17
- 西海市独自の数値目標実績（令和 4（2022）年度実績）・・・・・・・・・・21

第 3 章 第 4 次計画における子ども読書活動推進の具体的な方策

- 1 市立図書館（室）における読書活動の推進・・・・・・・・・・22
- 2 家庭における読書活動の推進・・・・・・・・・・26
- 3 学校・幼稚園・保育園・放課後児童クラブにおける読書活動の推進・・・・・・・・・・27
- 4 「家庭」・「学校」・「幼稚園」・「こども園」・「保育園」・「放課後児童クラブ」・「市立図書館（室）」・「地域」の連携・協力・・・・・・・・・・29

第 4 章 子ども読書活動推進計画の数値目標

- 1 第二期西海市教育振興基本計画の数値目標（関係項目抜粋）・・・・・・・・・・31
- 2 本計画独自の数値目標・・・・・・・・・・32

資料

- 1 読書アンケート調査集計結果及びまとめ
- 2 西海市立図書館協議会委員名簿
（任期：令和 3 年 6 月 1 日～令和 5 年 5 月 31 日）
- 3 西海市立図書館（室）一覧表
- 4 用語の意味索引

第1章 西海市第4次子ども読書活動推進計画の概要

1 計画の目的

西海市では、教育方針に「豊かな自然や文化を愛し、生涯にわたり学び続けることができる教育の里づくり」を掲げ、その実現に向け取り組んでいます。なかでも、子どもの読書推進については、子どもの心豊かで健やかな成長のための重要な施策の一つとしてとらえています。

子どもの読書活動は、「子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないもの」（「子どもの読書活動の推進に関する法律」第2条）であり、市民協働で読書推進の風土を醸成して、子ども読書の推進を図っていく必要があります。

子どもはブックスタート等をきっかけにして乳幼児期に絵本と出会い、幼稚園・こども園・保育園・小学校・中学校・高等学校等で素晴らしい本に親しむことで、自分の読書の世界を広げるだけでなく、先人の知恵や人類の知的財産を継承し、さらには生きる指針を得ることにもつながります。

このように、読書を通して、子どもは広い世界を知り、自分自身の考えを確かめたり、創造力を高めたりするとともに感性を磨き、豊かな情操をはぐくみながら人間として成長していくのです。

西海市第4次子ども読書活動推進計画（以下、「本計画」とします。）は、西海市第3次子ども読書活動推進計画（以下、「第3次計画」とします。）の取組・成果・課題を明らかにし、子どもたちを取り巻く現状やアンケート結果を踏まえながら、読書活動を推進するための具体的な方策を示し、多くの方々に読書に親しんでもらうことを目的としています。

なお、本計画は、「子どもの読書活動の推進に関する法律」第9条第2項に基づき作成する計画であり、「第二期西海市教育振興基本計画」など他計画との整合を図ります。

2 計画の対象

「子どもの読書活動の推進に関する法律」に準じ、本計画でいう「子ども」とは「概ね18歳以下の者」をいいます。

また、本計画では、「家庭」・「学校」・「幼稚園」・「こども園」・「保育園」・「放課後児童クラブ」・「市立図書館（室）」・「地域」で読書活動を推進する個人及び団体を対象として計画を推進します。

3 計画の期間

本計画の期間は、令和5（2023）年度から令和9（2027）年度までの5年間とします。

4 計画の基本方針

子どもを取り巻く社会情勢は、少子高齢化や核家族化といった社会構造の中で個々のライフスタイルや価値観が多様化していることに加えて、インターネットやスマートフォンをはじめとする情報媒体の多様化による文字離れ、活字離れが懸念されています。そのような中、西海市の子どもが読書活動を通して心豊かで健やかに成長することを目指し、次の項目を基本方針とします。

☆子どもが読書に親しむ機会の提供・充実

☆子どもの読書環境の整備・充実

☆「家庭」・「学校」・「幼稚園」・「こども園」・「保育園」・「放課後児童クラブ」・「市立図書館（室）」・「地域」の連携・協力

○各分野における読書活動の推進

家庭

子どもが乳幼児期から読書に親しんだり楽しんだりするきっかけづくりや読書の習慣づけなど、家族ぐるみで読書をする環境が整えられるよう、大人が読書の意義や重要性についての理解を深め、実践していくための啓発活動や情報提供・共有化に努めます。

学校・幼稚園・こども園・保育園・放課後児童クラブ

読書することにより、いろいろな基礎的な知識や技能を得るとともに、これらを活用して課題解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力をはぐくむことができるよう、発達段階に応じた本の提供や環境の整備を行います。

また、学校図書館においては学習資料を充実させ、読書をする場所ではなく、調べ学習の軸となる「学習・情報センター」として活用するため、環境の整備を行います。

市立図書館（室）

市立図書館（室）は、子どもにとって多くの蔵書から読みたい本を自由に選択して読むことができ、大人にとっても子どもと一緒に本の世界を楽しむことや子どもの本に関して気軽に相談できる場所です。

子どもが読みたい本を自由に手に取り、読書の楽しさや学ぶ喜びが体験できるよう、子どもが読書に親しむ機会の提供や環境の整備を行います。

また、子どもたちの発達段階にあったサービスが継続的に提供できるように体制を整えとともに、子どもを取り巻く全ての大人が読書活動に理解と関心を持つことが重要であることを認識し、読書の意義や有用性について啓発していきます。

地域

子どもに関わる個人や団体、施設、図書ボランティアグループなど、子どもを取り巻く関係者が、相互連携・協力を図りながら、子どもの読書推進に取り組み、啓発活動を展開します。

第2章 第3次計画における子ども読書活動の取組・成果・課題

「第3次計画」では、

- (1) 市立図書館（室）における読書活動の推進
- (2) 家庭における読書活動の推進
- (3) 学校・幼稚園・保育園等における読書活動の推進
- (4) 家庭・学校・幼稚園・保育園・市立図書館（室）・地域の連携・協力

の4つを基本方針として、子どもたちの年齢や状況に応じた読書活動を推進してきました。

乳児健診時におけるブックスタートパック提供のサービス実施や、図書館システム導入による相互貸借サービス充実、学校及び幼稚園や保育園などに対して移動図書や団体貸出を実施することにより、読書に親しむ機会の提供・充実や環境整備が進みましたが、図書ボランティアへの支援や図書ボランティアグループのネットワークづくりなど「人材育成」及び「人材活用」の推進についてはまだ充分とは言えず、引き続き、継続して、その推進に取り組んでいく必要があります。

1 市立図書館（室）における読書活動の推進

◇ブックモバイル（移動図書館車）の導入

取組

移動図書サービスを行う上では、専用の車両がないために一度に運搬できる図書数に限りがあること、毎回コンテナに入れた図書を積み下ろしするため作業時間がかかり、行くことができる場所が限られること等の課題があります。この状況を改善するため、ブックモバイル（移動図書館車）の導入を検討します。

これにより多くの図書を運搬することが可能となるほか、これまで時間的な制約から移動図書サービスを行うことが難しかった団体や図書館（室）のない高齢者施設等へのサービス実現にもつながり、子どもたちはもちろんのこと、図書館（室）へ行くことが困難な方へ身近に本を届けるサービスを展開します。

成果

導入に向け導入済市町への視察や費用対効果などの調査研究を行いました。導入には至りませんでした。

課題

導入によって向上する市民サービスとして、対象を学校など現在の移動図書サービスに限定することで導入費用を抑えるか、市内全域も対象とし、図書だけでなく買い物弱者への支援もできるよう関係部署と連携した全市的取り組みとして効果をあげる内容とするか、違う視点でのサービス向上はできないかまた、市民のニーズの度合も考慮するなど費用対効果の調査研究を継続する必要があります。

◇ブックスタート実施及び健診等での読み語り

取組

乳幼児期から本に親しむためのきっかけづくりとして保健福祉部局と連携を図りながら取り組んでいるブックスタート事業を、今後も生後4ヶ月から6ヶ月の間に行っている乳児健診時において継続的に実施し、家庭読書の意義や読み語りの大切さ等を説明するとともに家庭での読み語り実践を促します。



令和4年度
ブックスタートパック

また、1歳6ヶ月児健診や3歳6ヶ月児健診、就学児健診等では市立図書館（室）職員等が健診場所に出向いて子どもたちへの読み語り等を実施し、読書の楽しさを体験する機会を提供します。

ブックスタートとは・・・

地域に生まれた全ての赤ちゃんと保護者を対象に、親子で絵本をひらく時間の楽しさを実際に体験してもらいながら絵本セットを手渡し、絵本を介して親子の心ふれあうひとときを過ごすきっかけを提供するものです。

読み語りとは・・・

これまで「読み聞かせ」の言葉も使われてきましたが、西海市においては『長崎県子ども読書活動推進計画』にあわせ「読み語り」の言葉を使います。

成果

乳児健診時のブックスタート実施率は、令和2年度で100%であり、継続して絵本を通しての親子のコミュニケーションを図る機会の提供や、文字や言葉の意味を理解する前の年齢から本に触れる機会を作ることにより、読書習慣の醸成を図りました。

ブックスタートパック受け渡し時のアンケートでは、「読み語りを実施している」との回答は73.7%にのぼり、また、「読み語りをしている人」についての質問では母親が行っている割合が高いという結果になっていますが、父親やきょうだいも読み語りを行っているとの回答もあることから、家庭のなかで絵本を通してのコミュニケーションが図られていることがうかがえます。

課題

読書アンケートより、全ての保護者が読み語りを行っているわけではないことから継続して保護者に対し様々な機会を活用して読み語りの意義を伝えるとともに、読書の相談を受けるなど、読書に親しむ機会を作るきっかけづくりを行うことが課題です。

◇市立図書館（室）職員の適正配置・研修の充実

取組

子どもと本を結びつける重要な役割を担う市立図書館（室）職員の配置は必要不可欠であり、レファレンスが活用されるためには図書司書等の専門知識を持つ経験豊かな職員の配置が重要になります。

正規職員の配置や非常勤職員、臨時職員の継続的な雇用も含めて、各市立図書館（室）の実情にあった職員の適正配置に努めます。

また、充実した図書館サービスや職員の知識向上を図るため、定期的に様々な研修会へ積極的に参加し、研鑽を積むための研修機会を設けます。

レファレンスとは・・・

図書館などで、利用者の問い合わせに応じ、図書の照会や検索をする業務のことです。

図書司書とは・・・

都道府県や市町村の公的図書館等で図書館資料の選択、発注及び受け入れから、分類、目録作成、貸出業務、読書案内などを行う専門的職員であり図書館法にて定められた国家資格です。

成果

平成 30 年度より 1 名増員を行い、崎戸図書室を除く市内 4 施設において各施設に 3 名ずつ配置が実現できたことで、働き方含め窓口対応のサービス向上を図ることができました。

また、年 3 回行われる長崎県立長崎図書館（ミライ on 図書館）にて実施される研修に参加し、各自の資質向上を図りました。

課題

昨今の SNS の普及に伴い、情報ニーズが多様化しており、利用者の要望に応えるためにはより広い知識が必要となることから積極的な研修への参加とともに、電子図書館における発信力強化のため、勉強会などが必要となります。

SNS とは・・・

ソーシャルネットワーキングサービスの略で、LINE（ライン）や Twitter（ツイッター）、Facebook（フェイスブック）など登録された利用者同士が交流できる Web サイトの会員制サービスのことです。

◇子どもが本と親しむための行事の充実

取組

図書館（室）を身近な存在として感じてもらうため、また、本の楽しさを体感してもらうため、西海市全体のイベントとして『西海市図書館まつり』を各地区巡回で毎年開催します。

また、新たな取組として、図書館まつりでの絵本や紙芝居の読み手側や運営のお手伝いとしての協力を子どもたちやボランティアの方に呼びかける等、それぞれの立場で楽しめる工夫を行います。

このほか、気軽に図書館（室）へ足を運んでもらうため、毎月 1 回、各図書館（室）において定期的に「おはなし（おたのしみ）会」を行い、絵本や本の選書の工夫を行った上での読み語りや工作などにより、子どもたちが本に親しむ活動を続けていきます。

また、「こどもの読書週間（4 月 23 日～5 月 12 日）」や「読書週間（10 月 27 日～11 月 9 日）」にあわせた「読書ラリー」や「おはなし（おたのしみ）会」を開催します。

西海市図書館まつりとは・・・

市民の方々向けに、図書館（室）を身近な存在として感じてもらい、園児や児童たちに読書の楽しさや本に親しむきっかけになってもらうことを願い、平成 23 年度から始まったもので、平成 26 年度からは読書週間にあわせて年に 1 度、開催場所（市内 5 地区）を巡回しながら実施しています。

こどもの読書週間とは・・・

2001 年に 4 月 23 日を「子ども読書の日」と定められたことにあわせ、4 月 23 日から 5 月 12 日までの約 3 週間を「こどもの読書週間」として、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高める期間として様々な取り組みが全国の図書館などで行われています。

読書週間とは・・・

1947年に「読書の力によって、平和な文化国家を創ろう」という決意のもと開催されるようになった取り組みで、10月27日から11月9日までの2週間の期間となっています。

読書ラリーとは・・・

スタンプラリーの図書館（室）版で、それぞれの図書館（室）を回って本を借りるとスタンプが押印されその数によってプレゼントをもらえるというイベントです。

おはなし（おたのしみ）会とは・・・

おはなし会は、主に児童や幼児向けに、絵本などを読んで聞かせるイベントです。

おたのしみ会は、市内各図書館（室）の職員が独自によりみかせや紙芝居、工作などを行うイベントです。どちらも不定期で行われています。

成果

毎年1回開催される図書館まつりでは、市立図書館（室）職員が人形劇や絵本の読み語り、紙芝居などで本の世界を紹介しました。令和元年以降はコロナ禍により実施を見送ることとなりましたが、代替事業として「ブックリサイクル」を実施し、令和4年度では「ぎゅぎゅっと！西海フェス2022」内で個別ブースを設け教育委員会が展開する「は・あ・と・ふ・る運動」と併せて公立図書館の活動をPRすることができました。

また、毎月1回各図書館（室）で開催するおはなし（おたのしみ）会については、毎月参加する人もおり、図書館（室）事業のひとつとして定着しています。

課題

図書館まつりについては、現在、図書館（室）職員のみでの運営となっており、通常の勤務に加え、準備や当日の運営等、職員の負担が大きくマンパワー不足が課題となります。普段図書館に足を運んだことのない方が関心を持てるきっかけづくりとして市の大型イベントの中で実施した、令和4年度のブックリサイクルは効果的であったと考えられるので、図書館単体での開催の在り方については検討する必要があります。

ブックリサイクルとは・・・

廃版や改訂版などによって、情報が古くなった本などは図書原簿から除籍することとなります。除籍された本は廃棄する必要があるのですが、この除籍本を有効に活用していただくことと環境保護の観点から無料でほしい人へ配布するブックリサイクルというイベントで行っております。

◇市広報紙等の活用による読書活動の推進

取組

毎月発行している『広報さいかい』や、定期的に発行している市立図書館だより『かのこゆり』、各図書館（室）が独自で発行している『図書館だより・図書室だより』で新刊の紹介をはじめ、子ども向けのおすすめ図書を紹介します。

また、子どもの読書活動推進に関する情報を収集し、関係団体や個人など、子ども読書活動に携わる全ての人たちが活用できるよう、必要とする情報提供や啓発活動を行います。

成果

定期発行が行われる市広報紙では従来と同じ掲載量を維持し、新刊情報や「おはなし会・おたのしみ会」についての情報発信を行いました。

また、図書館独自の市立図書館だより『「かのこゆり」』は各図書館（室）輪番制で作成を行っており、新刊情報だけでなく図書に関連した情報についても掲載し、本に親しみが持てる機会づくりを提供しました。

市立図書館だより『かのこゆり』とは・・・

市の花木である『かのこゆり』を名にした、各市立図書館（室）が持ち回りで定期的に発行しております、市立図書館（室）の新刊案内やイベント案内などの情報を掲載したチラシでウェブサイトに掲載しています。

課題

情報発信の手段として、現時点では紙媒体での発信が主となりますが、市の公式 SNS なども整備されてきている現状から、継続的な発信を行い、電子媒体での図書の新刊情報の拡充や電子図書館の認知度向上が必要です。

◇職場見学・職場体験学習の受入れ及びヤングアダルトコーナーの設置・充実 取組

市内小学校による職場見学や中学校・高校が実施する職場体験学習事業の受入れを積極的に行い、職場体験学習に訪れた中学生や高校生に利用者の立場ではなく、提供者の立場に立った読書サービスやヤングアダルトコーナーの企画・レイアウト等、様々な体験活動を通して本の魅力に触れる機会を提供します。

また、中学生・高校生向けのおすすめ図書を選定してもらい、購入図書の参考にするとともに、おすすめ本リストを作成します。

ヤングアダルトとは・・・

西海市では中学生と高校生にあたる学齢（13 歳から 18 歳）の利用者を指しており、10 代の人たちが興味のあるジャンル（ライトノベル等）のコーナー設置やおすすめの本を紹介しています。

成果

職場見学・職場体験学習については例年学校より最寄りの図書館（室）にて受け入れを行っており、市内児童生徒に図書館の良さ、通いやすさを伝えることができました。

また、ヤングアダルトコーナーについても時世にあった内容で更新を図り、中高生が利用しやすい環境づくりを行いました。

課題

読書アンケートより中学生と高校生の市内図書施設の利用状況を比較した際、中学生が 50%を超えているのに対して高校生は 30%未満の状況で、利用しないと答えた人は 70%を超えていることから、高校に対しても市内図書館の魅力発信と調べ学習などでも活用ができることを PR していく必要があります。

◇児童室及び蔵書の充実

取組

市立図書館（室）の児童書については買い替えも含め、『県民が子どもにすすめる本 200 選』及び『長崎県の子どもにすすめる本 500 選』を参考にしながら購入・配置の充実に努めます。

また、西海市独自で子どもの発達段階に応じた「おすすめ図書リスト」を作成し、リスト内の資料をそろえるとともに関係施設等へ配付します。

さらに、児童室のレイアウトを工夫するとともに、読書感想文コンクール課題図書や自由研究関連の図書購入に努めます。

成果

未就学児をお連れの方でも、利用しやすい環境づくりを引き続き取り組むことができました。

また、新型コロナ臨時交付金事業を活用し令和3年度に図書除菌機の導入と動画や音声付きのコンテンツも子ども向けに充実させた「さいかい電子図書館」の開館を行い、令和4年度には通常の予算に加え蔵書の強化を図ることができました。

図書除菌機とは・・・

本の埃の除去や紫外線による除菌、消臭抗菌剤の循環による不快な臭いの除去を行う機械です。

課題

今後も引き続き、本への親しみを育てる機会を提供できる「場」を守り、読書を取りまく環境の変化にも柔軟に対応できる施策の展開が必要です。

◇障がいのある方への配慮

取組

市立図書館（室）において、障がいのある方たちも安心して読書に親しめるよう、多様な資料、多様なサービス手段、多様なコミュニケーション手段、施設・設備の整備といった環境を整え、サービスの充実を図ります。

成果

市立図書館（室）では障がいのある方でもご利用ができるよう、ＬＬブックや点字本などの資料の蔵書を増やすことができました。また、さいかい電子図書館上でもオーディオブックや音で楽しめるコンテンツを導入しました。

ＬＬブックとは・・・

スウェーデン語の「L a t t l a s t」（レットラスト）の略で、誰もが読書を楽しめるように工夫して作られた「やさしく読みやすい本」のことを指し、分かち書き（文章を単語ごとに分けて書くこと）、絵記号（ピクトグラム）をつける、「もし」などの仮定や抽象的な表現を避けるなどの工夫がされています。

オーディオブックとは・・・

書籍やテキストなどを読み上げるオンライン上の音声コンテンツです。電子図書館ならではの機能ともいえ、朗読をするのは俳優や声優、ＡＩ音声などです。

課題

障がいのある方が一層利用しやすい施設となるよう、引き続きＬＬブックや点字本の資料の収集やＬＬ版での施設利用案内の整備や、福祉施設への図書館（電子図書館等）のサービスの周知を行い、どなたでも読書ができる環境づくりが必要です。

◇学校との連携

取組

市立図書館（室）は子どもの読書活動の中核的な役割を、学校は子どもの読書習慣を形成していく上で大きな役割をそれぞれ担っています。お互いの役割が相乗効果となるように連携しながら読書活動に取り組みます。

また、必要に応じ学校図書館における運営や購入図書選書などの助言や、次のような支援を行います。

- ・団体貸出サービス
- ・学級文庫への貸出支援
- ・移動図書サービスの実施
- ・小学校新1年生を対象とした市立図書館（室）利用の案内等
- ・学校図書館担当教諭や学校図書館司書等への情報提供及びアドバイス
- ・出前講座（読み語り・ブックトーク等）
- ・市立図書館（室）における職場見学や職場体験学習等の受入れ
- ・調べ学習の資料収集
- ・小学校の読書集会

ブックトークとは・・・

一定のテーマを立てて一定時間内に何冊かの本を複数の聞き手に紹介する行為です。多くは、図書館、学校において子どもたちを聞き手の対象として図書館司書、学校の司書教諭、民間の図書ボランティアなどにより行われています。

成果

市内小学校・中学校に対しては従来の団体貸出、移動図書等をはじめとしたサービスの提供をはじめ、図書部会での意見交換、授業に使用する資料提供を行うことで支援をすることができました。

課題

引き続き学校現場と市立図書館（室）は、児童生徒が読書に親しみを持てる環境づくり構築のため、意見交換や互いの知識を交換できる場が必要です。

2 家庭における読書活動の推進

取組

子どもの読書習慣は家庭、学校、地域等、社会全体で日常生活を通して形成されます。しかし、読書アンケート結果で把握できたように、大人も読書への関わりが希薄になっている傾向にあり、保護者を含め、家庭での読書活動への啓発活動を行う必要があります。

成果

第3次計画策定時に実施した読書アンケート調査結果と比較すると、「本を読むことが好きですか」という項目について、肯定的に回答する割合は小学生で78.0%と若干減少していますが、中学生では66.6%と若干増加しています。加えて、「本を読むことは大切と思う」と回答した割合も前回とほぼ同じ水準で、小学生では87.7%、中学生では85.1%が「とてもそう思う」「そう思う」と回答しており、読書活動の重要性についての認識はあったことがわかりました。

課題

県民運動である『ココロねっこ運動』の一環として推進している「家族10分間読書」運動や、西海市での家族読書運動の取組の一つである「読書の日（ノーテレビデー＝毎月23日）」の推進を行いましたが、まだまだ周知が足りず、定着が充分とはいえない状況です。

今回の読書アンケート調査結果から、小・中・高校生と保護者の読書時間はほぼ同じ傾向で、「読書時間は 30 分未満」が多く、保護者に関しては「0 分」が 53.9%と最も多い回答でした。

また、子どもによっては「（図書館に行く、読書をする）時間がない」、「読みたい本がない」、「図書館の場所がわからない、遠い」、「本をほとんど借りない」、「読んだ本について親子で話し合うことがほとんどない」という回答がありました。さらに、大人も市立図書館（室）で本を借りないという回答が 55.8%と最も多いこと等、大人も読書への関わりが希薄になっていることも把握されたことにより、保護者を含め、家庭での読書習慣や読み語りの啓発活動が今後の課題です。

また、「1 日に電子メディア（ゲーム、インターネット、携帯電話等）をどのくらい使用しますか」との質問については、小学生では「1～2 時間以上」との回答が 51.0%、中学生では 79.5%とそれぞれ前回よりも多くなっています。「1 日にテレビをどのくらい見ますか」との質問については「1～2 時間以上」と回答する小学生は 63.0%、中学生では 63.5%という結果により、メディアとの関わりの強い子どもたちの生活スタイルに、どのように家庭における読書活動を推進していくべきなのかが課題です。

ココロねっこ運動とは・・・

子どもたちの心の根っこを育てるために、大人の在り方を見直し、みんなで子どもを育てる長崎県の県民運動です。長崎県ではあいさつ運動や地域で子どもを見守る活動など、子どもの健全育成のための取り組みを「ココロねっこ運動」として推進しています。

家族 10 分間読書とは・・・

各家庭で 10 分間程度時間を設け、家族が一緒に本を読んだり、読み聞かせをしたりする活動です。

ノーテレビデーとは・・・

読書推進の面からのテレビを見ない日を月 1 日設定する取り組みです。

◇「読書の日」（ノーメディアデー）の推進による読書時間の確保

取組

子どもの読書活動を推進するには、大人も読書する意義や大切さを理解し、家庭内に限らず、移動中や空き時間などに本を手にし、率先して読書に親しむ姿を見せることも必要です。

読書の日（ノーメディアデー）を設け、家族で読書に親しむ時間の確保や家族で読書について話し合う機会の確保に努めます。

読書の日は、「子ども読書の日」である 4 月 23 日にちなんで毎月 23 日を推奨しますが、23 日以外でも、それぞれの家庭で、毎月 1 日、読書に親しむ日を設けることを目指します。

ノーメディアデーとは・・・

読書推進の面からのテレビやスマホ、パソコン、ゲームなどの様々なメディア全般を月 1 日程度設定する取り組みでノーテレビデーの現代版発展形です。

成果

コミュニティ・スクール（学校運営協議会）の場において、今の小学生の読書に対する

姿勢のアンケート結果などから傾向を学校家庭地域で情報共有し、その原因や対策を協議しました。大人が率先して読書する姿勢をみせる、休みの日に家族で図書

館を訪問するなど、子どもが自然と読書へ向かう環境に配慮することなどが重要であると認識の共有を図りました。

コミュニティ・スクール（学校運営協議会）とは・・・

学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子供たちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める法律に基づいた仕組みです。

課題

スマートフォンなどの情報端末を強制的にシャットダウンさせ読書へ仕向けるのでは、読書に対する印象を逆に悪化させることに繋がりがねません。メディアをゼロにするのではなく、時間を配分するように上手に付き合う方法を家族で話し合い、その中での一つに読書を選択できるような環境の提供を大人が積極的に行うことが重要です。いかに大人が意識して行動することができるか、大人の意識改革ができるかが課題です。

◇「家族 10 分間読書」運動の推進

取組

県民運動である『ココロねっこ運動』では、「家族 10 分間読書」運動を進めています。

本市においても、「家族みんなで1日 10 分間の読書」についての周知を図り、取り組むことで、家族で読書の時間を共有し、読書への雰囲気づくりが心がけられるように努めます。

成果

「家族 10 分間読書」運動の周知活動はほとんど取り組むことができませんでした。

課題

家族、特に親である大人が読書を好きになり率先して読書をするようになることが一番重要です。そのために大人も対象として、読書することで新たな知識を得、様々な可能性を発見する体験をさせる取り組みやイベントを実施することと共に家庭での読書の時間を確保することの大切さを啓発し、「家族 10 分間読書」運動の周知へつなげることが必要です。

◇市 PTA 連合会や市子ども会育成連絡協議会、市青少年育成協議会との連携キャンペーン

取組

総会や会員研修会の際に、読書の意義や有用性についての説明を行い、家族での市立図書館（室）利用促進や、おはなし（おたのしみ）会等への参加を呼びかけます。

成果

各団体の総会などにおいて、特に読書に特化したキャンペーンやおはなし（おたのしみ）会等への参加の呼びかけは行っておらず、市広報紙やホームページなどでの周知に努め、市主催の祭りにおいてブックリサイクルブースと市青少年育成協議会のブースを隣り合わせに行い連携を図りました。

課題

市 PTA 連合会や市子ども会育成連絡協議会、市青少年育成協議会それぞれの団体の構成員の子どもへの接点のあり方に合わせた周知と連携を検討する必要があります。

3 学校・幼稚園・保育園等における読書活動の推進

子どもの読書活動推進のためには、学校での読書活動の充実が不可欠です。

新しい教育基本法の理念を受けて、平成 19 年 6 月に改正された学校教育法において、義務教育として行われる普通教育の目標の一つとして、「読書に親しませ、生活に必要な国語を正しく理解し、使用する基礎的な能力を養うこと」が新たに規定されました。

読書をすることは言葉を学び、言葉を通じて様々な知識や基礎的な技能を得て、これらを活用して課題解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力をはぐくむことにもつながります。

このような力をはぐくむための大きな役割を担っているのが、学校での読書活動です。

◇学校図書館の学習・情報センターとしての計画的活用及び機能の充実

取組

今後、学校図書館は、学校においては学習・情報センターとしての機能が期待されています。

学習・情報センターとして計画的に活用されるよう、学校図書館に係る指導計画及び活用計画が作成されるように努めます。

また、その機能は調べる際の情報提供にとどまらず、調べ方の習得や情報の取捨選択等を身につけさせることも含みます。

学校図書館を、学習・情報センターとして位置づけることで、学力向上・授業改善にもつながり、生涯学習の礎をつくるものと考えられます。

児童生徒の「学習・情報センター」としての学校図書館とは・・・

児童生徒の自発的、主体的な学習活動を支援するとともに、情報の収集・選択・活用能力を育成して、教育課程の展開に寄与するための場となっている学校図書館のことです。

成果

学校では、学習指導要領に基づき、児童生徒の主体的・対話的で深い学びの視点から、各教科等の習得、活用、探究の過程の中で、学校図書館の豊富な資料や情報を効果的に活用しています。

また、近年では、一時的に学級になじめない児童生徒の居場所としても活用があり、多様な背景を持つ児童生徒に読書や学習の場を提供しています。

このように、児童生徒の学習活動を支援したり、授業の内容を豊かにしてその理解を深めたりする「学習センター」、児童生徒や教職員の情報ニーズに対応したり、児童生徒の情報の収集・選択・活用能力を育成したりする「情報センター」としての機能の利活用を図り、児童生徒の自主的、自発的な読書活動の充実に努めています。

課題

今後も、学校図書館において、図書館資料を収集・整理・保存し、児童生徒及び教職員の利用に供することによって、学校の教育課程の展開に寄与するとともに、多様な児童生徒の知的活動を増進し、様々な興味・関心に応える魅力的な学校図書館の整備・充実に努める必要があります。

◇「朝読」の時間の確保・充実

取組

「朝読」の意義について、全職員が共通理解を図り、児童生徒と教職員が一斉に読書する時間として「朝読」の時間を確保し、取り組みます。

また、ブックトークや読み語り・ビブリオバトル等において、それぞれの学齢期に合った本の紹介を行うとともに、学級文庫等の充実に図り、子どもたちが一冊でも多くの本を手にとることができるような機会を提供します。

朝読とは・・・

学校における毎朝始業前 10 分程度の時間を利用して、全校の児童生徒と教師が一斉に自分の好きな本を読むという読書推進活動です。

ビブリオバトルとは・・・

「ビブリオ」は書物などを意味するラテン語由来の言葉で、某大学教授が考案したゲーム感覚を取り入れた新しいスタイルの「書評合戦」です。バトル（発表者）たちがおすすめの本の魅力を 5 分間で紹介しあい、聞いていた人たち全員で「一番読みたくなった本」（チャンプ本）を決めます。

成果

「朝の読書は楽しいですか」との読書アンケート調査の質問について、移動図書実施小学校では「楽しい」57.5%、「あまり楽しくない」9.8%、移動図書未実施小学校では 55.9%、8.4%という回答結果でした。中学生では、「楽しい」35.9%、「あまり楽しくない」12.2%という割合で、学年が上になるにつれ、「楽しい」と回答する児童生徒が減少していますが、多くの子どもたちが「朝の読書が楽しい」と答えています。

課題

「一週間に何冊本を読みますか」という質問に対し、「読まない」と回答した小学生の割合は全体の約 8.0%、中学生の割合は約 20.3%であり、本を読まない児童生徒の割合を減少させるための工夫が必要です。

◇教職員等を対象とした研修会の開催

取組

学校図書館担当教諭、学校図書館司書及び学校図書館運営補助員等を対象にした研修会等を定期的に行い、学校図書館図書の効率的、効果的な展示方法や技能の向上を図ります。加えて、市立図書館（室）と情報共有を図りながら子どもの読書推進に取り組むとともに、読書推進に関わる全ての教職員・ボランティア等との連携を図れるよう「情報交換の場」の提供に努めます。

成果

学校図書館担当教諭及び学校図書館司書等を対象に、読書活動の意義や進め方など、読書活動全般についての研修会を計画的に行い、図書館教育への理解が深まりました。

課題

今後も学校における子どもたちの読書活動がより一層充実するよう、職員の資質向上を図る研修会を開催するとともに、市立図書館（室）と情報共有を図りながら読書推進につなげていくことが課題です。

◇学校図書館の蔵書率向上

取組

学齢期の子どもにとって、もっとも身近で本に親しめる場所は学校図書館です。文部科学省が定めた「学校図書館図書標準」による標準冊数達成率 100%を全ての市内小学校・中学校が達成し、かつ継続できるよう、定期的な蔵書点検及び除籍基準に則った図書の計画的除籍を行い、計画的継続的な蔵書充実を目指すと同時に、学校図書購入予算の確保に努めます。

また、読み物だけでなく、調べ学習や多様な学習活動のための図書選書に努めます。

成果

文部科学省が定めた「学校図書館図書標準」による標準冊数の達成を目指して蔵書の充実を図り、令和元年度においては、小学校では 130.2%、中学校では 110.1%の達成率となっています。

課題

標準冊数の達成状況を維持し、継続して蔵書の充実を図るよう努めることが必要です。

◇学校図書館司書及び学校図書館運営補助員の配置

取組

学校図書館の充実は、図書担当者の働きに大きく左右され、担当者への負担が大きいのが現状です。

現在、市内中学校に学校図書館司書を江島・平島を除く小学校においては、学校図書館運営補助員を配置し、読書活動の推進を図っています。

学校図書館司書及び学校図書館運営補助員を小・中学校に配置し、学力向上や、学校における調べ学習にもつながるレファレンスサービスを充実させるよう努めます。

また、学校図書司書は、中学校区内の小学校に配置された学校図書館運営補助員と連携しながら、学校図書館事業の充実を目指した支援を行います。

成果

市内中学校に学校図書館司書を配置し、中学校図書館における調べ学習のレファレンス・サービスなどを行うことにより、生徒の学習支援を行う体制を整えることができました。

また、学校図書館運営補助員を江島・平島を除く小学校に配置し、読書活動の推進を図ることができました。

課題

学力向上のため、学校における調べ学習のレファレンス・サービスを充実させるために学校図書館司書及び学校図書館運営補助員の研修の充実を図るとともに、公共図書館との情報共有や連携強化に努めます。

◇学校図書館の書架・掲示板等の整備

取組

児童生徒が本を身近に感じられるよう、また、自然と図書館に行きたくなるよう、新刊紹介コーナーや季節・行事に応じたコーナーの設置を工夫し、児童生徒が自由に読書活動に取り組める環境づくりに取り組みます。

また、児童生徒に対し学校図書館や市立図書館（室）の利用についての指導も行います。

成果

学校においては、市の教育振興基本計画の中でも、施策の方向性として「平日の読書習慣の確立」を位置づけ、教育課程の中に読書活動を取り入れたり、家庭学習の中に読書を取り入れたりして、平日から読書に親しむ児童生徒の育成に努めています。

学校図書館では、担当の教員や学校図書館司書及び学校図書館運営補助員が、日ごろから季節や学校行事に合わせた本の展示コーナーや掲示物等を作成し、おすすめの本を紹介したり、多読賞の表彰や読書ビンゴ等の催しを企画したりしながら、児童生徒の興味・関心を高める機会を充実させています。

その結果、県が毎年度実施している「読書の現状に関する調査」では、「不読率」（1か月に本を1冊も読まない子どもの割合）の数値でおおむね0%を維持することができており、国や県が定める数値目標を達成することができています。

課題

各学校の取組によって、児童生徒が本に親しむ機会は大変充実しています。今後も、子どもの視点に立った読書活動を推進し、子どもの主体的な読書活動につながる教育課程の編成や読書環境の整備に努めていきます。

併せて、児童生徒の「家庭での読書習慣」の確立に向けても、家庭と連携しながら働きかけを行っていきます。

◇幼稚園や保育園等における読書推進

取組

読書の楽しさと出会うためには乳幼児期から本に親しむ習慣づくりが大切であり、幼稚園や保育園が果たす役割は大きいものです。

就学前に幼稚園や保育園等、子どもが経験する集団生活の中で本への興味を持たせるため、子どもの発達段階に合わせた読み語りを行うほか、保護者に対して読み語りの大切さや意義を広く説明し、絵本をはじめとする児童図書の貸し出しを行います。

また、安心して子どもが図書に触れられるよう、図書のスペースを確保し、図書の充実に努めます。

成果

乳幼児から本に親しむ習慣づくりのきっかけになるようブックスタート事業を行いました。

また、市立図書館（室）において幼児スペースを設け、親が図書館を訪問しやすくかつ絵本などを自然と読み聞かせできる環境づくりに努めました。

課題

幼稚園や保育園、放課後児童クラブと市立図書館（室）の連携による読書推進に向けた取り組みを検討する必要があります。

4 家庭・学校・幼稚園・保育園・市立図書館・地域の連携・協力

取組

子どもの読書活動を推進するためには、子どもに関わる施設、個人や団体、図書ボランティアグループなど、子どもを取り巻く大人たちの連携・協力が必要です。

子どもが本と出会う場づくりを進めるために、市立図書館（室）や学校図書館、図書ボランティア等が相互に連携し、子どもの読書活動推進に取り組みます。

また、最近ではPTAなどで読み語りや学校図書館に関わるボランティア活動がされていますが、学校内の活動だけではなく、西海市全体で図書ボランティア活動を活性化させるため、情報交流の場を設け、ネットワーク化を図ります。

成果

地域のボランティア活動での読み聞かせの場を市立図書館（室）でも提供することで、子どもの読書活動の推進を図ることができました。ネットワーク化実施できませんでした。

課題

ネットワークづくりのきっかけとなるような場を作っていくことが課題です。

◇図書館システムの周知及び活用

取組

あらゆる機会を通して、市立図書館（室）に蔵書がない図書でも県内外から相互貸借ができるサービスについての周知を行い、利用してもらうよう努めます。

また、図書館システムを利用して、利用の多い図書や蔵書状況の確認や分析を行い、購入図書の選定や蔵書充実を図ります。

成果

蔵書検索システム「WEBOPAC（ウェブオーパック）」などの導入により、市内蔵書の検索や取り寄せについてはどなたでも利用ができ、現在では他施設から取り寄せでの貸し出しは定着しつつあります。また、県立長崎図書館（ミライ on 図書館）の行う「とりよせくん」が導入され、県内の公立図書館の蔵書を相互貸借できるようになりました。

WEBOPAC（ウェブオーパック）とは・・・

インターネットを利用して、いつでも市立図書館（室）にある所蔵資料の詳細や貸出状況などが確認できるシステムです。

とりよせくんとは・・・

長崎県が県内の市町と協働して行っているインターネット取り寄せ申込みシステムです。市立図書館（室）で所蔵していない本について、県立長崎図書館（ミライ on 図書館）または県立長崎図書館郷土課に在庫があるかインターネットで検索し、当市の市立図書館（室）へ取寄せを申し込むシステムです。ご自宅のパソコンやスマートフォン等から申し込みができます。

課題

引き続き相互貸借については周知活動を行い、既存の図書システム活用を促し、認知を広げる必要があります。

◇図書ボランティアの支援及びネットワークの確立

取組

学校図書館や市立図書館（室）において、活動している図書ボランティアは、それぞれの学校や市立図書館（室）での活動を行っていますが、図書ボランティアグループ間の交流や情報交換が十分とはいえません。

市立図書館（室）業務のサポートや読み語りをする図書ボランティア人口の拡大及び支援を行うため、次のような取組を図ります。

- ・養成講座の開催及び活動助成
- ・「スキルアップ・交流会」の開催
- ・ネットワーク組織の結成及び活動支援

成果

図書ボランティアの現在の主な活動場所は、主に各小学校での読み聞かせの場となっており、公立図書館を主軸としたボランティア団体が育成できていない現状です。

課題

現在の支援内容として県が主催とするボランティア研修会周知、案内や市内で開催される研修会への参加の働きかけに留まっているため、ボランティアの方が公立図書館での活動を希望できるような環境づくりが必要です。

◇市民協働による子ども読書活動の推進

取組

「子どもが本と出会う場づくり」を進めるために、市立図書館（室）や学校図書館、図書ボランティア等が相互に連携し、子ども読書活動推進へ取り組みます。

また、地域の公民館等で地域の人を対象に読み語りの進め方や市としての取組を広げる講座を開催します。

さらに、市内の各種団体と連携しながら子ども読書活動推進を図る運動を進めます。

- ・市立図書館（室）による学校図書館の支援
- ・校区公立公民館や自治公民館、各種施設等での「出前おはなし会」や公民館講座等での「読み語り講座」の開催
- ・市内各種団体主催事業及び会員研修会等での子ども読書活動推進の啓発運動の展開

成果

市立図書館（室）による学校図書館の支援として、学校を対象とした移動図書館サービスを実施しています。公民館講座などでの読み語り講座は開催できていません。市主催イベントなどにおいてブックリサイクルを実施し、そこで読書活動推進の啓発も行いました。

課題

読み語りのできる人材育成に資するための講座や研修会の開催を検討する必要があります。

◇「子ども読書活動推進会議」の実施

取組

学校図書担当教諭及び学校図書司書、市立図書館（室）職員、図書ボランティア、PTA、公民館長、行政関係者（教育委員会・保健福祉関係）等が一堂に会し、本を通して子どもの健やかな成長を願う「子ども読書活動推進会議」を開催します。

- ・「子ども読書活動推進会議」の開催

成果

子ども読書活動推進会議は開催できておりませんが、図書館協議会において関係団体の代表者と年数回の会議を行い、この場で意見を集約反映させるよう取り組んでおります。

課題

図書館協議会において子ども読書活動の推進を図るため、年1回は子どもへの読書についての意見を求める場を設ける工夫などを検討します。

◇「子ども読書の日（子どもの読書週間）」及び「読書週間」等への取組

取組

家庭・学校・地域が連携し、市全体の取組として周知啓発活動を推進し、学校や幼稚園・保育園・市立図書館（室）においては、おすすめ本の展示や読み語りなど、関連事業を実施します。

成果

4月～5月に開催される子どもの読書週間および、10月～11月に開催される読書週間については各施設での趣向を凝らした行事を毎年開催し、読書週間中は図書館まつりやブックリサイクル等も実施しました。

課題

移動図書や団体貸出にて訪問する際、各種イベントの案内を学校や幼稚園、保育園、認定こども園等にも周知を図っていますが、今後も未参加の児童生徒が参加をしたくなる仕掛けが必要となります。

◇行政関連部署との連携

取組

生涯を通した読書習慣を身につけるためには、西海市全体で取り組む必要があります。

子育て世代を対象にした教室や小学校・中学校等で開催される家庭教育に関する講座、子育て支援や学童保育団体等、子どもを取り巻く全ての関連団体部署と連携をとりながら、幼児期における読み語りの大切さ、読書の意義についての周知徹底と普及に努めます。

成果

現在取り組んでいるブックスタートについては、福祉部局との連絡調整を密に行い問題なく実施できており、市の取り組む子育てに関連した施策のPRコーナーや、他部署の取り組む観光情報誌などを配置し周知に努めることができました。

課題

引き続き既存の取り組みについては対応を続け、加えてさらに他部署にも図書館のサービスを活用してもらうよう周知が必要です。

また、電子図書館については、現在市の刊行物について共有することで施策の周知や情報共有の一つのツールとして活用できるよう、内容の拡充が必要です。

第3次計画独自の数値目標実績（令和4（2022）年度）

目標項目		平成 28 (2016) 年度	令和2(2020) 年度	〔実績値〕 令和4(2022) 年度
読書時間の割合(1日30分以上)	小学校	45.4%	39.2%	49.2%
	中学校	31.8%	29.3%	62.7%
団体貸出・移動図書館サービスの実施率	団体貸出	100%	100%	100%
	移動図書館			
子どもの読書週間・読書週間のイベント開催回数	子ども読書の日	全市で1回	全市で1回 各地区独自	全市で1回 各地区独自
	読書週間	各地区で開催	全市で1回 各地区独自	全市で1回 各地区独自
ブックスタートパック配布率	乳児健診	100%	100%	100%
読み語り体験の実施率	乳児健診	100%	100%	—
	1歳6ヶ月健診	要望があれば実施	—	—
	3歳6ヶ月健診	要望があれば実施	100%	—
図書ボランティア関係研修会等の参加者数	図書ボランティア養成講座	—	21名 (H30実績)	17名
	交流・スキルアップ講座	—	実施無	実施無
「読書の日」取り組み実施校の割合		小学校 57.1% 中学校 33.3%	76.5%	40%
読書活動全般についての教職員を対象とした研修会の実施		年1回	年1回	年1回
図書ボランティア活動が実施されている学校・図書館の割合		小学校 92.9% 中学校 33.3% 図書館未実施	小学校 84.6% 中学校 33.3% 図書館未実施	小学校 81.8% 中学校 25.0% 図書館未実施

第3章 第4次計画における子ども読書活動推進の具体的な方策

1. 市立図書館（室）における読書活動の推進

西海市には2つの図書館と3つの図書室があり、それぞれ図書館（室）サービスを行い、地域における子どもの読書活動の推進について、中核的な役割を担っています。

子どもにとって市立図書館（室）は、多くの蔵書から読みたい本を自由に選択し、読むことで読書の楽しさを味わい、想像力が膨らむ場所であるため、子どもが読みたい本を自由に手に取り、読書の楽しさや学ぶ喜びが体験できるよう環境の整備を行います。

また、市立図書館（室）職員は、図書資料の選書・提供、読書相談、レファレンス（資料相談）、読み語りなど、子どもと本や本の世界を結びつける重要な役割を担っています。このため、絵本や児童書、ヤングアダルトなど、子どもたちの発達段階にあったサービスが継続的に提供できるように職員の専門知識や技術向上を図り、体制の整備に努めます。

具体策

◇乳児健診時でのブックスタート実施及び各種健診等での読み語りと就学前幼児に対するブック支援による本を読む子を増やす取り組み

乳幼児期から本に親しむためのきっかけづくりとして保健福祉部局と連携を図りながら取り組んでいるブックスタート事業を、今後も生後4ヶ月から6ヶ月の間に行っている乳児健診時において継続的に実施し、家庭読書の意義や読み語りの大切さ等を説明するとともに家庭での読み語り実践を促します。

また、1歳6ヶ月児健診や3歳6ヶ月児健診、就学児健診等では市立図書館（室）職員等が健診場所に出向いて子どもたちへの読み語り等を実施し、読書の楽しさを体験する機会を提供します。

アンケート結果から全く本を読まない子どもとすごく読む子どもの二極化がすすんでいることがわかりました。これはスマホなどのメディアが影響によるものと思います。

そのため、スマホなどのメディアに触れる前の、特に就学前までに読書を習慣化させることが極めて重要で、それがその後の本との接し方や図書館利用に大きく影響するものと考えます。

そこで、ブックスタート以後の3歳や6歳などの節目を迎えた就学前幼児へ本の提供または購入補助などのブック支援を実施することで、本を読む習慣化を図るきっかけ作りを行い、読書が自分自身に将来に渡り、豊かな知識を得ることのできる有用な選択肢であると認知されるよう読書活動推進に取り組みます。



ブックスタートのようす

◇市立図書館（室）職員の適正配置・研修の充実

子どもと本を結びつける重要な役割を担う市立図書館（室）職員の配置は必要不可欠であり、レファレンスが活用されるためには図書司書等の専門知識を持つ経験豊かな職員の配置が重要になります。そのために、各市立図書館（室）の実情にあった職員の適正配置に努めます。

また、充実した図書館サービスや職員の知識向上を図るため、定期的に様々な研修会へ積極的に参加し、研鑽を積むための研修機会を設けます。

◇子どもが本と親しむための行事の充実

図書館（室）を身近な存在として感じてもらうため、また、本の楽しさを体感してもらうため、西海市全体のイベントとしてブックリサイクルフェアを毎年開催します。

このほか、気軽に図書館（室）へ足を運んでもらうため、毎月1回、各図書館（室）において定期的に「おはなし（おたのしみ）会」を行い、絵本や本の選書の工夫を行った上での読み語りや工作などにより、子どもたちが本に親しむ活動を続けていきます。

また、「子どもの読書週間（4月23日～5月12日）」や「読書週間（10月27日～11月9日）」にあわせた「読書ラリー」や「おはなし（おたのしみ）会」を開催します。



ブックリサイクルフェア実施の様子
(ぎゅぎゅっと！西海フェス 2022 内ブースにて)

◇ブックモービル（移動図書館車）の導入

移動図書サービスを行う上では、専用の車両がないために一度に運搬できる図書冊数に限りがあること、毎回コンテナに入れた図書を積み下ろしするため作業時間がかかり、行くことができる場所が限られること等の課題があります。この状況を改善するため、ブックモービル（移動図書館車）の導入を検討します。

これにより多くの図書を運搬することが可能となるほか、これまで時間的な制約から移動図書サービスを行うことが難しかった団体や図書館（室）のない高齢者施設等へのサービス実現にもつながり、子どもたちはもちろんのこと、図書館（室）へ行くことが困難な方へ身近に本を届けるサービスが展開できます。

◇市広報紙等の活用による読書活動の推進

毎月発行している『広報さいかい』や、定期的に発行している市立図書館だより『かのこゆり』、各図書館（室）が独自で発行している『図書館だより・図書室だより』で新刊の紹介をはじめ、子ども向けのおすすめ図書を紹介します。このよう

な情報を更に市 LINE（ライン）を始めとする様々なメディアを利用してあらゆる世代へ情報発信を行い、読書活動の推進に努めます。

また、子どもの読書活動推進に関する情報を収集し、関係団体や個人など、子ども読書活動に携わる全ての人たちが活用できるよう、必要とする情報提供や啓発活動を行います。

◇職場見学・職場体験学習等の受入れ及びヤングアダルトコーナー等の設置・充実

市内小学校による職場見学や中学校・高校が実施する職場体験学習事業の受入れを積極的に行い、職場体験学習に訪れた中学生や高校生に利用者の立場ではなく、提供者の立場に立った読書サービスやヤングアダルトコーナーの企画・レイアウト等、様々な体験活動を通して本の魅力に触れる機会を提供します。

また、中学生・高校生向けのおすすめ図書を選定してもらい、購入図書の参考にするとともに、おすすめ本リストを作成します。

◇児童室及び蔵書の充実

また、西海市独自で子どもの発達段階に応じた「おすすめ図書リスト」を作成し、リスト内の資料をそろえるとともに関係施設等へ配付します。

さらに、児童室のレイアウトを工夫するとともに、読書感想文コンクール課題図書や自由研究関連の図書購入に努めます。



課題図書の紹介



児童室レイアウト

◇障がいのある方への配慮

障がいのある方が一層利用しやすい施設となるよう、引き続きＬＬブックや点字本の資料の収集やＬＬ版での施設利用案内の整備や、福祉施設への図書館（電子図書館等）のサービスの周知を行い、どなたでも読書ができる環境づくりを図ります。



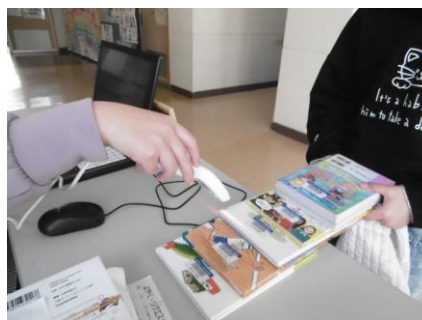
ＬＬ版利用案内

◇学校との連携

市立図書館（室）は子どもの読書活動の中核的な役割を、学校は子どもの読書習慣を形成していく上で大きな役割をそれぞれ担っています。お互いの役割が相乗効果をもたらすように連携しながら読書活動に取り組みます。

また、必要に応じ学校図書館における運営や購入図書選書などの助言のほか、次のような支援を行います。

- ・ 団体貸出サービス
- ・ 学級文庫への貸出支援
- ・ 移動図書サービスの実施
- ・ 小学校新1年生を対象とした市立図書館（室）利用の案内等
- ・ 学校図書担当教諭や学校図書司書等への情報提供及びアドバイス
- ・ 出前講座（読み語り・ブックトーク等）
- ・ 市立図書館（室）における職場見学や職場体験学習等の受入れ
- ・ 調べ学習の資料収集
- ・ 小学校の読書集会



移動図書・団体貸出のようす

◇さいかい電子図書館の周知と充実

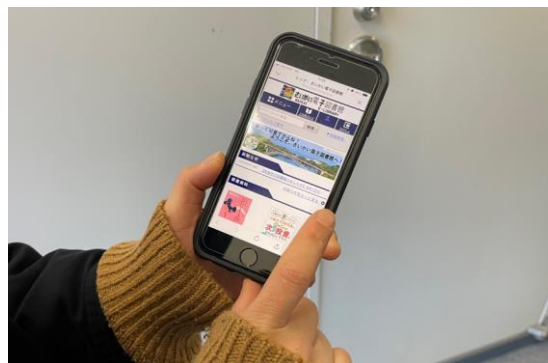
令和4年3月1日に、さいかい電子図書館を開館しました。開館時の、登録者数は約8,700人、蔵書数は10,138冊でした。

また、電子図書館の使い方やできることできないことなどの周知が不足しているため、今後は積極的にSNSや市広報紙、HP、図書館だよりなどで様々なメディアを活用して情報提供と周知を行います。併せて市立図書館（室）でも職員が操作説明するなど図書館利用者へも積極的にアピールを行い登録者数と利用者数の向上を目指します。

更に魅力ある電子図書館となるべく、蔵書数の増加とコンテンツの充実を図り電子と本物の本の両方で読書活動の推進を図っていきます。



さいかい電子図書館TOP画像



電子図書館使用のようす

さいかい電子図書館とは・・・

- パソコンやスマホなど情報端末で読むことのできる「電子図書」を収蔵し、貸し出すサービスです。
- いつでもどこでもインターネット環境があれば、無料でスマホやタブレット、パソコンなどで閲覧することができます。（通信費用は別途かかります。）
- 収蔵されている「電子図書」には、鳥の鳴き声や朗読（俳優やAI などによる）など音声再生機能の付いた本もあります。
- 借りる、返すはスマホなどの端末でいつでもどこでもすぐに手続き可能です。
- 「電子図書」も現物の図書と同様に、他の方が借りているものは返却されないと借りることができません。
- 西海市立図書館（室）の図書カードがある人は、手続き不要で会員番号と生年月日で利用できます。
- 図書カードを持っていない人も利用登録を図書館（室）で行うことで利用できます。
- 市内図書館（室）の現物の図書を電子的に収蔵したものではありませんので、これらの図書が読めるものではありません。

2 家庭における読書活動の推進

子どもの読書習慣は家庭、学校、地域等、社会全体で日常生活を通して形成されます。しかし、読書アンケート結果で把握できたように、大人も読書への関わりが希薄になっている傾向にあり、保護者を含め、家庭での読書活動への啓発活動を行う必要があります。

また、「本を読むことは大切と思う」と回答した児童・生徒の割合は、第3次計画策定時アンケートからは減少していますが、小学生では86.7%、中学生では86.2%が「とてもそう思う」「そう思う」と回答しており、読書の重要性についての認識はあるという結果となりました。

「読書は大切である」と思っている子どもたちが、実際に本に関わるために、家庭では、子どもが読書に親しむきっかけとして、子どもが乳幼児のときから親子で図書館や書店へ通う等、読書の習慣づけを図るなど、大人が積極的に読書に対する興味や関心を引き出すように働きかけることが大切であり、加えて、テレビやゲーム・SNS等に費やす時間が多いという子どもたちのメディアとの関わりが強い生活スタイルが把握されたことから、家庭における読書活動をどのように推進していくべきか、その方法の精査と、活動を浸透させるための取組を行います。

具体策

◇家庭における親（大人）の読書の習慣作り

- ・子どもが読書をしている時は、親（大人）もスマートフォンやテレビを見ないようする等、読書のしやすい雰囲気づくりに努めましょう。
- ・親（大人）も読書する姿を見せましょう。
- ・「小説や物語を読むことが読書」と考えると敷居を高く感じてしまいます。趣味や興味のある内容が載った写真集や雑誌、生活に役立つ実用書などを手に取ることも読書です。
- ・気軽に本を手にする家庭の雰囲気を作っていきましょう。

◇「読書の日」（ノーマディアデー）の推進による読書時間の確保

子どもの読書活動を推進するには、大人も読書する意義や大切さを理解し、家庭内に限らず、移動中や空き時間などに本を手にし、率先して読書に親しむ姿を見せることも必要です。

読書の日（ノーマディアデー）を設け、家族で読書に親しむ時間の確保や家族で読書について話し合う機会の確保に努めます。ノーマディアデーの実行が難しい家庭には「家族 10 分間読書」から取り組むことを促します。

読書の日は、「子ども読書の日」である4月 23 日にちなみ、毎月 23 日を推奨しますが、23 日以外でも、それぞれの家庭で、毎月 1 日、読書に親しむ日を設けることを目指します。

◇「家族 10 分間読書」運動の推進

県民運動である『ココロねっこ運動』では、「家族 10 分間読書」運動を進めています。

本市においても、「家族みんなで 1 日 10 分間の読書」についての周知を図り、取り組むことで、家族で読書の時間を共有し、読書への雰囲気づくりが心がけられるように努めます。

◇市 PTA 連合会や市子ども会育成連絡協議会、市青少年育成協議会との連携キャンペーン

総会や会員研修会の際に、読書の意義や有用性についての説明を行い、「ノーマディアデー」や「家族 10 分間読書」などを含め、家族での市立図書館（室）利用促進やおはなし（おたのしみ）会等への参加を呼びかけます。

3 学校・幼稚園・こども園・保育園・放課後児童クラブにおける読書活動の推進

子どもの読書活動推進のためには、学校での読書活動の充実が不可欠です。

新しい教育基本法の理念を受けて、平成 19 年 6 月に改正された学校教育法において、義務教育として行われる普通教育の目標の一つとして、「読書に親しませ、生活に必要な国語を正しく理解し、使用する基礎的な能力を養うこと」が新たに規定されました。

読書をすることは言葉を学び、言葉を通じて様々な知識や基礎的な技能を得て、これらを活用して課題解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力をはぐくむことにもつながります。

このような力をはぐくむための大きな役割を担っているのが、学校での読書活動です。

読書アンケート調査から、多くの子どもたちが「朝の読書が楽しい」と答えている一方で、一週間全く本を読まない児童生徒もいることが把握されたことから、学校で取り組んでいる「朝読」の時間は市内全ての学校で設定されているものの、その取組にはさらに工夫が必要であるということがわかりました。

これらの実態を踏まえ、学校での「朝読」の時間を子どもと教職員が一斉に読書する時間として取り組んだり、ブックトークや読み語り等で素晴らしい本に出会わせたりするなど、学年に応じた読書指導の充実を図ります。

また、教室をいつでも読書ができる環境とするために学級文庫の充実に努めます。

さらに、学校図書館が「読書センター」としての役割だけにとどまらず、児童生徒の自発的、主体的な学習活動を支援し、情報の活用能力等の育成を図る「学習・情報センター」としての機能を発揮しながら、「学校教育の中核」たる役割を果たすことができるよう、環境の充実を図ります。

児童生徒の「読書センター」としての学校図書館とは・・・

児童生徒の創造力を培い、豊かな心をはぐくむ、学習に対する興味・関心等と呼び起こし、自由な読書活動や読書指導の場となっている学校図書館のことです。

具体策

◇学校図書館の学習・情報センターとしての計画的活用及び機能の充実

今後、学校図書館は、学校における学習・情報センターとしての機能が期待されています。

学習・情報センターとして計画的に活用されるよう、学校図書館に係る指導計画及び

活用計画が作成されるように努めます。

また、その機能は調べる際の情報提供にとどまらず、調べ方の習得や情報の取捨選択等を身につけさせることも含みます。

学校図書館を、学習・情報センターとして位置づけることで、学力向上・授業改善にもつながり、生涯学習の礎をつくるものと考えられます。

◇「朝読」の時間の確保・充実

「朝読」の意義について、全職員が共通理解を図り、児童生徒と教職員が一斉に読書する時間として「朝読」の時間を確保し、取り組みます。

また、ブックトークや読み語り・ビブリオバトル等において、それぞれの学齢期に合わせたおすすめの本や素晴らしい本の紹介を行うとともに、学級文庫等の充実を図り、子どもたちが一冊でも多くの本を手にとることができるような機会を提供します。

◇教職員等を対象とした研修会の開催

学校図書館担当教諭、学校図書館司書及び学校図書館運営補助員等を対象にした研修会等を定期的に行い、学校図書館図書の効果的な展示方法や技能の向上を図ります。加えて、市立図書館（室）と情報共有を図りながら子どもの読書推進に取り組むとともに、読書推進に関わる全ての教職員・ボランティア等との連携を図れるよう「情報交換の場」の提供に努めます。

◇学校図書館の蔵書率向上

学齢期の子どもにとって、もっとも身近で本に親しめる場所は学校図書館です。

文部科学省が定めた「学校図書館図書標準」による標準冊数達成率 100%を全ての市内小学校・中学校が達成し、かつ継続できるよう、定期的な蔵書点検及び除籍基準に則った図書の計画的除籍を行い、計画的継続的な蔵書充実を目指すと同時に、学校図書購入予算の確保に努めます。

また、読み物だけでなく、調べ学習や多様な学習活動のための図書選書に努めます。

◇学校図書館司書及び学校図書館運営補助員の配置

学校図書館の充実、図書担当者の働きに大きく左右され、担当者への負担が大きいのが現状です。

現在、市内中学校に学校図書館司書、江島・平島を除く小学校においては、学校図書館運営補助員を配置し、読書活動の推進を図っています。

学校図書館司書及び学校図書館運営補助員を小・中学校に配置し、学力向上や、学校における調べ学習にもつなげるレファレンスサービスを充実させるよう努めます。

また、学校図書館司書は、中学校区内の小学校に配置された学校図書館運営補助員と連携しながら、学校図書館事業の充実を目指した支援を行います。

◇学校図書館の書架・掲示板等の整備

児童生徒が本を身近に感じられるよう、また、自然と図書館に行きたくなるよう、新刊紹介コーナーや季節・行事に応じたコーナーの設置を工夫し、児童生徒が自由に読書活動に取り組める環境づくりに取り組みます。

また、児童生徒に対し学校図書館や市立図書館（室）の利用についての指導も行います。

◇幼稚園やこども園、保育園等における読書推進

読書の楽しさと出会うためには乳幼児期から本に親しむ習慣づくりが大切であり、幼稚園やこども園、保育園が果たす役割は大きいものです。

就学前に幼稚園やこども園、保育園等、子どもが経験する集団生活の中で本への興味を持たせるため、子どもの発達段階に合わせた読み語りを行うほか、保護者に対して読み語りの大切さや意義を広く説明し、絵本をはじめとする児童図書の貸し出しを行います。

また、安心して子どもが図書に触れられるよう、図書のスペースを確保し、図書の充実に努めます。

4 「家庭」・「学校」・「幼稚園」・「こども園」・「保育園」・「放課後児童クラブ」・「市立図書館（室）」・「地域」の連携・協力

子どもの読書活動を推進するためには、子どもに関わる施設、個人や団体、図書ボランティアグループなど、子どもを取り巻く大人たちの連携・協力が必要です。

子どもが本と出会う場づくりを進めるために、市立図書館（室）や学校図書館、図書ボランティア等が相互に連携し、子どもの読書活動推進に取り組みます。

また、最近ではPTAなどで読み語りや学校図書館に関わるボランティア活動がされていますが、学校内の活動だけではなく、西海市全体で図書ボランティア活動を活性化させるため、情報交流の場を設け、ネットワーク化を図ります。

具体策

◇図書館システムの周知及び活用

あらゆる機会を通して、市立図書館（室）に蔵書がない図書でも県内外から相互貸借ができるサービスについての周知を行い、利用してもらうよう努めます。

また、図書館システムを利用して、利用の多い図書や蔵書状況の確認や分析を行い、購入図書の選定や蔵書充実に努めます。

◇図書ボランティアの支援及びネットワークの確立

学校図書館や市立図書館（室）において、活動している図書ボランティアは、それぞれの学校や市立図書館（室）での活動を行っていますが、図書ボランティアグループ間の交流や情報交換が十分とはいえません。

市立図書館（室）業務のサポートや読み語りをする図書ボランティア人口の拡大及び支援及びネットワーク化を行うため、次のような取組を図ります。

- ・ 養成講座の開催及び活動助成
- ・ 図書ボランティア研修会の開催
- ・ 「スキルアップ・交流会」の開催
- ・ ネットワーク組織の結成及び活動支援

◇市民協働による子ども読書活動の推進

市内の各種団体と連携しながら子ども読書活動推進を図る運動を進めます。

また、地域の公民館等で地域の人を対象に読み語りの進め方や市としての取組を広げる講座を開催します。

- ・ 市立図書館（室）による学校図書館の支援
- ・ 校区公立公民館や自治公民館、各種施設等での「出前おはなし会」や公民館講座等での「読み語り講座」の開催
- ・ 市内各種団体主催事業及び会員研修会等での子ども読書活動推進の啓発運動の展開

◇子ども読書活動の推進にかかる意見聴取する場の設定

図書館協議会などにおいて子ども読書活動の推進を図るため、年1回は子どもへの読書についての意見を求める場を設定します。

◇「子ども読書の日（子どもの読書週間）」及び「読書週間」等への取組

家庭・学校・地域が連携し、市全体の取組として周知啓発活動を推進し、学校や幼稚園・保育園・市立図書館（室）においては、おすすめ本の展示や読み語りなど、関連事業を実施します。

◇行政関連部署との連携

生涯を通した読書習慣を身につけるためには、西海市全体で取り組む必要があります。

子育て世代を対象にした教室や小学校・中学校等で開催される家庭教育に関する講座、子育て支援や放課後児童クラブ等、子どもを取り巻く全ての関連団体部署と連携をとりながら、幼児期における読み語りの大切さ、読書の意義についての周知徹底と普及に努めます。

電子図書館においては多くの部署に働きかけ、刊行物等の収蔵をすすめ、市独自のコンテンツの強化を図ります。

また、図書館における Wi-Fi 環境の整備は、施設の利便性向上と閲覧環境の維持が両立できるよう留意し、他市町の図書館や類似施設の状況も参考にして取り組みを進めます。

第4章 子ども読書活動推進計画の数値目標

1 第二期西海市教育振興基本計画の数値目標（関係項目抜粋）

《数値目標一覧》

目標項目		〔現況値〕 令和元(2019) 年度	〔中間目標値〕 令和3(2021) 年度	〔最終目標値〕 令和8(2026) 年度
平日の読書時間の割合(1日30分以上)	小学校	小6:39.0%	小6:34.2%	小6:100%
	中学校	中3:33.7%	中3:26.4%	中3:100%
「学校図書館図書標準」等による標準冊数達成学校の割合	小学校	130.2%	122.7%	継続
	中学校	110.1%	112.9%	継続
本土部の学校に学校図書館司書等を配置する割合		100%	100%	継続
乳児健診時のブックスタート実施率		100%	100%	継続
図書館まつりの開催		年1回	未実施 代替事業としてブックリサイクルを実施	年1回以上
団体貸出・移動図書館の実施箇所数		団体 27/33 カ所 移動 9/13 カ所	団体 25/29 カ所 移動 9/11 カ所	団体 29/29 カ所 移動 9/11 カ所

2 本計画独自の数値目標

本計画では、第二期西海市教育振興基本計画の項目以外に、進捗状況を把握するため、独自に現状を踏まえ、以下のとおり計画の数値目標を設定します。

目標項目		〔近況値〕 令和4(2022)年度	〔中間目標値〕 令和7(2025)年度	〔目標値〕 令和9(2027)年度
団体貸出・ 移動図書館サービスの 実施率	団体貸出	100%	100%	100%
	移動図書館			
子どもの読 書週間・読 書週間時 のイベント 開催回数	子ども読 書の日	全市で1回 各地区独自1回	全市で1回 各地区独自1回	全市で1回 各地区独自1回
	読書週 間	全市で1回 各地区独自1回	全市で1回 各地区独自1回	全市で1回 各地区独自1回
読み語り体 験の実施 率	乳児健診	—	要望があれば実施	要望があれば実施
	1歳6ヶ月 健診	—	要望があれば実施	要望があれば実施
	3歳6ヶ月 健診	—	要望があれば実施	要望があれば実施
図書ボラン ティア関係 研修会や 交流会等 の開催数	図書ボラン ティア養成 講座	1回(R4実績)	年1回	年2回
	交流会	実施無	年1回	年2回
電子図書 館の利用 率	小学生	13.5%	40%	60%
	中学生	9.1%	30%	50%
	高校生	1.6%	15%	30%

※1 登録者数は令和5年2月1日現在

読書アンケート調査集計結果及びまとめ

調査の概要

1 目的

「西海市子ども読書活動推進計画」(4次計画)策定の基礎資料として、児童・生徒の読書活動の実態を把握するため、アンケート調査を実施し、同計画の参考とする。

2 調査方法

保育園・幼稚園、小・中・高校を対象に Web でアンケートを取り、保護者、教員、児童生徒が回答後に教育委員会 社会教育課にて取り纏める。

3 実施時期

令和4年11月～令和5年1月

4 対象

- | | |
|---------|--|
| (1) 小学校 | 市内11校の小学生全員 |
| (2) 中学校 | 市内6校の中学校1年生から3年生全員 |
| (3) 高校 | 市内3校の高校生全員 |
| (4) 教員 | 市内小・中学校・高校・幼稚園・保育園・認定こども園の教員 |
| (5) 保護者 | 市内の小学校、中学校の保護者
市内幼稚園の保護者
市内保育園の保護者
市内認定こども園の保護者 |

5 回収率

- | | | |
|-------------------|-----------------------|--------|
| (1) 小学校 | 1,142 人(総回答数 1,192 人) | 95.8% |
| (2) 中学校 | 551 人(総回答数 592 人) | 93.1% |
| (3) 高校 | 114 人(総回答数 142 人) | 80.3% |
| (4) 教員 | 258 人(総回答数 399 人) | 65.0% |
| (幼稚園・保育園・小学校・中学校) | | |
| (5) 教員(高校) | 46 人(総回答数 53 人) | 87.0% |
| (6) 保護者 | 1,592 人(総回答数 686 人) | 43.1% |
| (7) ブックスタート | 94 人(総回答数 90 人) | 104.0% |

6 アンケート種別

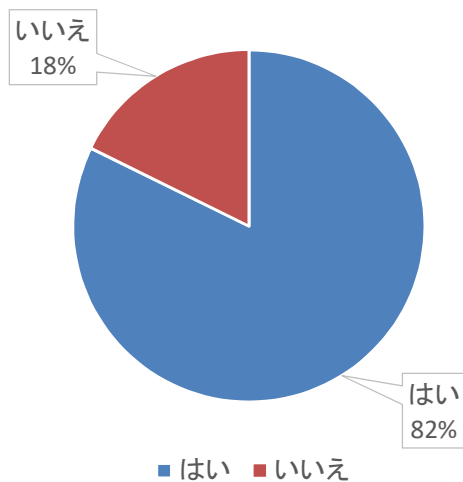
- (1) 小学校児童(移動図書未実施)
- (2) 小学校児童(移動図書実施)
- (3) 中学校生徒
- (4) 高校生徒
- (5) 教員(高校以外)
- (6) 教員(高校)
- (7) 保護者
- (8) ブックスタート

7 調査結果

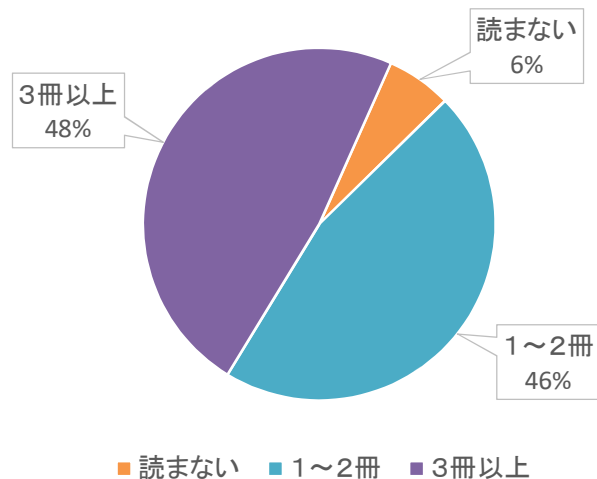
- (1) 小学校(移動図書未実施) アンケート調査結果
- (2) 小学校(移動図書実施) アンケート調査結果
- (3) 中学校 アンケート調査結果
- (4) 高校 アンケート調査結果
- (5) 教員(高校以外) アンケート調査結果
- (6) 教員(高校) アンケート調査結果
- (7) 保護者 アンケート調査結果
- (8) ブックスタート アンケート調査結果

(1) 小学校(移動図書未実施) アンケート調査結果

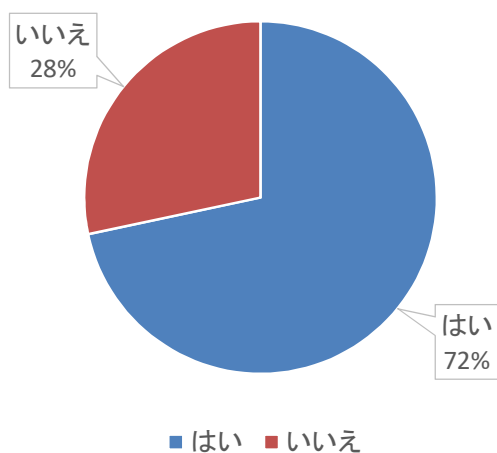
質問1	あなたは本を読むことは好きですか。	割合 (%)	件数 (人)
1	はい	82.3	302
2	いいえ	17.7	65
	合計	100.0	367



質問2	あなたは1週間に何冊、本を読みますか。(延べ冊数) (読みかけの本も1冊と数えます。同じ本を2回読むと2冊とします。)	割合 (%)	件数 (人)
1	読まない	6.0	22
2	1～2冊	46.0	169
3	3冊以上	48.0	176
	合計	100.0	367

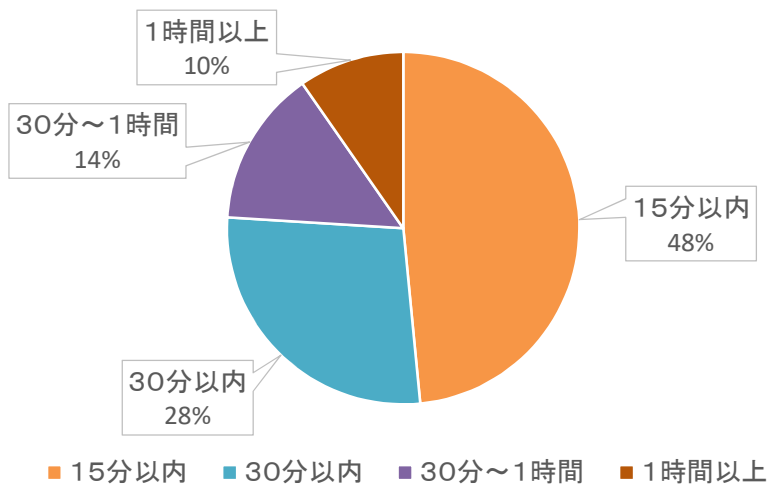


質問3	あなたは学校での朝の読書時間以外で本を読みますか。	割合 (%)	件数 (人)
1	はい	71.7	263
2	いいえ	28.3	104
	合計	100.0	367

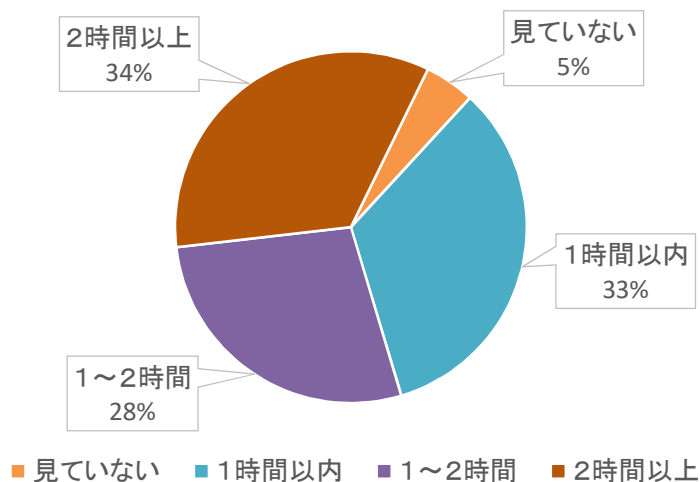


質問3-1	はいと答えた方に質問です。 朝の読書時間とは別に1日に本をどれぐらい読みますか。	割合 (%)	件数 (人)
1	15分以内	47.5	125
2	30分以内	27.0	71
3	30分～1時間	14.1	37
4	1時間以上	9.5	25
	合計	98.1	258

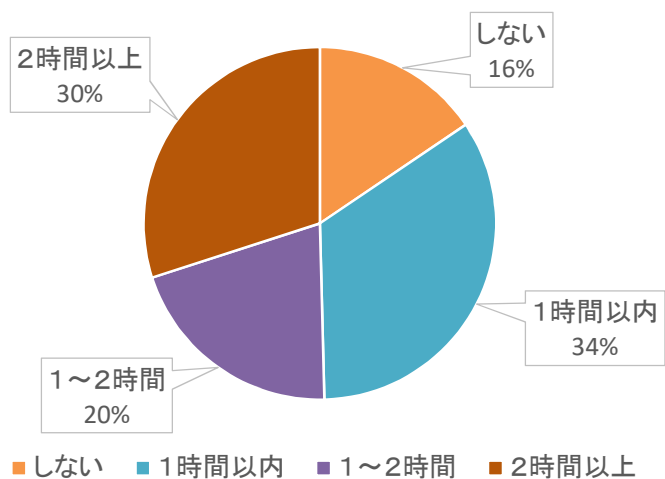
無効回答有



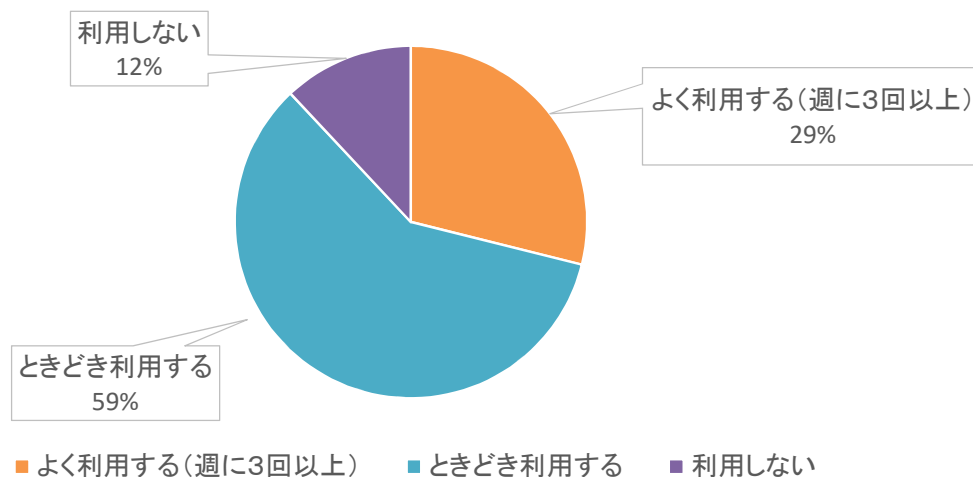
質問4	あなたは1日にテレビをどれくらい見ますか。	割合 (%)	件数 (人)
1	見ていない	4.6	17
2	1時間以内	33.5	123
3	1～2時間	27.8	102
4	2時間以上	34.1	125
	合計	100.0	367



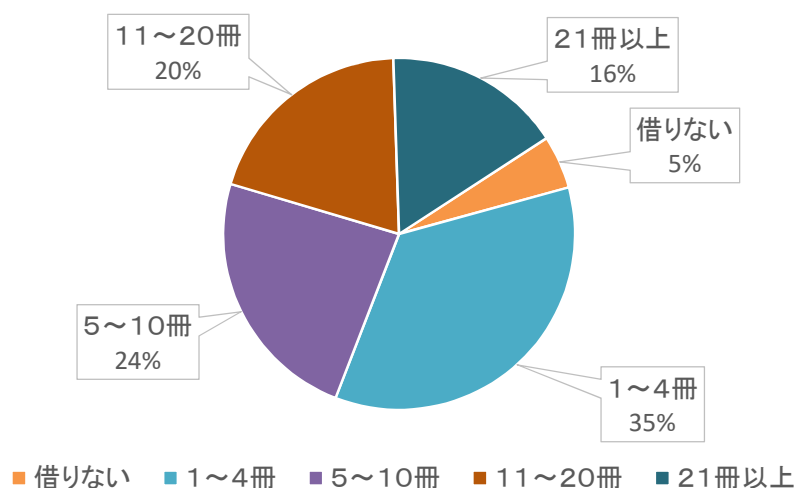
質問5	あなたは1日に電子メディアをどれくらい使用しますか。	割合 (%)	件数 (人)
1	しない	15.5	57
2	1時間以内	34.1	125
3	1～2時間	20.4	75
4	2時間以上	30.0	110
	合計	100.0	367



質問6	あなたは勉強以外で学校の図書室をどれくらい利用しますか。	割合 (%)	件数 (人)
1	よく利用する (週に3回以上)	28.9	106
2	ときどき利用する	59.1	217
3	利用しない	12.0	44
	合計	100.0	367

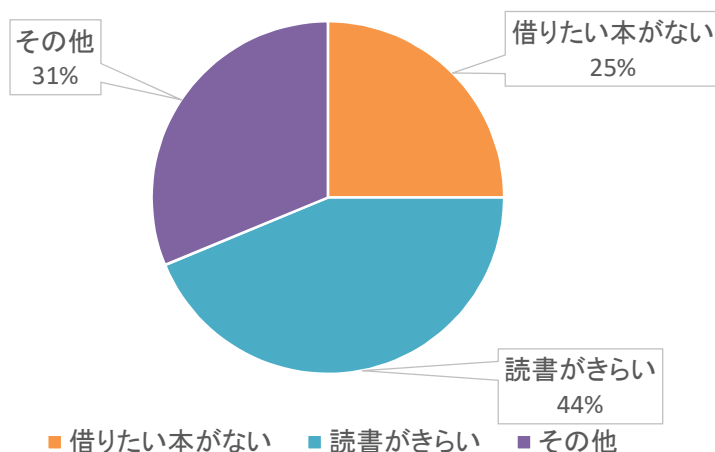


質問7	あなたは月に何冊くらい本を借りますか。	割合 (%)	件数 (人)
1	借りない	4.9	18
2	1～4冊	35.1	129
3	5～10冊	23.7	87
4	11～20冊	19.9	73
5	21冊以上	16.3	60
	合計	100.0	367

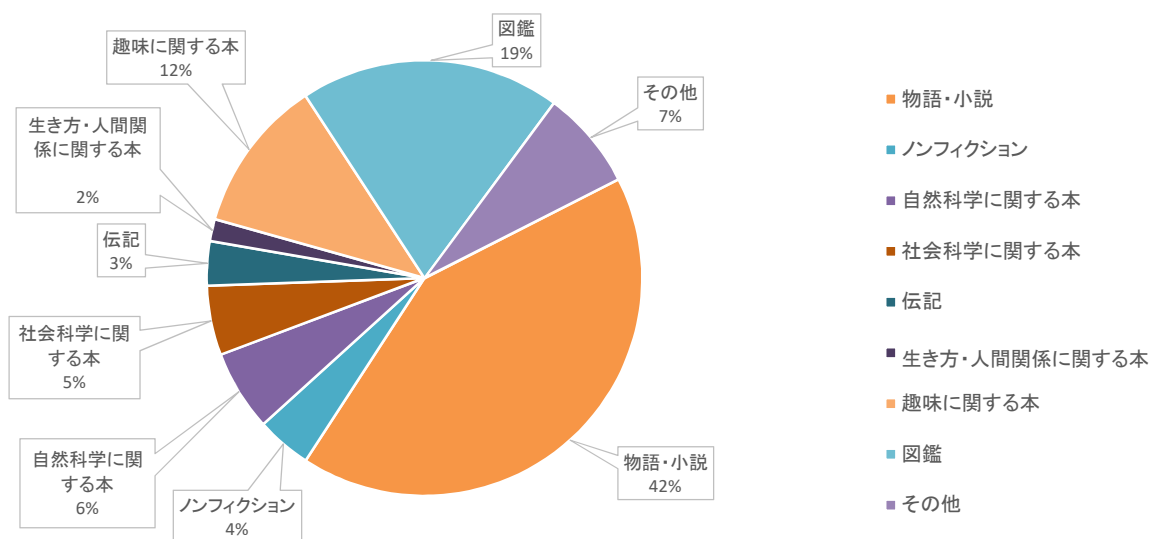


質問7-1	「借りない」と答えた人にだけ聞きます。 借りない理由はどれですか。	割合 (%)	件数 (人)
1	借りたい本がない	22.2	4
2	読書がきらい	38.9	7
3	その他	27.8	5
	合計	88.9	16

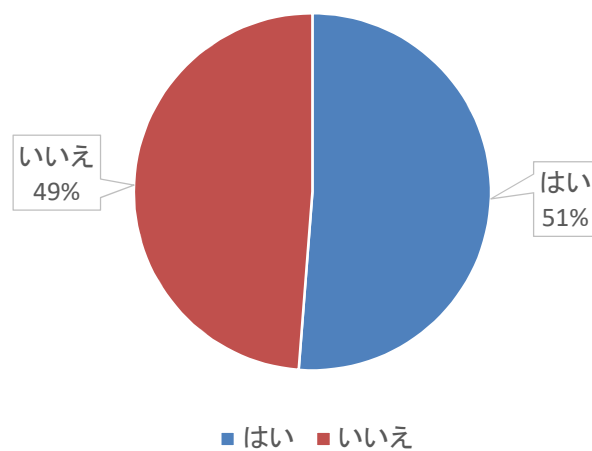
無効回答有



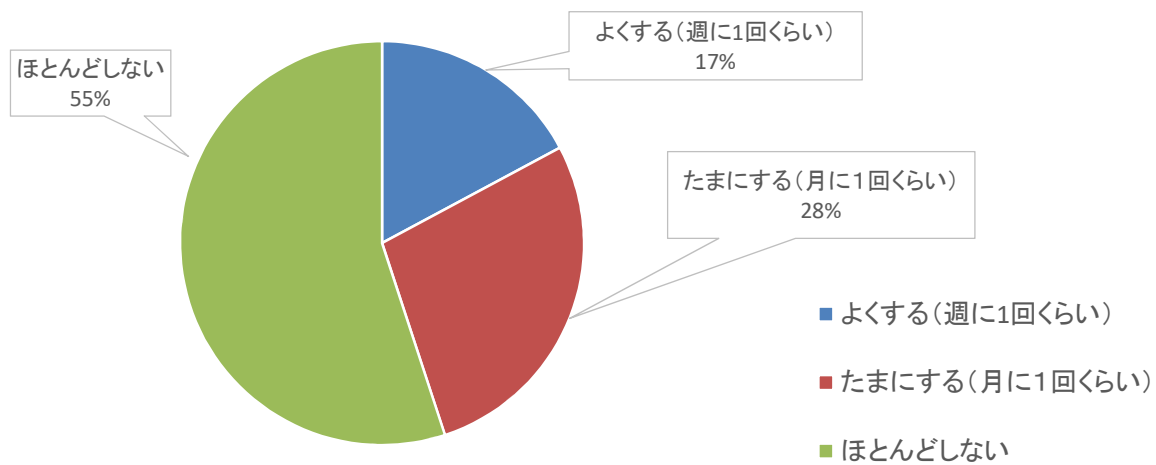
質問8	あなたが好きな本のジャンルはなんですか。	割合 (%)	件数 (人)
1	物語・小説	41.7	153
2	ノンフィクション	4.1	15
3	自然科学に関する本	6.0	22
4	社会科学に関する本	5.2	19
5	伝記	3.3	12
6	生き方・人間関係に関する本	1.6	6
7	趣味に関する本	11.4	42
8	図鑑	19.3	71
9	その他	7.4	27
	合計	100.0	367



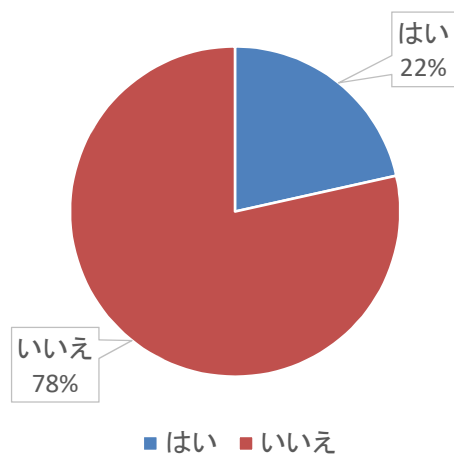
質問9	あなたは本をだれかに読んでもらうのは好きですか。	割合 (%)	件数 (人)
1	はい	51.2	188
2	いいえ	48.8	179
	合計	100.0	367



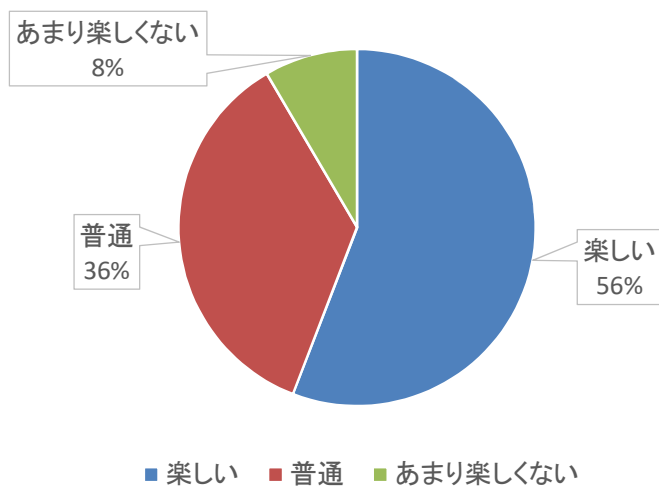
質問10	家の人と一緒に本を読んだり、本について話し合いますか。	割合 (%)	件数 (人)
1	よくする (週に1回くらい)	17.2	63
2	たまにする (月に1回くらい)	27.8	102
3	ほとんどしない	55.0	202
	合計	100.0	367



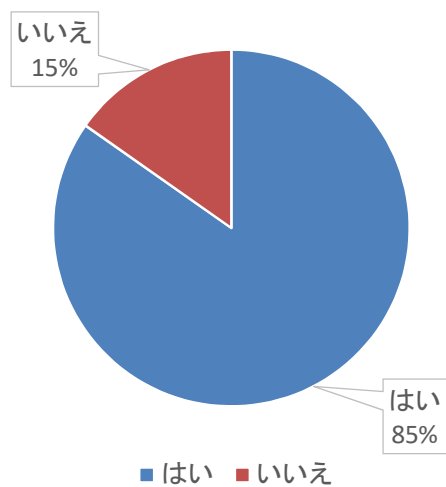
質問11	あなたは家ではだれかに本を読んでもらっていますか。	割合 (%)	件数 (人)
1	はい	21.5	79
2	いいえ	78.5	288
	合計	100.0	367



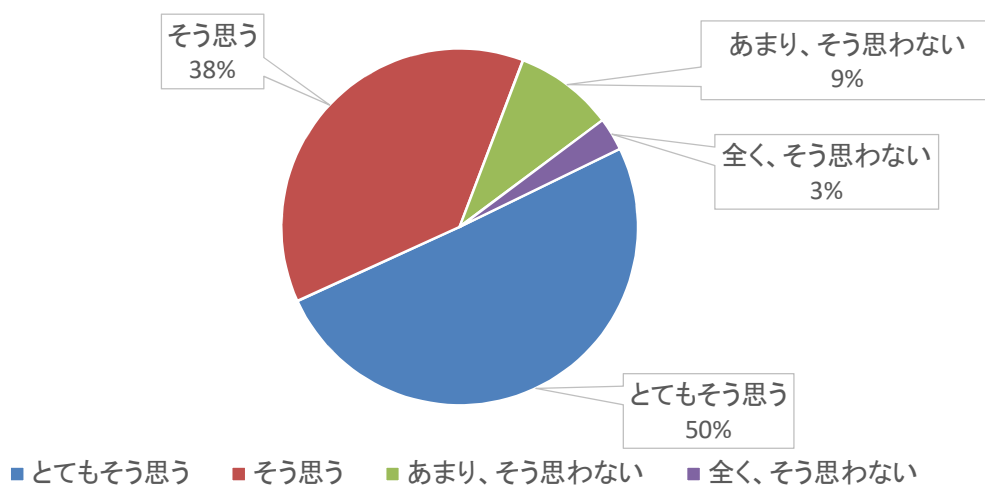
質問12	朝の読書は楽しいですか。	割合 (%)	件数 (人)
1	楽しい	55.9	205
2	普通	35.7	131
3	あまり楽しくない	8.4	31
	合計	100.0	367



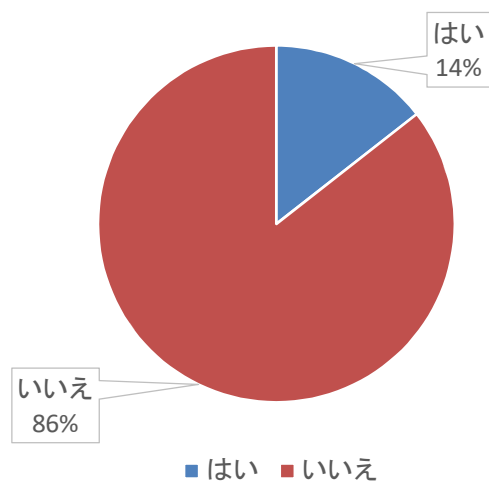
質問13	学校に読み語りの時間があってもいいと思いますか。	割合 (%)	件数 (人)
1	はい	84.7	311
2	いいえ	15.3	56
	合計	100.0	367



質問14	あなたは、「本を読むことは大切」と思いますか。	割合 (%)	件数 (人)
1	とてもそう思う	50.4	185
2	そう思う	37.6	138
3	あまり、そう思わない	9.0	33
4	全く、そう思わない	3.0	11
	合計	100.0	367

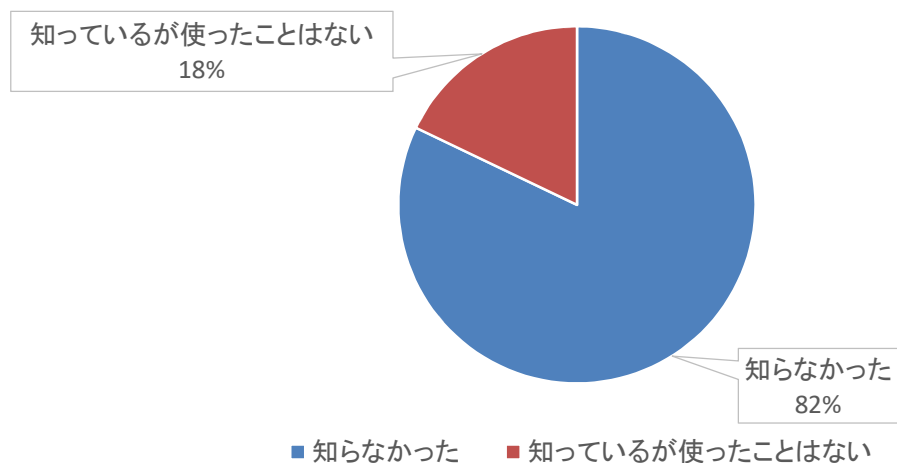


質問15	「さいかい電子図書館」を利用したことがありますか。	割合 (%)	件数 (人)
1	はい	14.4	53
2	いいえ	85.6	314
	合計	100.0	367

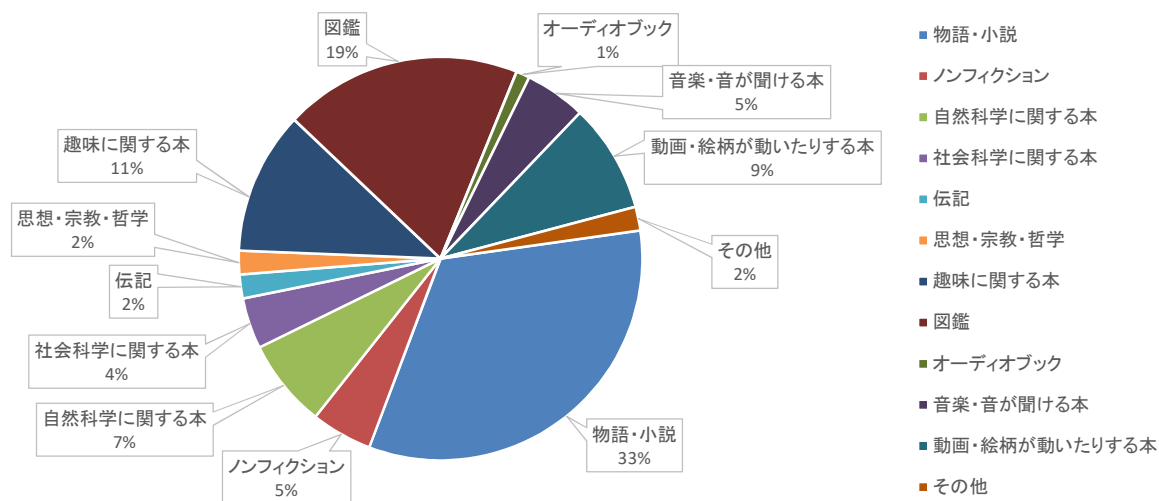


質問15-1	「利用したことがない」と答えた人に聞きます。 利用しない理由を教えてください。	割合 (%)	件数 (人)
1	知らなかった	81.8	257
2	知っているが使ったことはない	17.8	56
	合計	99.7	313

無効回答有

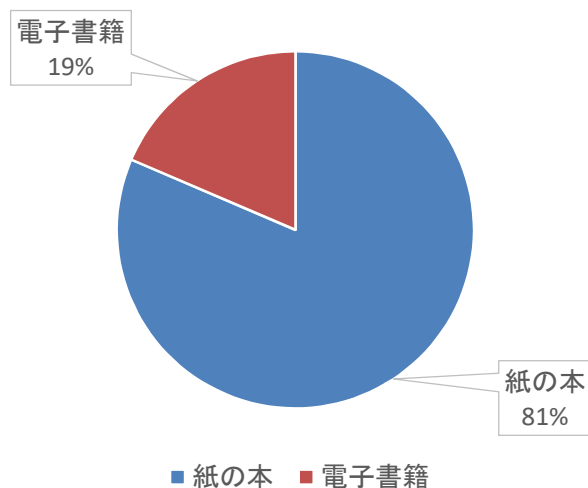


質問16	電子図書館にどんな本があったら利用したいですか。	割合 (%)	件数 (人)
1	物語・小説	33.0	121
2	ノンフィクション	4.9	18
3	自然科学に関する本	7.1	26
4	社会科学に関する本	4.1	15
5	伝記	1.9	7
6	思想・宗教・哲学	1.9	7
7	趣味に関する本	11.4	42
8	図鑑	19.1	70
9	オーディオブック	1.1	4
10	音楽・音が聞ける本	4.9	18
11	動画・絵柄が動いたりする本	8.7	32
12	その他	1.9	7
	合計	100.0	367



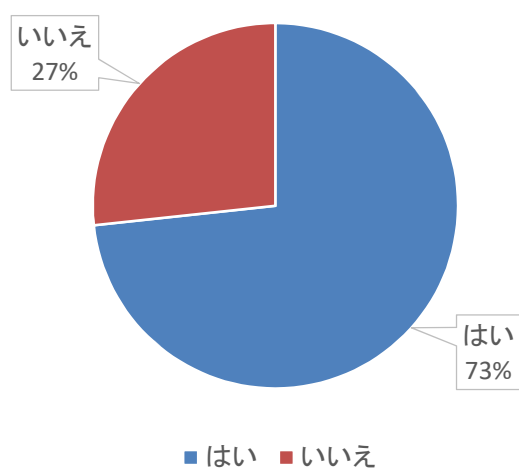
質問17	紙の本と電子書籍どちらの本が好きですか。	割合 (%)	件数 (人)
1	紙の本	80.1	294
2	電子書籍	18.3	67
	合計	98.4	361

無効回答有

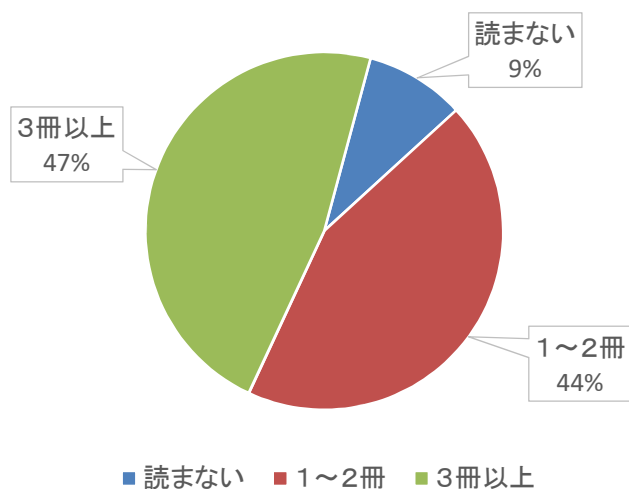


(2) 小学校(移動図書実施) アンケート調査結果

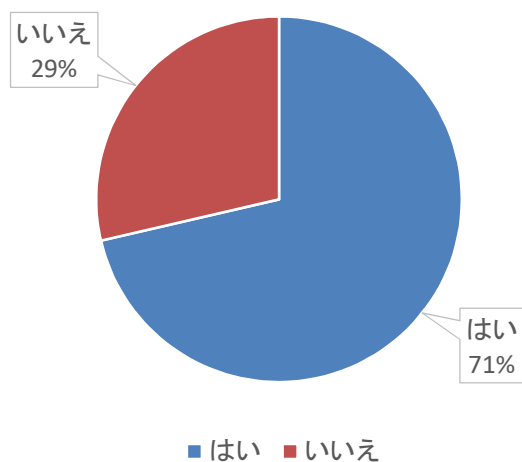
質問1	あなたは本を読むことは好きですか。	割合 (%)	件数 (人)
1	はい	73.3	568
2	いいえ	26.7	207
	合計	100.0	775



質問2	あなたは1週間に何冊、本を読みますか。(延べ冊数) (読みかけの本も1冊と数えます。同じ本を2回読むと2冊とします。)	割合 (%)	件数 (人)
1	読まない	9.0	70
2	1～2冊	43.7	339
3	3冊以上	47.2	366
	合計	100.0	775

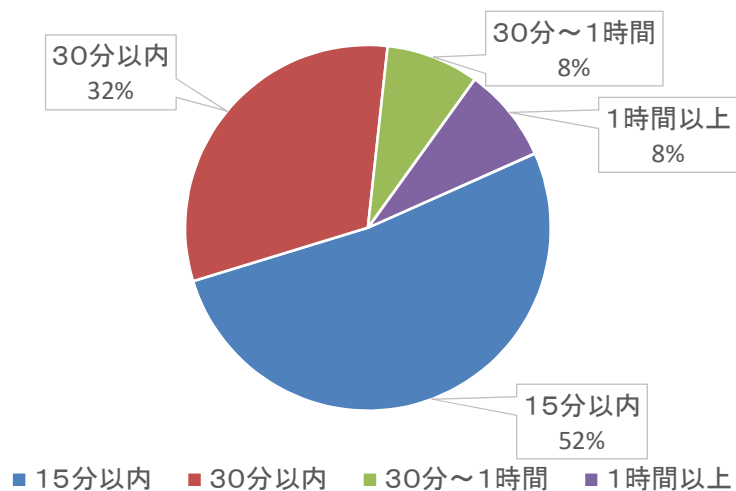


質問3	あなたは学校での朝の読書時間以外で本を読みますか。	割合 (%)	件数 (人)
1	はい	71.4	553
2	いいえ	28.6	222
	合計	100.0	775

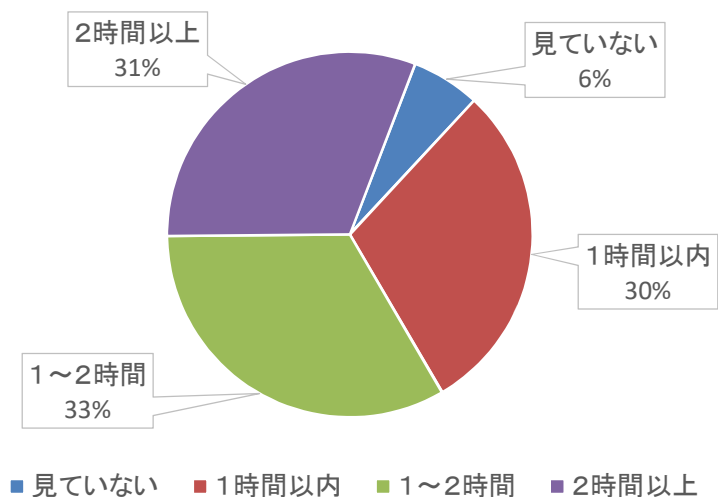


質問3-1	はいと答えた方に質問です。 朝の読書時間とは別に1日に本をどれぐらい読みますか。	割合 (%)	件数 (人)
1	15分以内	48.1	266
2	30分以内	29.1	161
3	30分～1時間	7.6	42
4	1時間以上	7.8	43
	合計	92.6	512

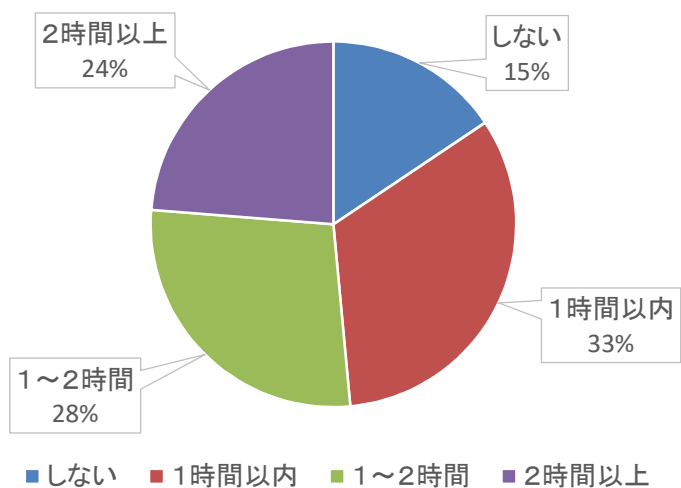
無効回答有



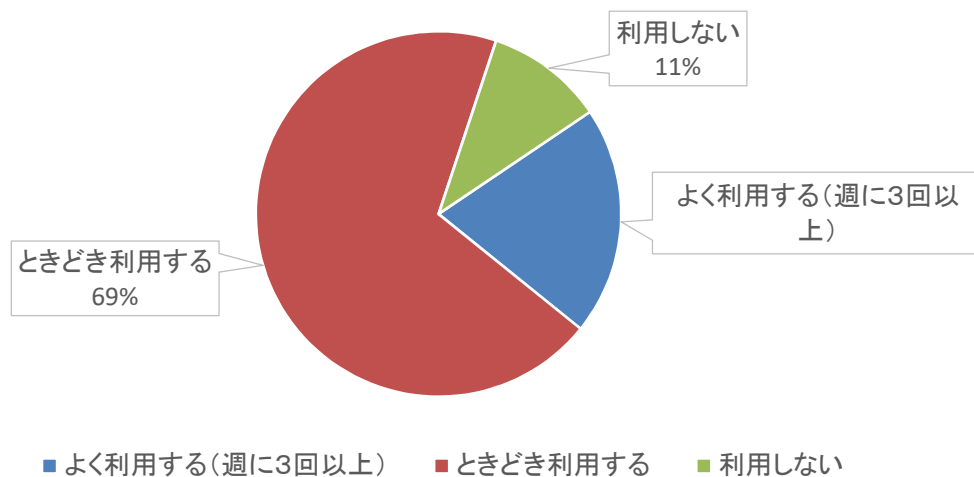
質問4	あなたは1日にテレビをどれくらい見ますか。	割合 (%)	件数 (人)
1	見ていない	6.1	47
2	1時間以内	29.7	230
3	1～2時間	33.3	258
4	2時間以上	31.0	240
	合計	100.0	775



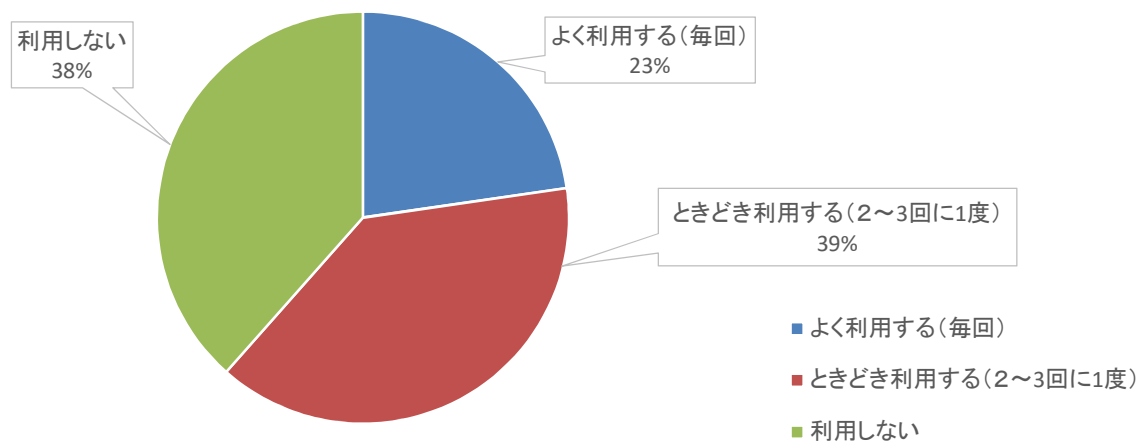
質問5	あなたは1日に電子メディアをどれくらい使用しますか。	割合 (%)	件数 (人)
1	しない	15.6	121
2	1時間以内	32.9	255
3	1～2時間	27.7	215
4	2時間以上	23.7	184
	合計	100.0	775



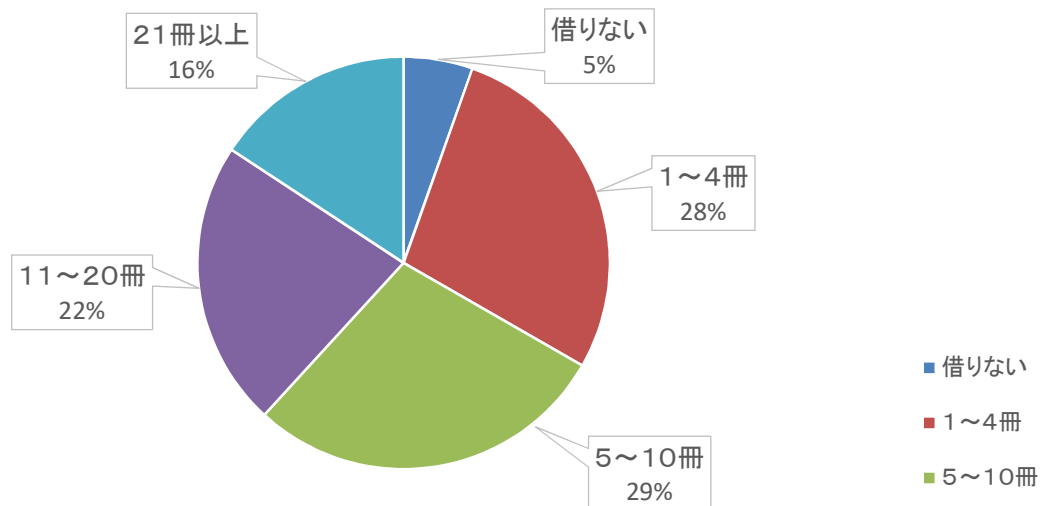
質問6	あなたは勉強以外で学校の図書室をどれくらい利用しますか。	割合 (%)	件数 (人)
1	よく利用する (週に3回以上)	20.3	157
2	ときどき利用する	69.3	537
3	利用しない	10.5	81
	合計	100.0	775



質問7	あなたは移動図書を利用しますか。	割合 (%)	件数 (人)
1	よく利用する (毎回)	22.7	176
2	ときどき利用する (2～3回に1度)	38.8	301
3	利用しない	38.5	298
	合計	100.0	775

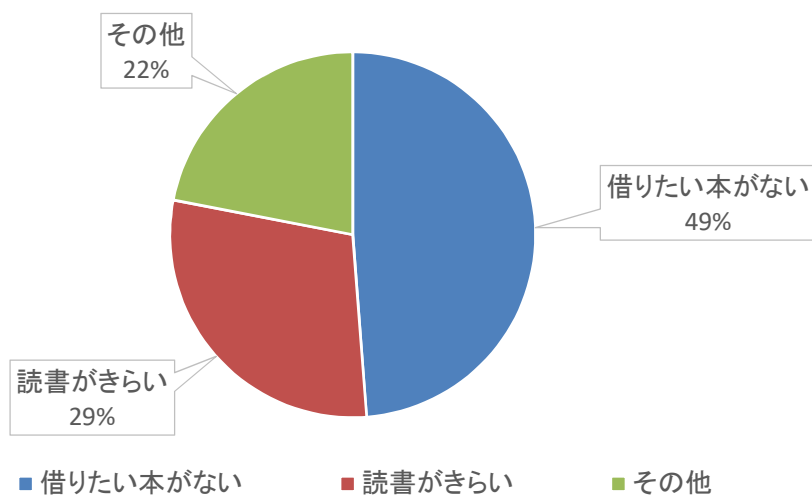


質問8	あなたは月に何冊くらい本を借りますか。	割合 (%)	件数 (人)
1	借りない	5.4	42
2	1～4冊	27.9	216
3	5～10冊	28.5	221
4	11～20冊	22.5	174
5	21冊以上	15.7	122
	合計	100.0	775

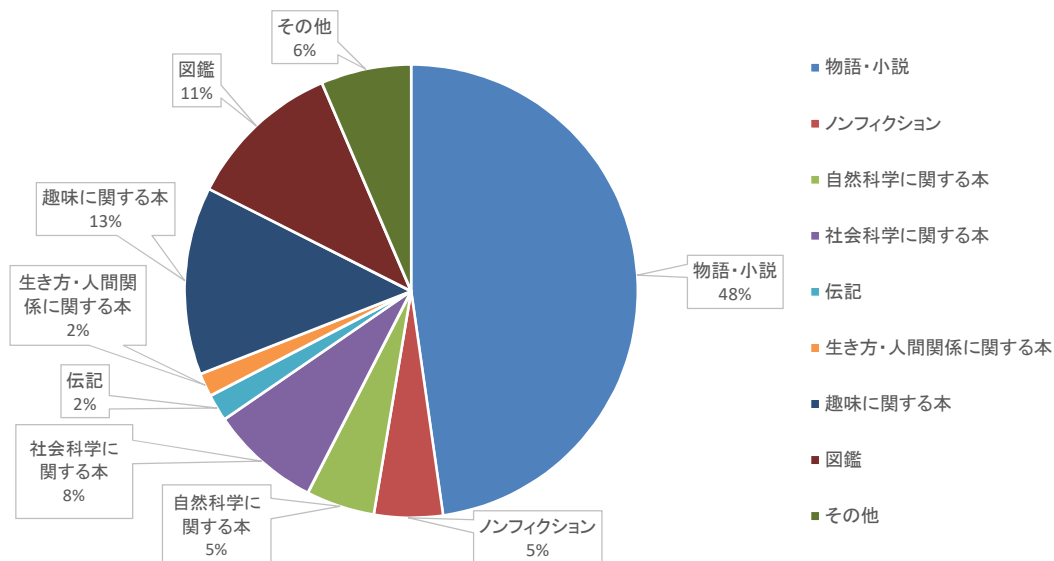


質問8-1	「借りない」と答えた人にだけ聞きます。 借りない理由はどれですか。	割合 (%)	件数 (人)
1	借りたい本がない	47.6	20
2	読書がきらい	28.6	12
3	その他	21.4	9
	合計	97.6	41

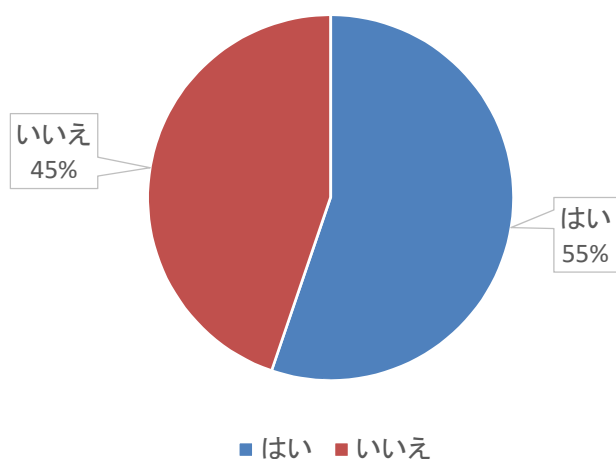
無効回答有



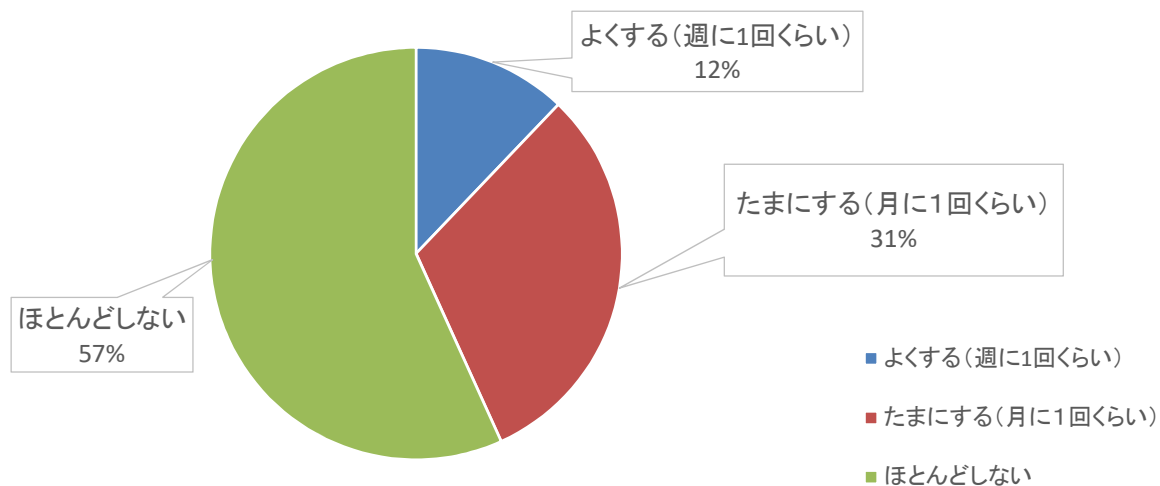
質問9	あなたが好きな本のジャンルはなんですか。	割合 (%)	件数 (人)
1	物語・小説	47.7	370
2	ノンフィクション	4.9	38
3	自然科学に関する本	4.9	38
4	社会科学に関する本	7.9	61
5	伝記	1.9	15
6	生き方・人間関係に関する本	1.7	13
7	趣味に関する本	13.4	104
8	図鑑	11.1	86
9	その他	6.5	50
	合計	100.0	775



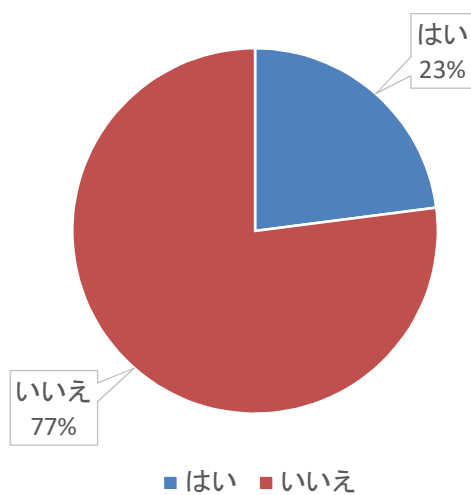
質問10	あなたは本をだれかに読んでもらうのは好きですか。	割合 (%)	件数 (人)
1	はい	55.2	428
2	いいえ	44.8	347
	合計	100.0	775



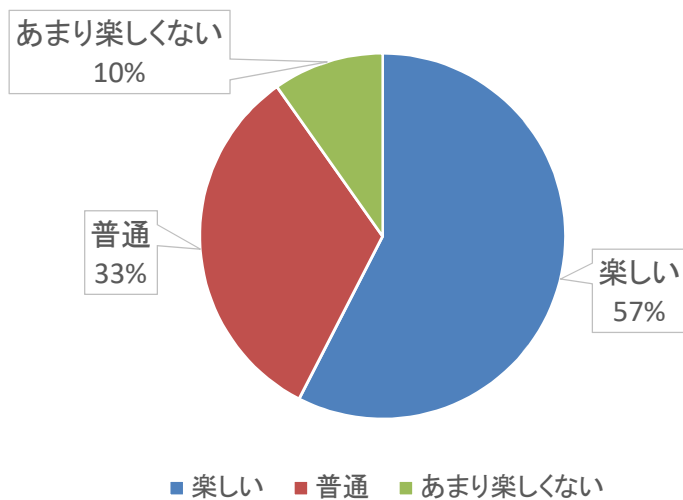
質問11	家の人と一緒に本を読んだり、本について話し合いますか。	割合 (%)	件数 (人)
1	よくする (週に1回くらい)	12.1	94
2	たまにする (月に1回くらい)	31.1	241
3	ほとんどしない	56.8	440
	合計	100.0	775



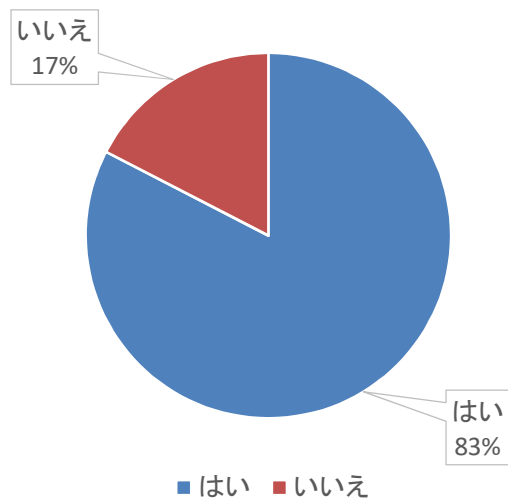
質問12	あなたは家ではだれかに本を読んでもらっていますか。	割合 (%)	件数 (人)
1	はい	23.0	178
2	いいえ	77.0	597
	合計	100.0	775



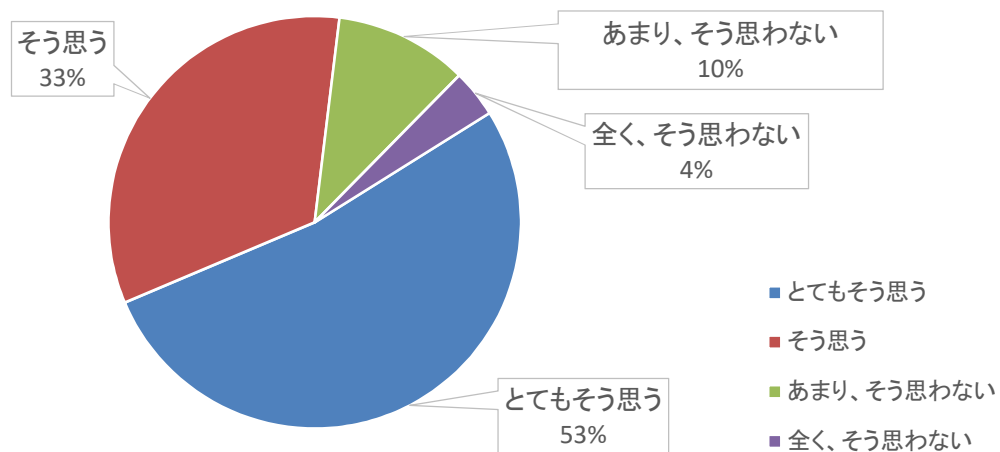
質問13	朝の読書は楽しいですか。	割合 (%)	件数 (人)
1	楽しい	57.5	446
2	普通	32.6	253
3	あまり楽しくない	9.8	76
	合計	100.0	775



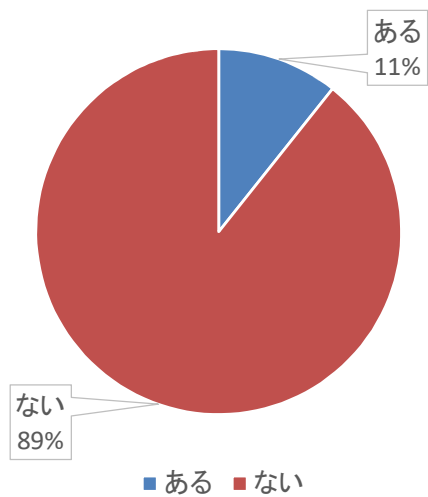
質問14	学校に読み語りの時間があってもいいと思いますか。	割合 (%)	件数 (人)
1	はい	82.6	640
2	いいえ	17.4	135
	合計	100.0	775



質問15	あなたは、「本を読むことは大切」と思いますか。	割合 (%)	件数 (人)
1	とてもそう思う	52.5	407
2	そう思う	33.3	258
3	あまり、そう思わない	10.5	81
4	全く、そう思わない	3.7	29
	合計	100.0	775

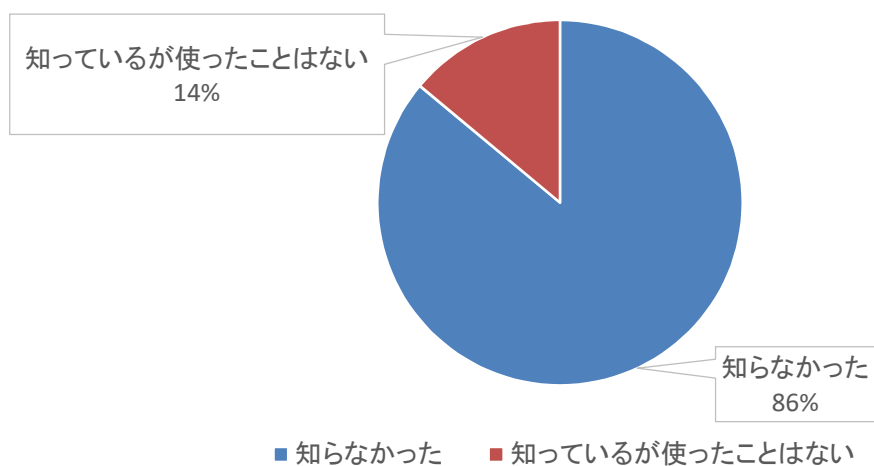


質問16	「さいかい電子図書館」を利用したことがありますか。	割合 (%)	件数 (人)
1	ある	10.7	83
2	ない	89.3	692
	合計	100.0	775

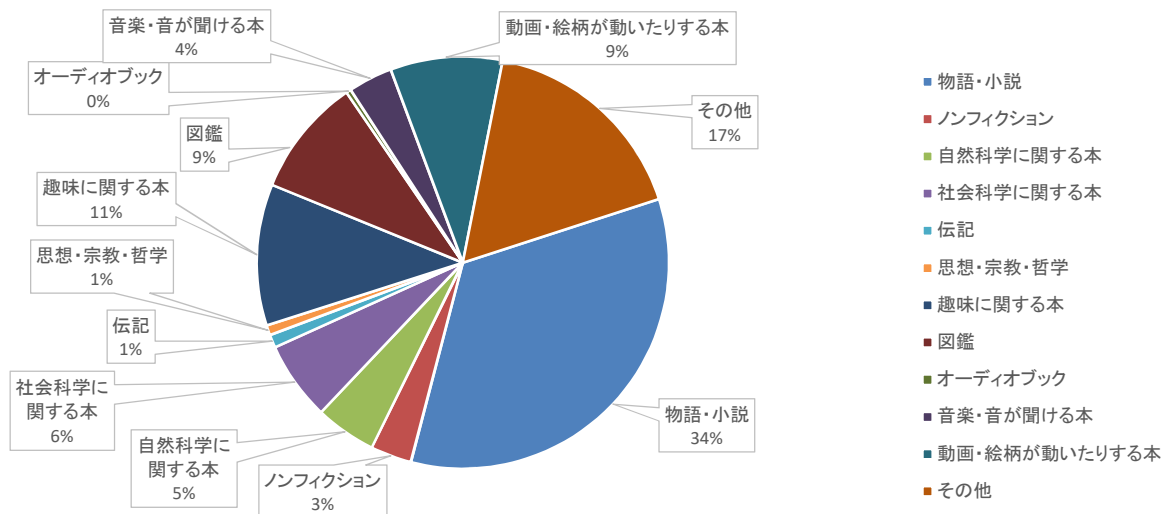


質問16-1	「利用したことがない」と答えた人に聞きます。 利用しない理由を教えてください。	割合 (%)	件数 (人)
1	知らなかった	84.7	586
2	知っているが使ったことはない	13.7	95
	合計	98.4	681

無効回答有

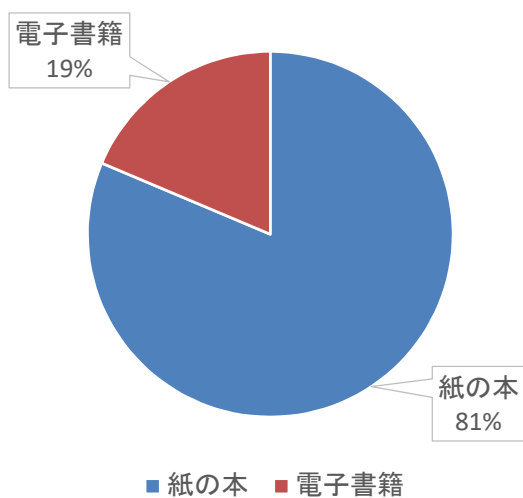


質問17	電子図書館にどんな本があったら利用したいですか。	割合 (%)	件数 (人)
1	物語・小説	34.1	264
2	ノンフィクション	3.2	25
3	自然科学に関する本	4.8	37
4	社会科学に関する本	6.2	48
5	伝記	1.0	8
6	思想・宗教・哲学	0.8	6
7	趣味に関する本	11.1	86
8	図鑑	9.3	72
9	オーディオブック	0.4	3
10	音楽・音が聞ける本	3.5	27
11	動画・絵柄が動いたりする本	8.8	68
12	その他	16.9	131
	合計	100.0	775



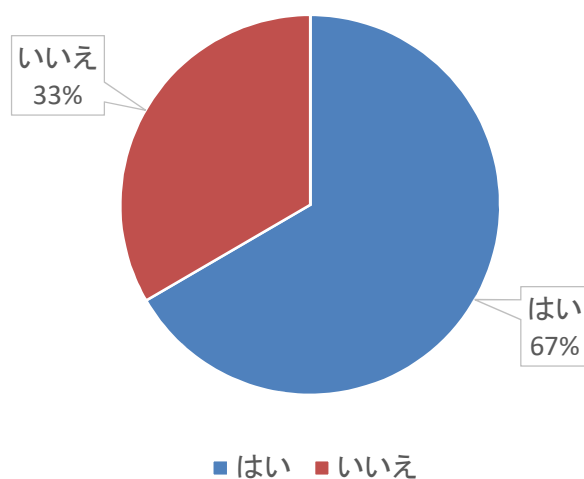
質問18	紙の本と電子書籍どちらの本が好きですか。	割合 (%)	件数 (人)
1	紙の本	72.6	563
2	電子書籍	16.6	129
	合計	89.3	692

無効回答有

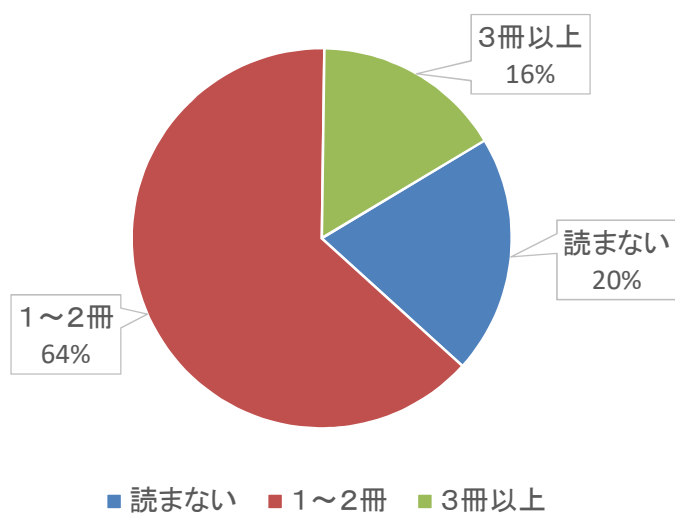


(3) 中学校 アンケート調査結果

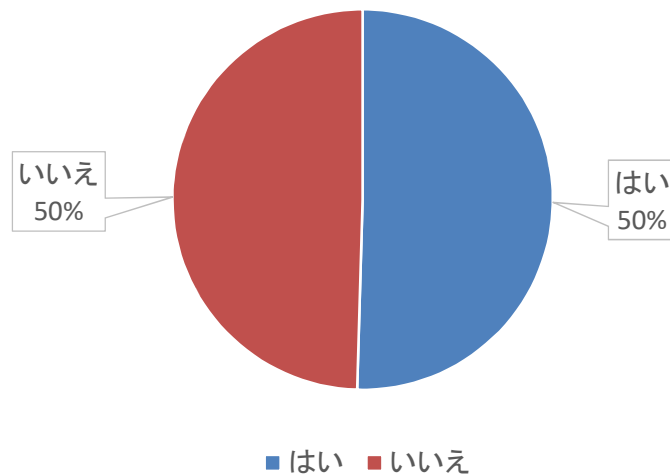
質問1	あなたは本を読むことが好きですか。	割合 (%)	件数 (人)
1	はい	66.6	367
2	いいえ	33.4	184
	合計	100.0	551



質問2	あなたは1週間に何冊、本を読みますか。 (読みかけの本も1冊と数えます。同じ本を2回読むと2冊とします。)	割合 (%)	件数 (人)
1	読まない	20.3	112
2	1～2冊	63.5	350
3	3冊以上	16.2	89
	合計	100.0	551

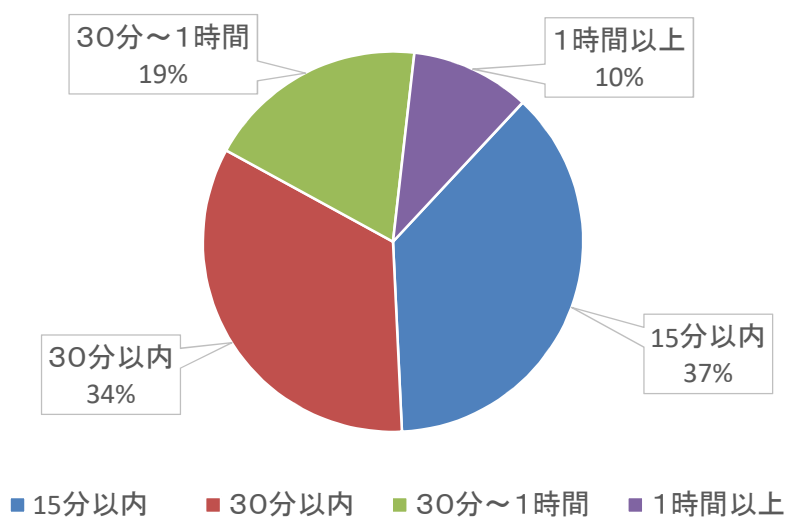


質問3	あなたは学校での朝の読書時間 以外 で本を読みますか。	割合 (%)	件数 (人)
1	はい	50.5	278
2	いいえ	49.5	273
	合計	100.0	551

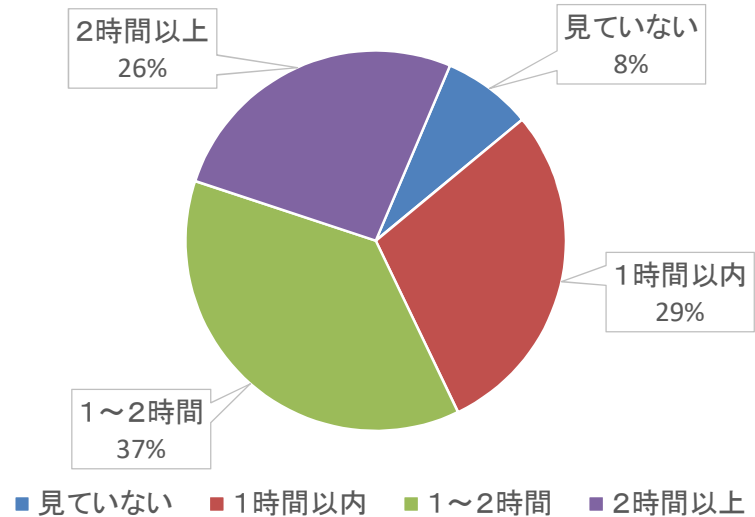


質問3-1	3番「はい」と答えた方に質問です。 朝の読書時間とは別に1日に本をどれくらい読みますか。	割合 (%)	件数 (人)
1	15分以内	37.3	103
2	30分以内	33.7	93
3	30分～1時間	18.8	52
4	1時間以上	10.1	28
	合計	99.9	276

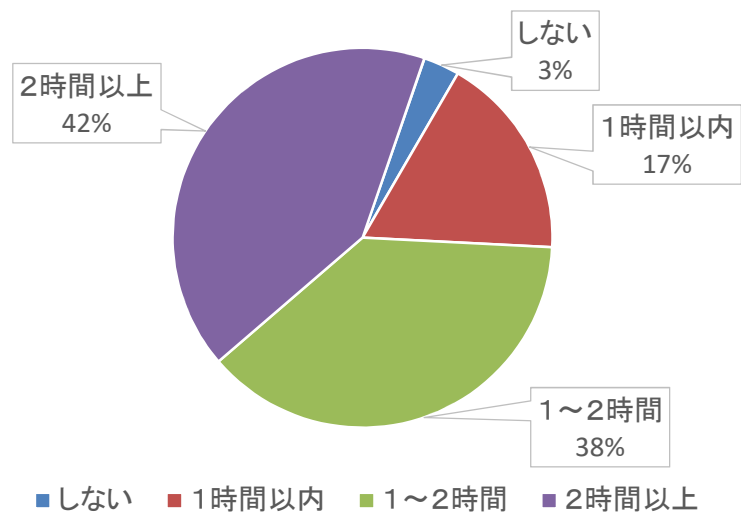
無効回答有



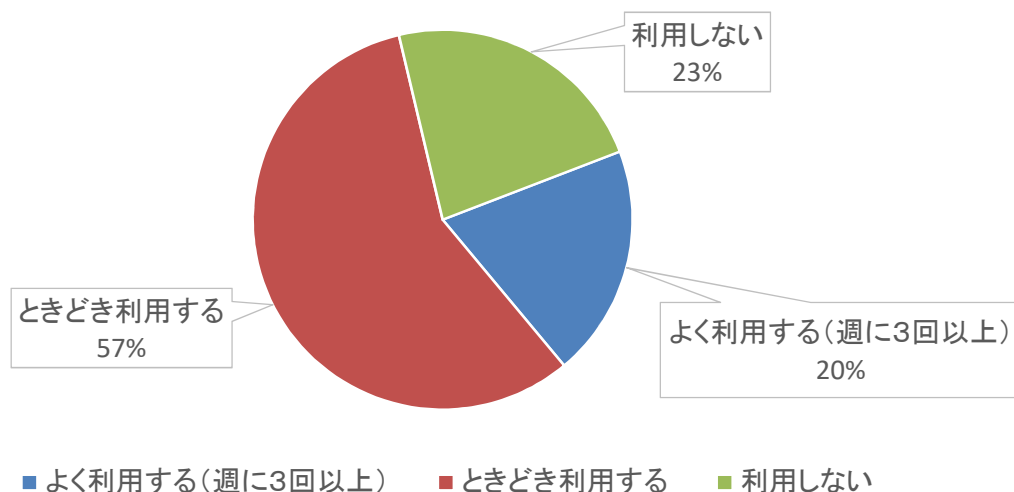
質問4	あなたは1日にテレビをどれくらい見ますか。	割合 (%)	件数 (人)
1	見ていない	7.6	42
2	1時間以内	28.9	159
3	1～2時間	37.2	205
4	2時間以上	26.3	145
	合計	100.0	551



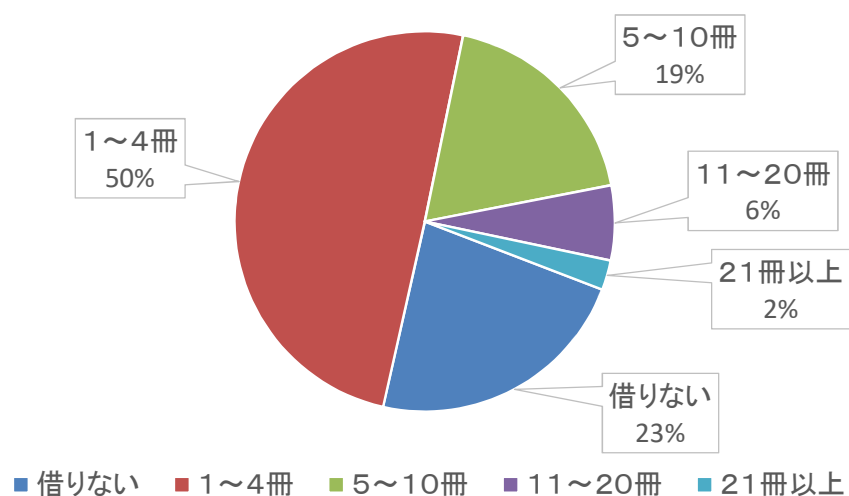
質問5	あなたは1日に電子メディアをどれくらい使用しますか。	割合 (%)	件数 (人)
1	しない	3.1	17
2	1時間以内	17.4	96
3	1～2時間	37.9	209
4	2時間以上	41.6	229
	合計	100.0	551



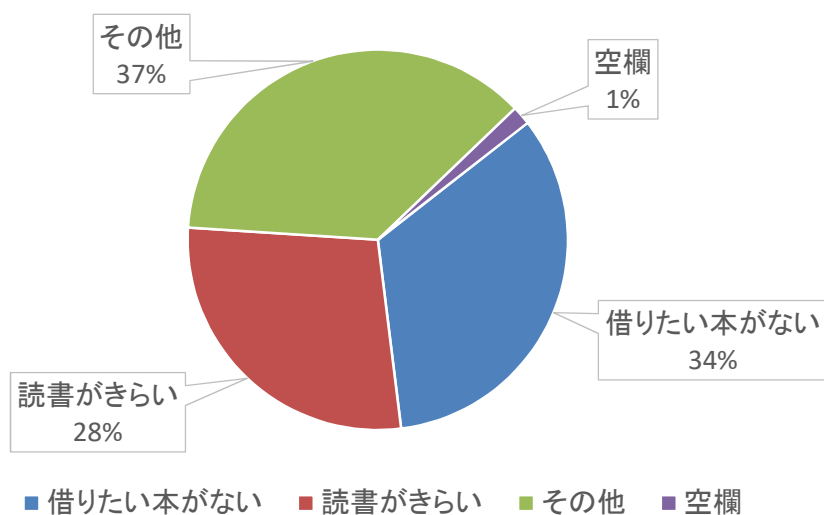
質問6	あなたは勉強以外で学校の図書室をどれくらい利用しますか。	割合 (%)	件数 (人)
1	よく利用する (週に3回以上)	19.8	109
2	ときどき利用する	57.4	316
3	利用しない	22.9	126
	合計	100.0	551



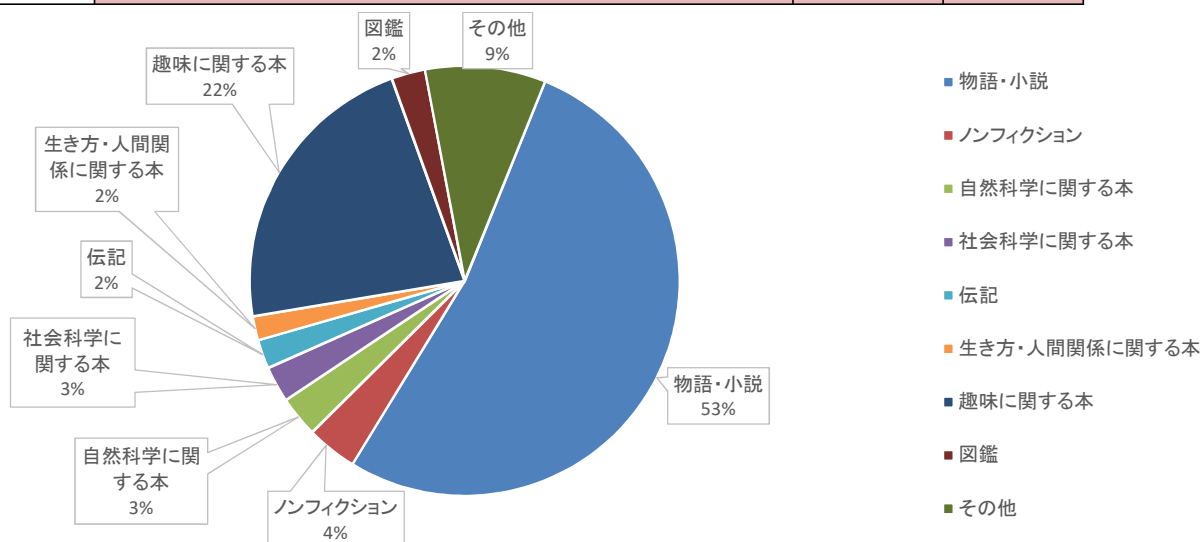
質問7	あなたは月に何冊くらい本を借りますか。	割合 (%)	件数 (人)
1	借りない	22.7	125
2	1～4冊	49.7	274
3	5～10冊	18.7	103
4	11～20冊	6.4	35
5	21冊以上	2.5	14
	合計	100.0	551



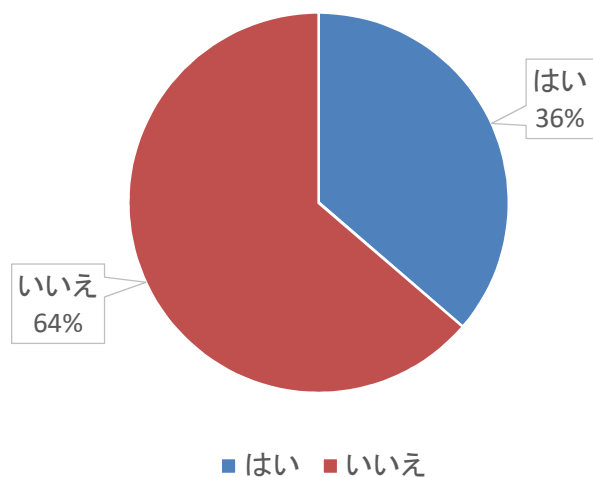
質問7-1	借りないと答えた人にだけ聞きます。理由はどれですか。	割合 (%)	件数 (人)
1	借りたい本がない	33.6	42
2	読書がきらい	28.0	35
3	その他	36.8	46
4	空欄	1.6	2
	合計	100.0	125



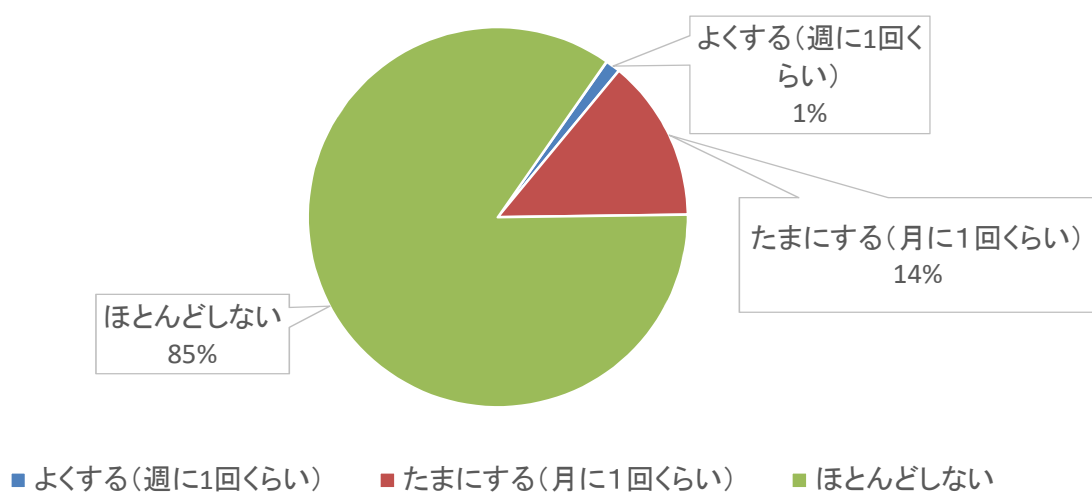
質問8	あなたが好きな本のジャンルは何ですか。	割合 (%)	件数 (人)
1	物語・小説	52.6	290
2	ノンフィクション	3.8	21
3	自然科学に関する本	3.1	17
4	社会科学に関する本	2.7	15
5	伝記	2.2	12
6	生き方・人間関係に関する本	1.8	10
7	趣味に関する本	22.1	122
8	図鑑	2.5	14
9	その他	9.1	50
	合計	100.0	551



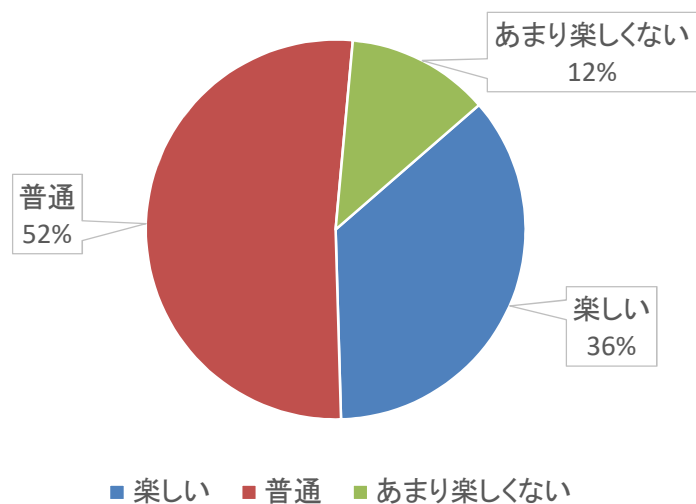
質問9	あなたは本をだれかに読んでもらうのは好きですか。	割合 (%)	件数 (人)
1	はい	36.3	200
2	いいえ	63.7	351
	合計	100.0	551



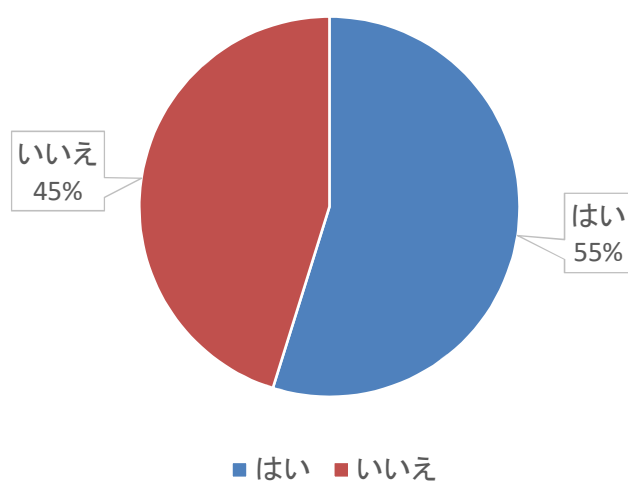
質問10	家庭で親子一緒に本を読んだり、本について話し合ったりすることがありますか。	割合 (%)	件数 (人)
1	よくする (週に1回くらい)	1.3	7
2	たまにする (月に1回くらい)	13.8	76
3	ほとんどしない	84.9	468
	合計	100.0	551



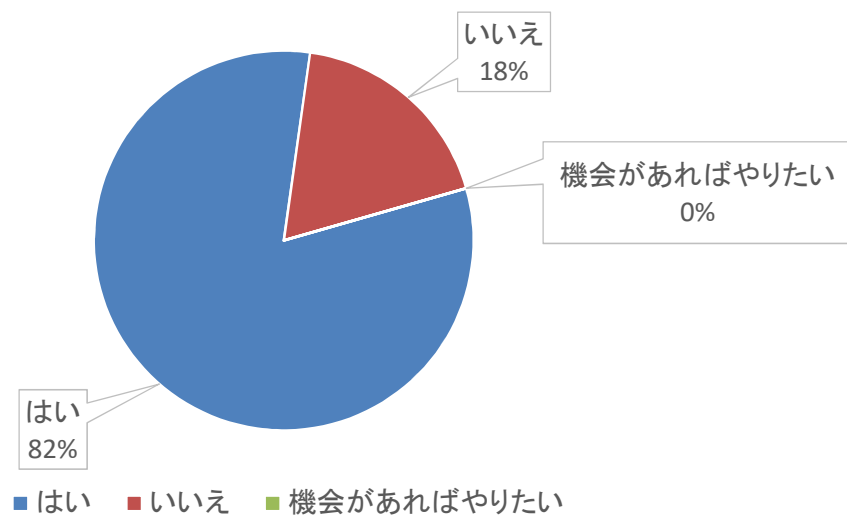
質問11	朝の読書は楽しいですか。	割合 (%)	件数 (人)
1	楽しい	35.9	198
2	普通	51.9	286
3	あまり楽しくない	12.2	67
	合計	100.0	551



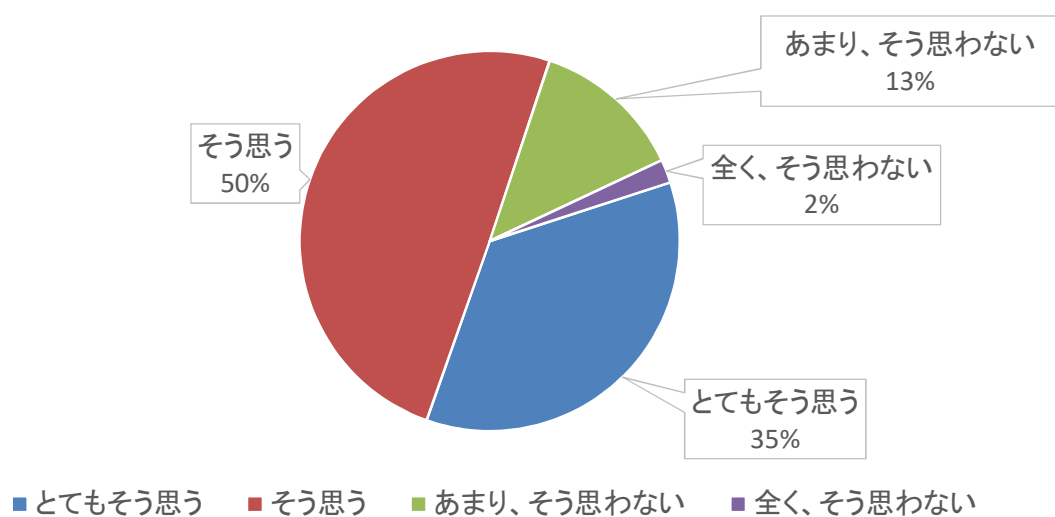
質問12	学校に読み語りの時間があってもいいと思いますか。	割合 (%)	件数 (人)
1	はい	54.8	302
2	いいえ	45.2	249
	合計	100.0	551



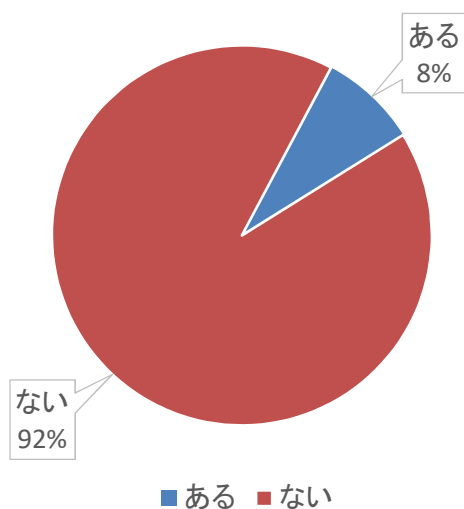
質問13	小さな子どもに読み語りをしても良いと思いますか。	割合 (%)	件数 (人)
1	はい	81.7	450
2	いいえ	18.3	101
3	機会があればやりたい	0.0	0
	合計	100.0	551



質問14	あなたは、「本を読むことは大切」と思いますか。	割合 (%)	件数 (人)
1	とてもそう思う	35.4	195
2	そう思う	49.7	274
3	あまり、そう思わない	12.9	71
4	全く、そう思わない	2.0	11
	合計	100.0	551

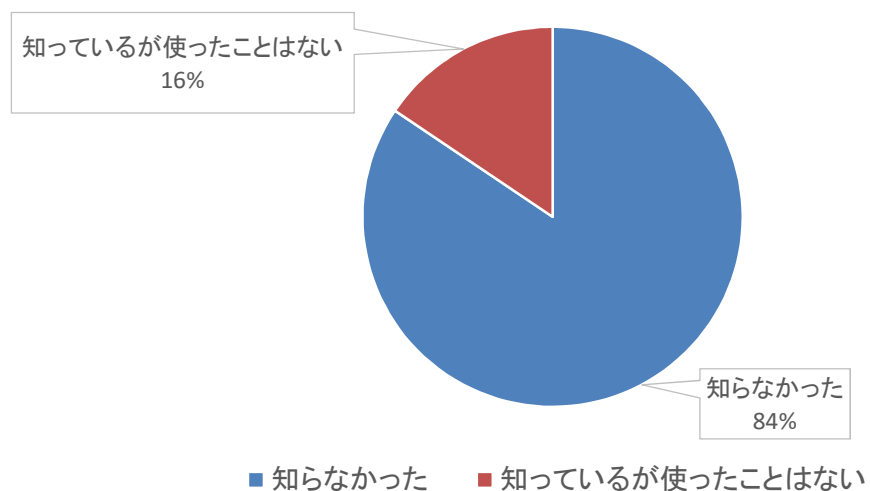


質問15	「さいかい電子図書館」を利用したことがありますか。	割合（％）	件数（人）
1	ある	8.3	46
2	ない	91.7	505
	合計	100.0	551

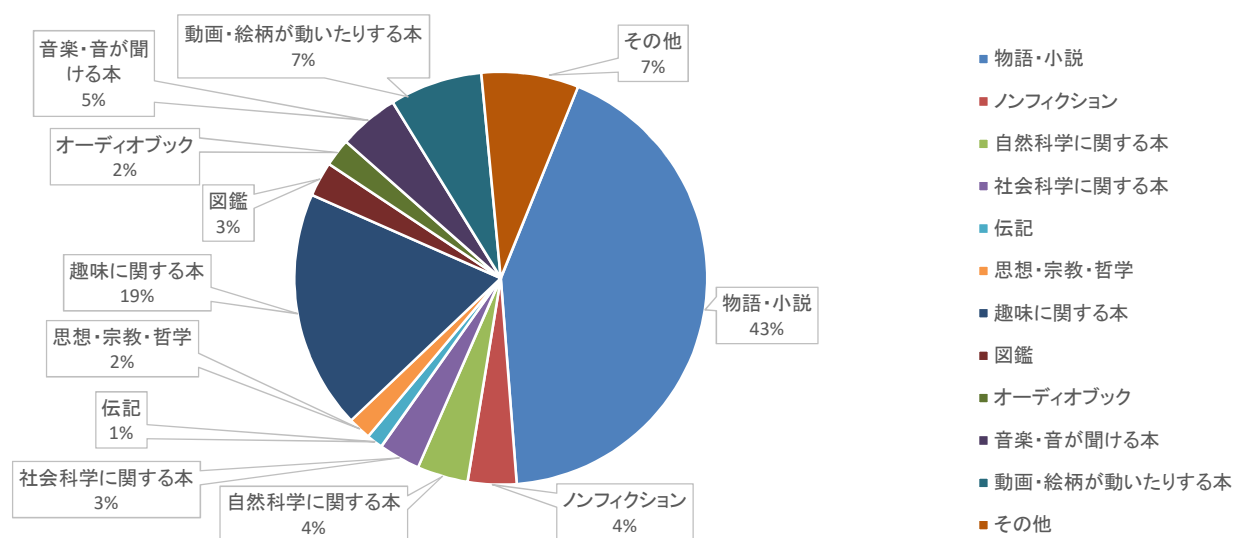


質問15-1	「利用したことがない」と答えた人に聞きます。 利用しない理由を教えてください。	割合（％）	件数（人）
1	知らなかった	76.8	423
2	知っているが使ったことはない	14.2	78
	合計	90.9	501

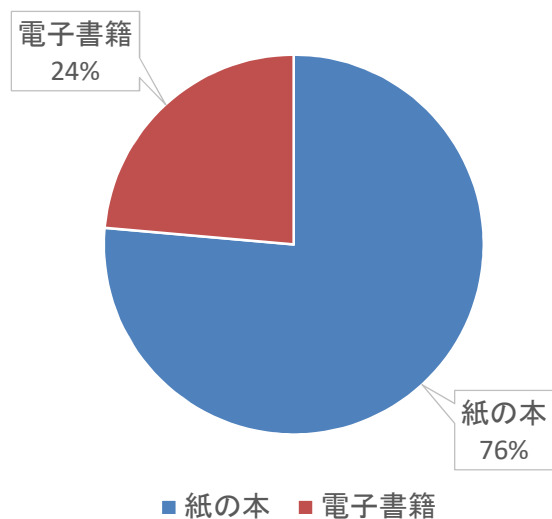
無効回答有



質問16	電子図書館にどんな本があったら利用したいですか。	割合 (%)	件数 (人)
1	物語・小説	42.6	235
2	ノンフィクション	3.8	21
3	自然科学に関する本	4.0	22
4	社会科学に関する本	3.3	18
5	伝記	1.3	7
6	思想・宗教・哲学	1.8	10
7	趣味に関する本	18.7	103
8	図鑑	2.7	15
9	オーディオブック	2.2	12
10	音楽・音が聞ける本	4.7	26
11	動画・絵柄が動いたりする本	7.3	40
12	その他	7.6	42
	合計	100.0	551

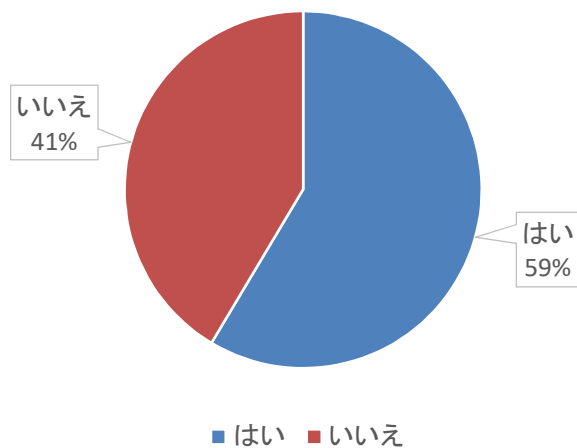


質問17	紙の本と電子書籍どちらの本が好きですか。	割合 (%)	件数 (人)
1	紙の本	76.4	421
2	電子書籍	23.6	130
	合計	100.0	551

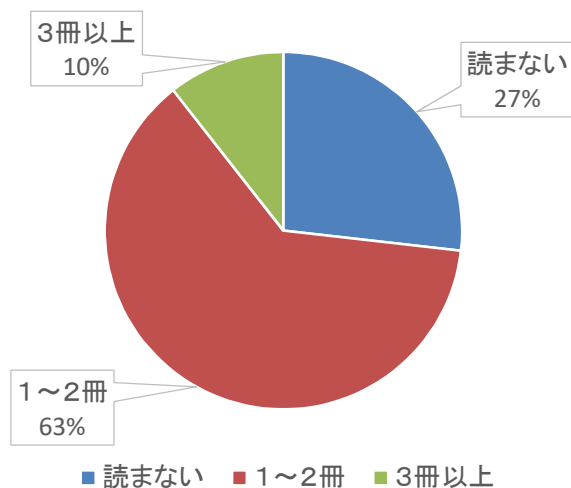


(4) 高校 アンケート調査結果

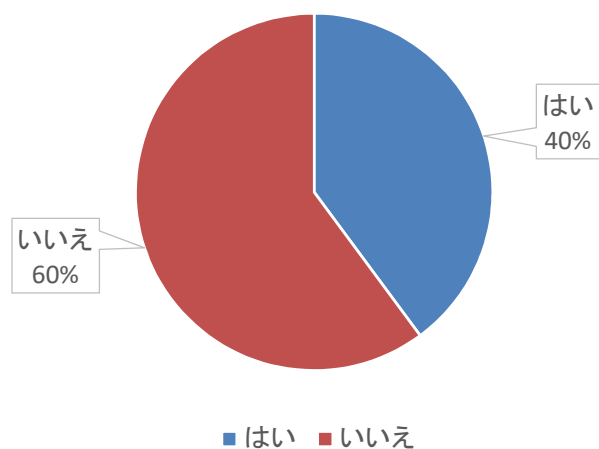
質問1	あなたは本を読むことが好きですか。	割合 (%)	件数 (人)
1	はい	58.6	188
2	いいえ	41.4	133
	合計	100.0	321



質問2	あなたは1週間に何冊、本を読みますか。(延べ冊数)	割合 (%)	件数 (人)
1	読まない	26.8	86
2	1～2冊	62.6	201
3	3冊以上	10.6	34
	合計	100.0	321

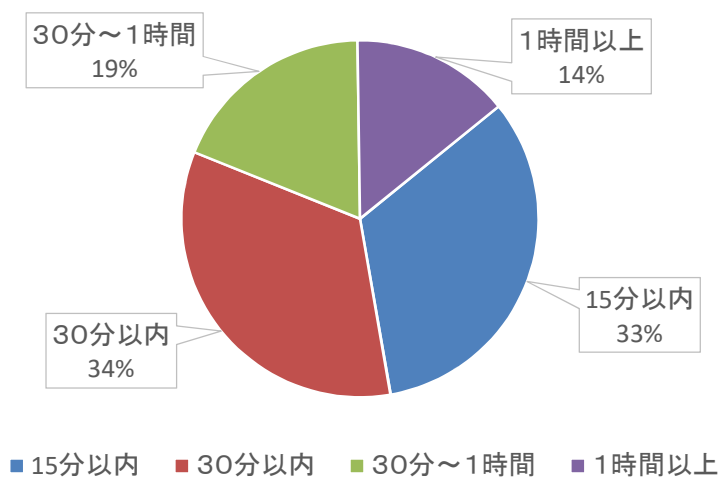


質問3	あなたは学校での朝の読書時間 以外 で本を読みますか。	割合 (%)	件数 (人)
1	はい	39.9	128
2	いいえ	60.1	193
	合計	100.0	321

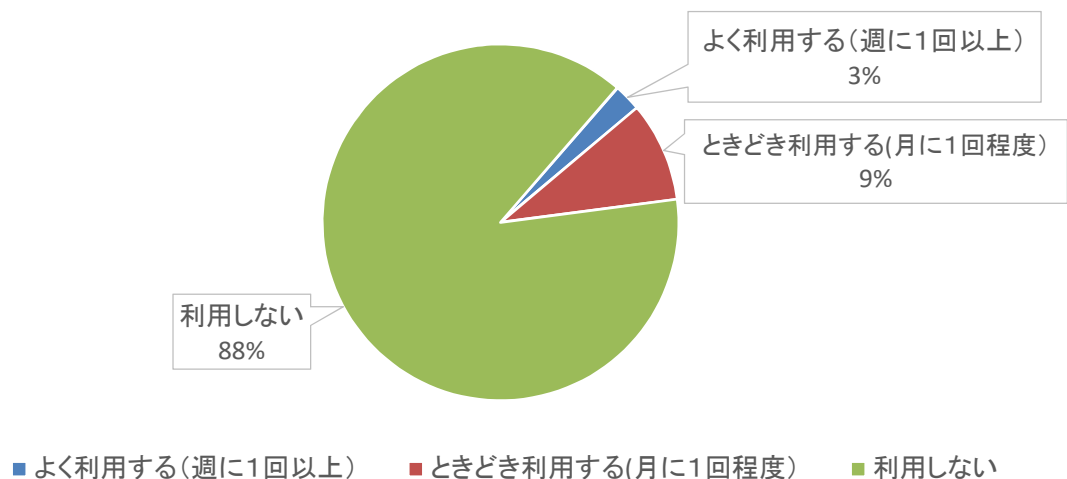


質問3-1	「はい」と答えた方に質問です。 朝の読書時間とは別に1日に本をどれくらい読みますか。	割合 (%)	件数 (人)
1	15分以内	14.3	46
2	30分以内	14.6	47
3	30分～1時間	8.1	26
4	1時間以上	6.2	20
	合計	43.3	139

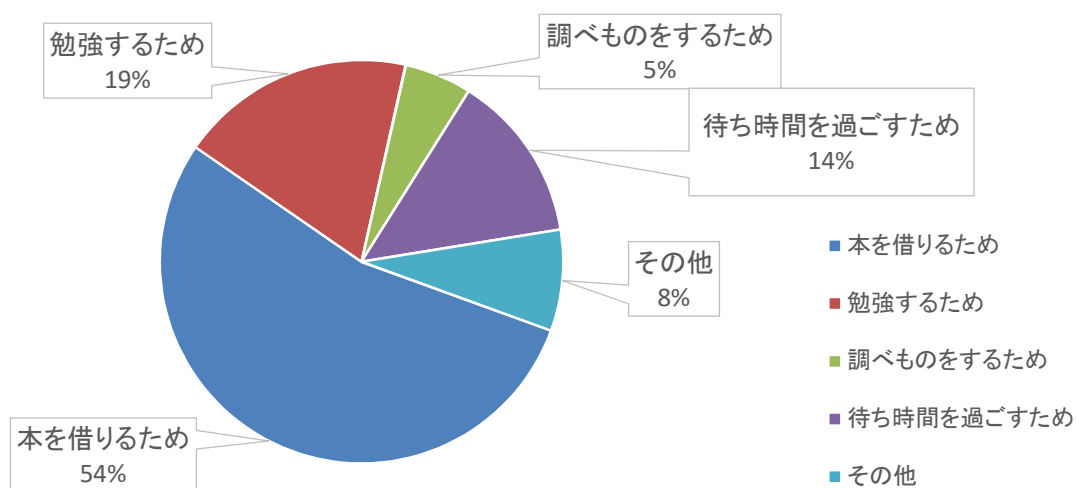
無効回答有



質問4	あなたは西海市立図書館（図書室）を、どの程度利用していますか。	割合（％）	件数（人）
1	よく利用する（週に1回以上）	2.5	8
2	ときどき利用する(月に1回程度)	9.0	29
3	利用しない	88.5	284
	合計	100.0	321

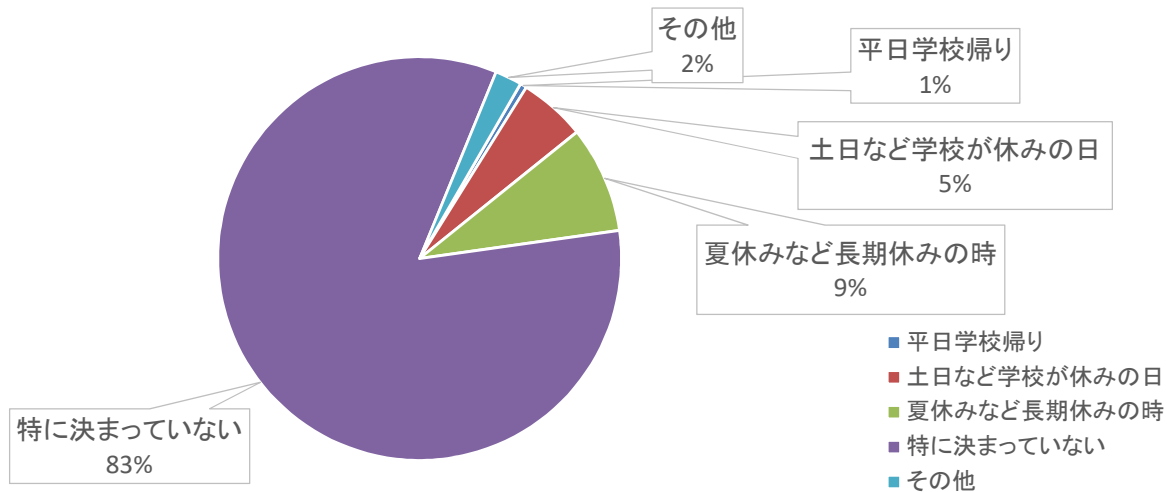


質問4-1	利用する人と答えた人に聞きます。どのような時に利用していますか。	割合（％）	件数（人）
1	本を借りるため	54.1	20
2	勉強するため	18.9	7
3	調べものをするため	5.4	2
4	待ち時間を過ごすため	13.5	5
5	その他	8.1	3
	合計	100.0	37



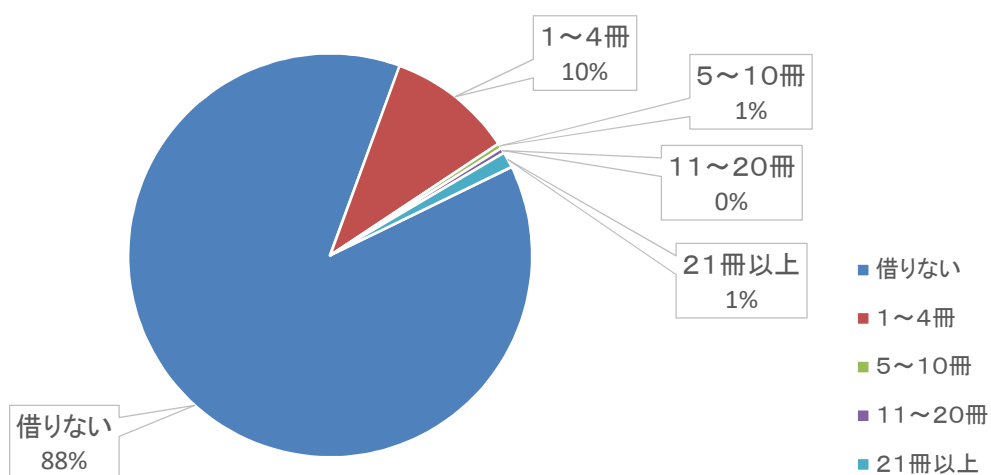
質問4-2	図書館を利用することが多いのはいつですか。	割合 (%)	件数 (人)
1	平日学校帰り	0.3	1
2	土日など学校が休みの日	3.1	10
3	夏休みなど長期休みの時	5.0	16
4	特に決まっていない	48.6	156
5	その他	1.2	4
	合計	58.3	187

無効回答有

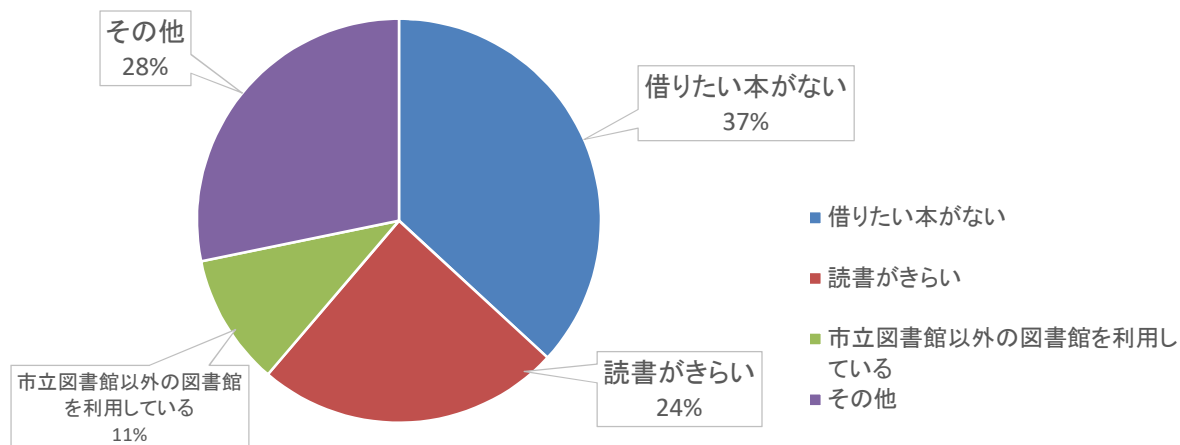


質問4-3	あなたは西海市立図書館（図書室）で、月に何冊程度、本を借りていますか。	割合 (%)	件数 (人)
1	借りない	65.1	209
2	1～4冊	7.5	24
3	5～10冊	0.3	1
4	11～20冊	0.3	1
5	21冊以上	0.9	3
	合計	74.1	238

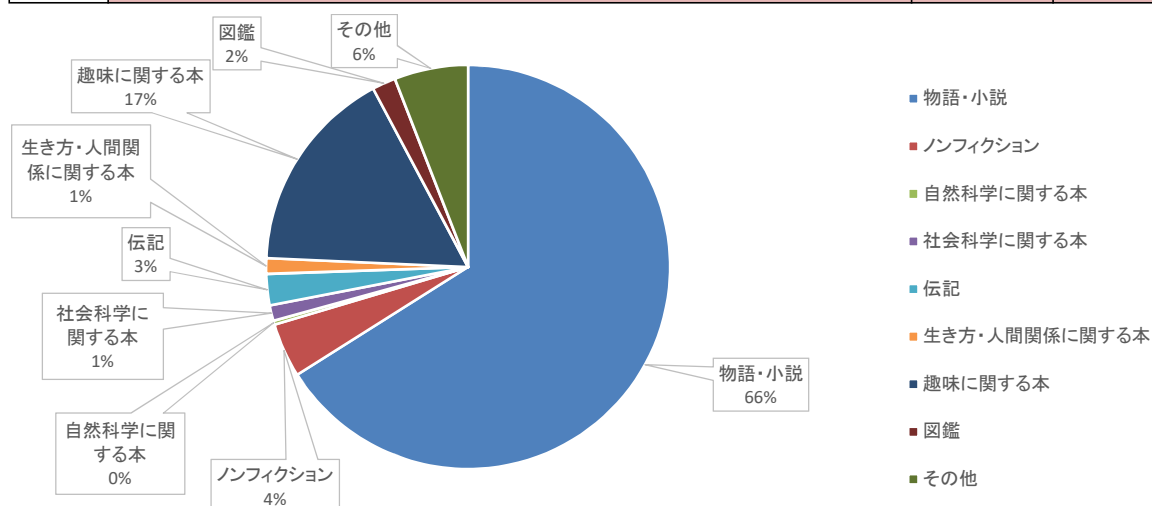
無効回答有



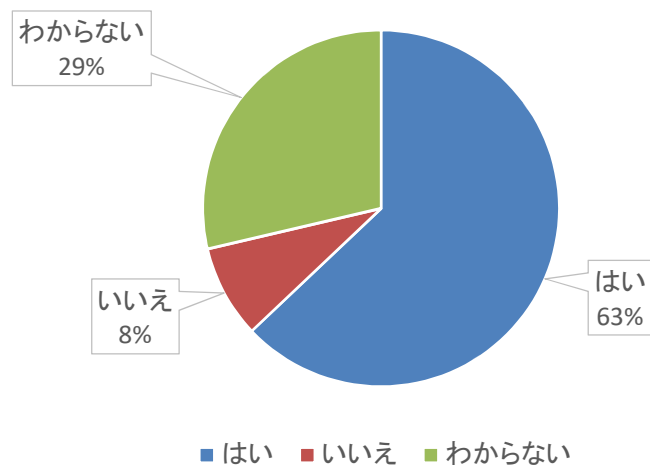
質問4-4	借りないと答えた人にだけ聞きます。借りない理由はどれですか。	割合 (%)	件数 (人)
1	借りたい本がない	36.8	77
2	読書がきらい	24.4	51
3	市立図書館以外の図書館を利用している	10.5	22
4	その他	28.2	59
	合計	100.0	209



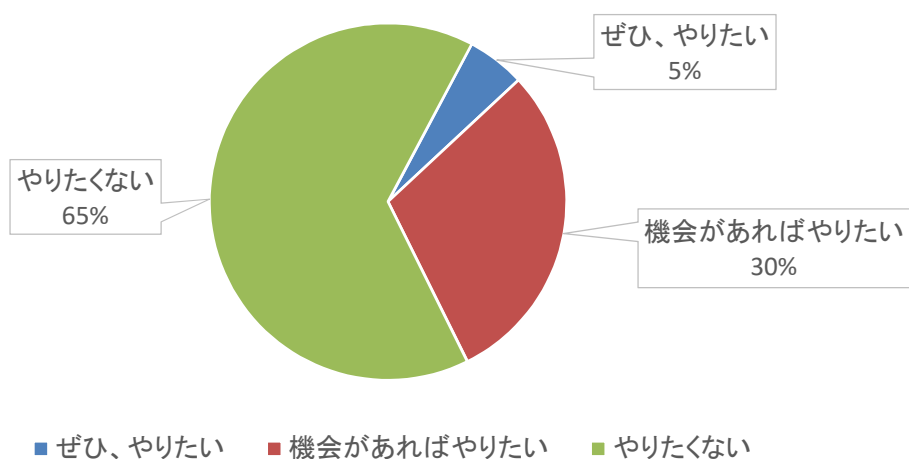
質問5	あなたが好きな本のジャンルは何ですか。	割合 (%)	件数 (人)
1	物語・小説	66.0	212
2	ノンフィクション	4.4	14
3	自然科学に関する本	0.3	1
4	社会科学に関する本	1.2	4
5	伝記	2.5	8
6	生き方・人間関係に関する本	1.2	4
7	趣味に関する本	16.5	53
8	図鑑	1.9	6
9	その他	5.9	19
	合計	100.0	321



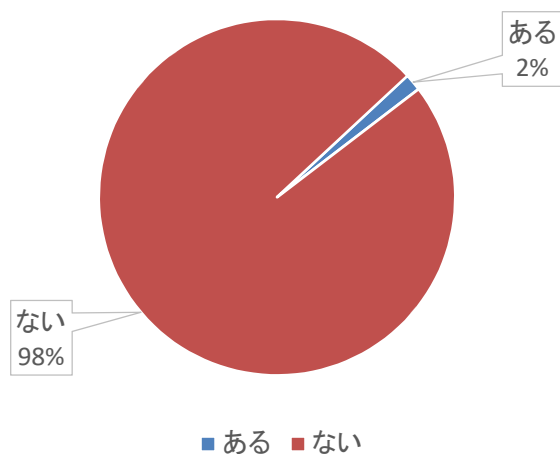
質問6	あなたがこれから生きていくうえで、読書は必要だと思いますか。	割合 (%)	件数 (人)
1	はい	62.9	202
2	いいえ	8.4	27
3	わからない	28.7	92
	合計	100.0	321



質問7	あなたは小さな子どもに対して読み語りをしたいと思いますか。	割合 (%)	件数 (人)
1	ぜひ、やりたい	5.3	17
2	機会があればやりたい	29.6	95
3	やりたくない	65.1	209
	合計	100.0	321

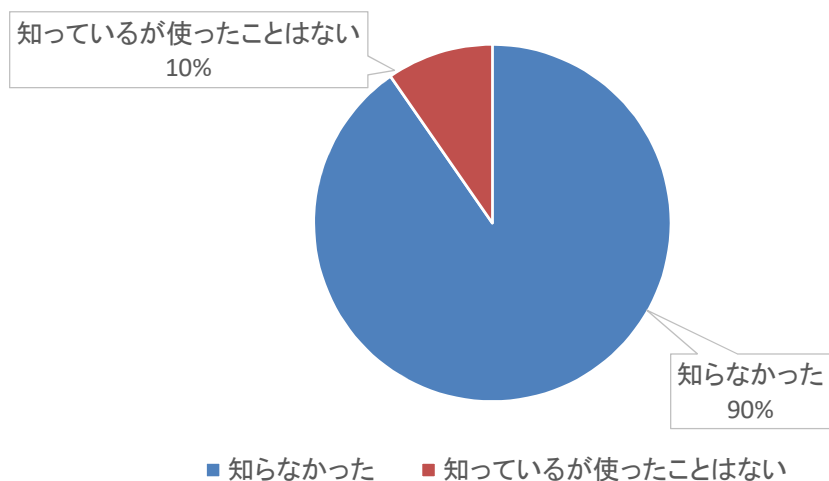


質問8	「さいかい電子図書館」を利用したことがありますか。	割合 (%)	件数 (人)
1	ある	1.6	5
2	ない	98.4	316
	合計	241.4	321

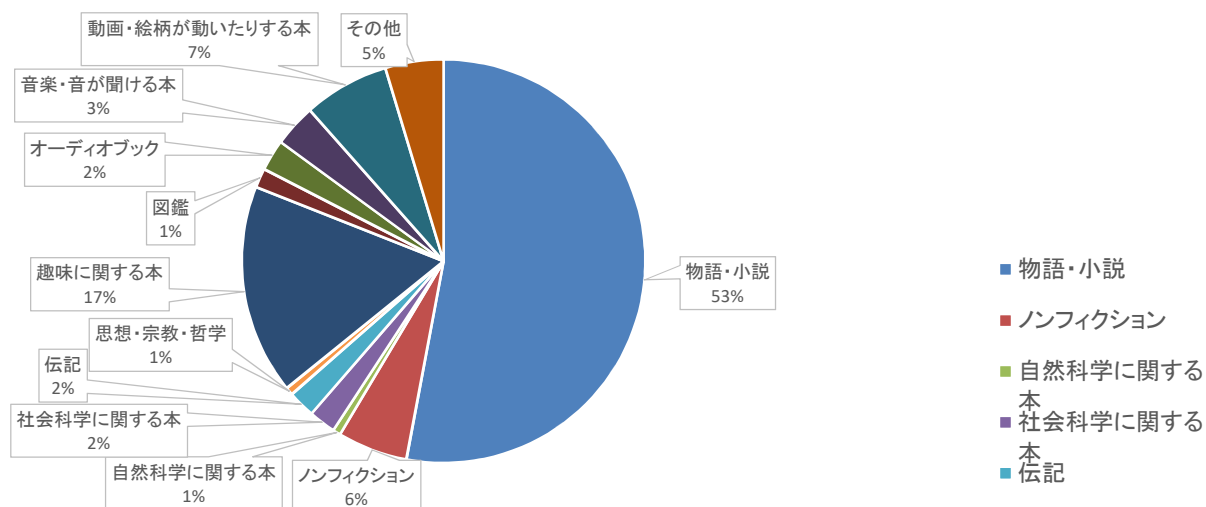


質問8-1	「利用したことがない」と答えた人に聞きます。 利用しない理由を教えてください。	割合 (%)	件数 (人)
1	知らなかった	88.6	280
2	知っているが使ったことはない	9.5	30
	合計	98.1	310

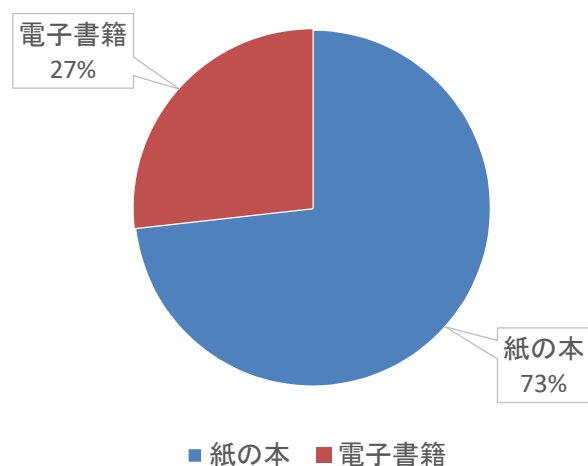
無効回答有



質問9	電子図書館にどんな本があったら利用したいですか。	割合 (%)	件数 (人)
1	物語・小説	53.0	170
2	ノンフィクション	5.6	18
3	自然科学に関する本	0.6	2
4	社会科学に関する本	2.2	7
5	伝記	2.2	7
6	思想・宗教・哲学	0.6	2
7	趣味に関する本	16.8	54
8	図鑑	1.6	5
9	オーディオブック	2.5	8
10	音楽・音が聞ける本	3.4	11
11	動画・絵柄が動いたりする本	6.9	22
12	その他	4.7	15
	合計	100.0	321

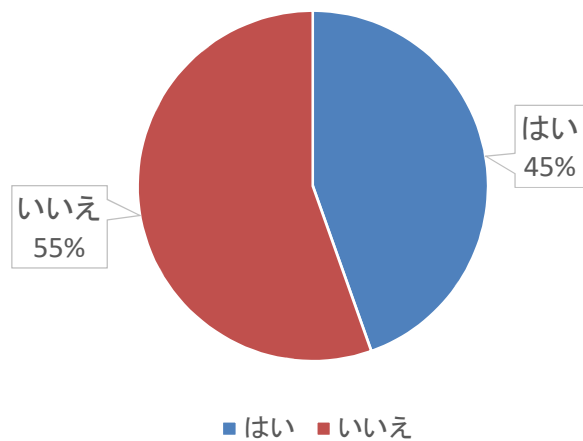


質問10	紙の本と電子書籍どちらの本が好きですか。	割合 (%)	件数 (人)
1	紙の本	73.2	235
2	電子書籍	26.8	86
	合計	100.0	321

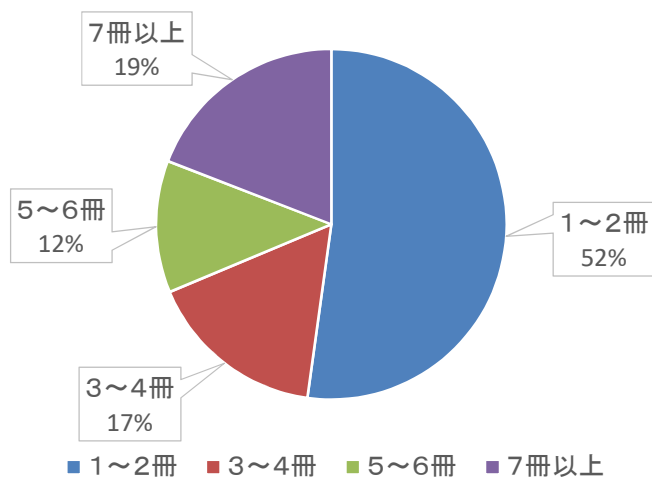


(5) 教員(高校以外) アンケート調査結果

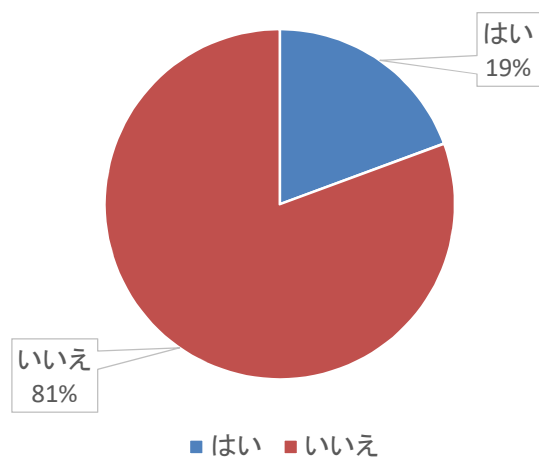
質問1	子どもたちへ読み語りをしていますか。(ご自分のお子様も含めて)	割合 (%)	件数 (人)
1	はい	44.6	115
2	いいえ	55.4	143
	合計	100.0	258



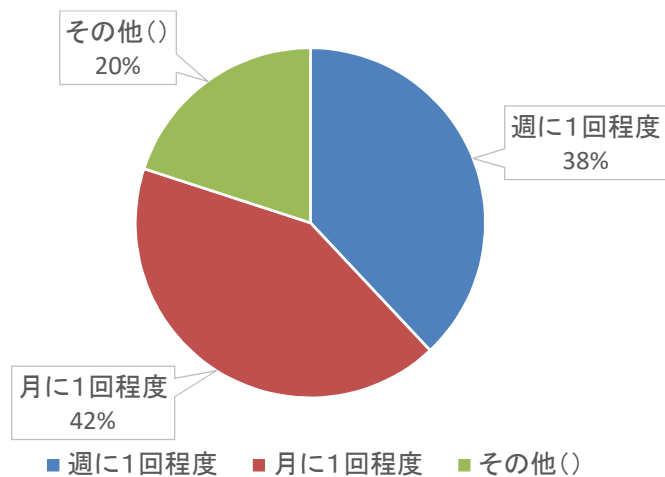
質問1-1	「はい」と答えた方にお尋ねします。1週間に何冊読んであげていますか。	割合 (%)	件数 (人)
1	1～2冊	52.2	60
2	3～4冊	16.5	19
3	5～6冊	12.2	14
4	7冊以上	19.1	22
	合計	100.0	115



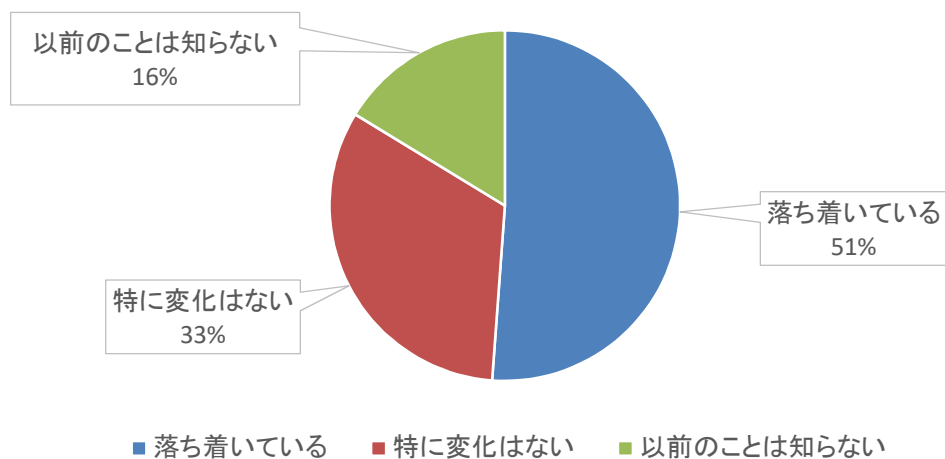
質問2	ブックトークをしていますか。	割合 (%)	件数 (人)
1	はい	19.4	50
2	いいえ	80.6	208
	合計	100.0	258



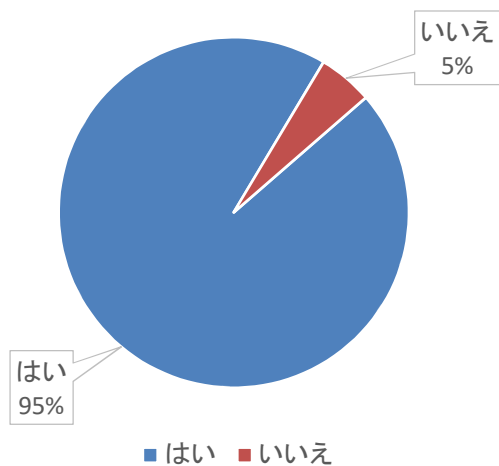
質問2-1	①で「はい」と答えた方にお尋ねします。どれくらいしていますか。	割合 (%)	件数 (人)
1	週に1回程度	38.0	19
2	月に1回程度	42.0	21
3	その他 ()	20.0	10
	合計	100.0	50



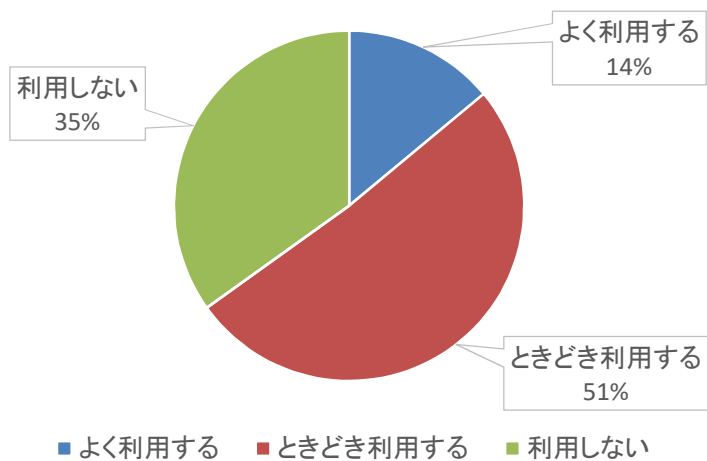
質問3	読書の時間があった日の子どもの様子はいかがですか。 (毎日実施されている学校は、以前していなかった時と比べて)	割合 (%)	件数 (人)
1	落ち着いている	51.2	132
2	特に変化はない	32.6	84
3	以前のことは知らない	16.3	42
	合計	100.0	258



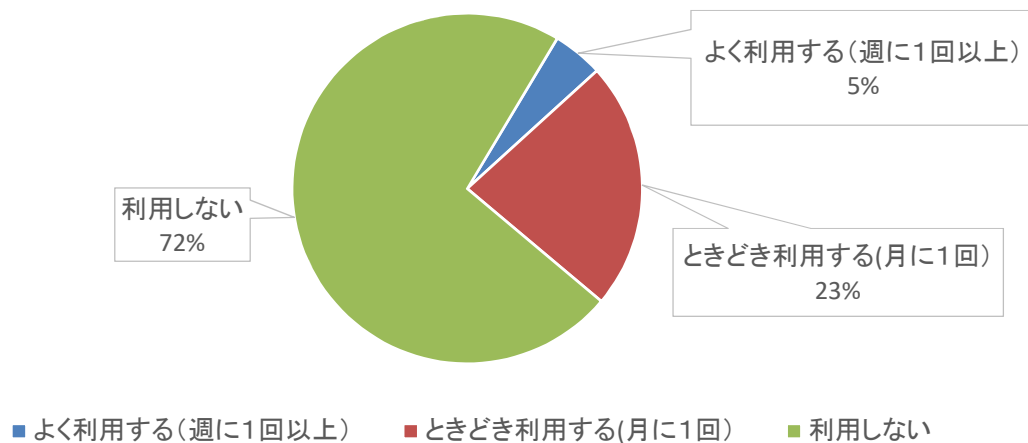
質問4	読書の時間は子どもたちの読書意欲向上につながっていると思いますか。	割合 (%)	件数 (人)
1	はい	95.0	245
2	いいえ	5.0	13
	合計	100.0	258



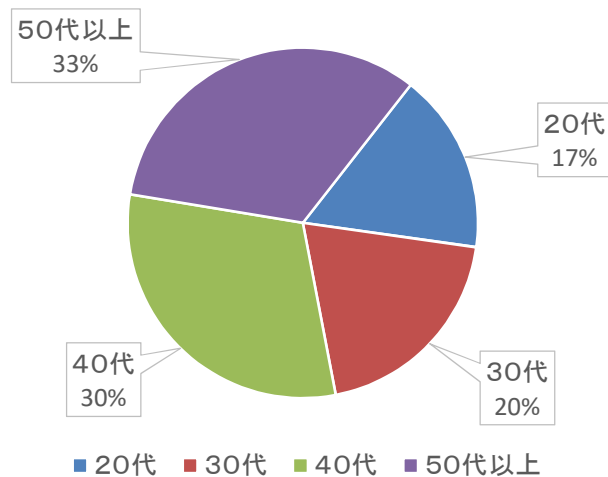
質問5	あなたは、授業で学校図書室を利用していますか。	割合 (%)	件数 (人)
1	よく利用する	14.0	36
2	ときどき利用する	51.2	132
3	利用しない	34.9	90
	合計	100.0	258



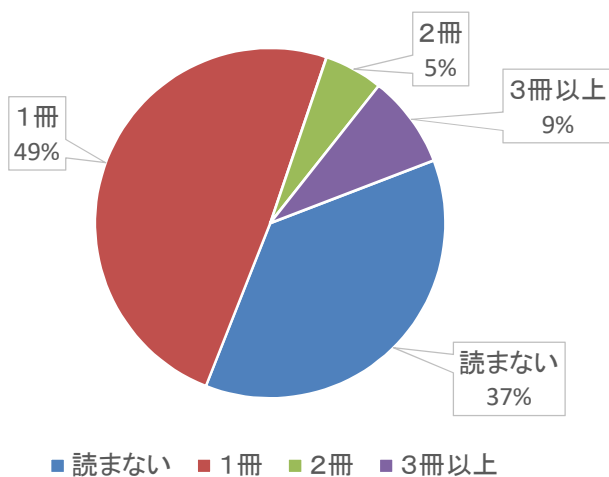
質問6	あなたは西海市立図書館（図書室）をどれくらい利用しますか。	割合 (%)	件数 (人)
1	よく利用する（週に1回以上）	4.7	12
2	ときどき利用する(月に1回)	22.9	59
3	利用しない	72.5	187
	合計	100.0	258



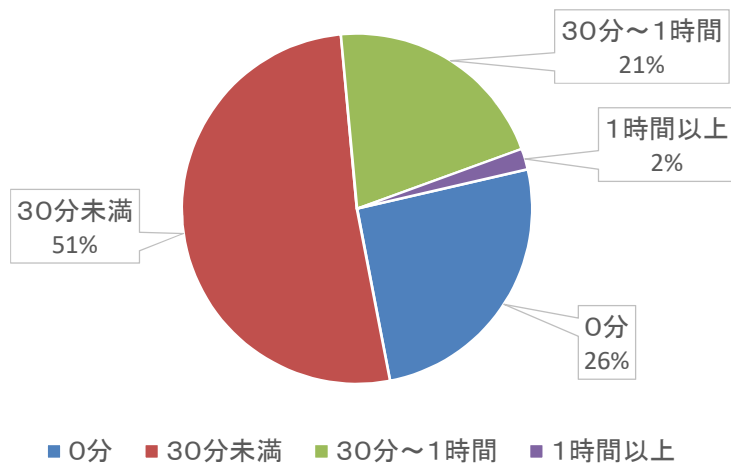
質問7	あなたは、どの世代ですか。	割合 (%)	件数 (人)
1	20代	16.7	43
2	30代	19.8	51
3	40代	30.6	79
4	50代以上	32.9	85
	合計	100.0	258



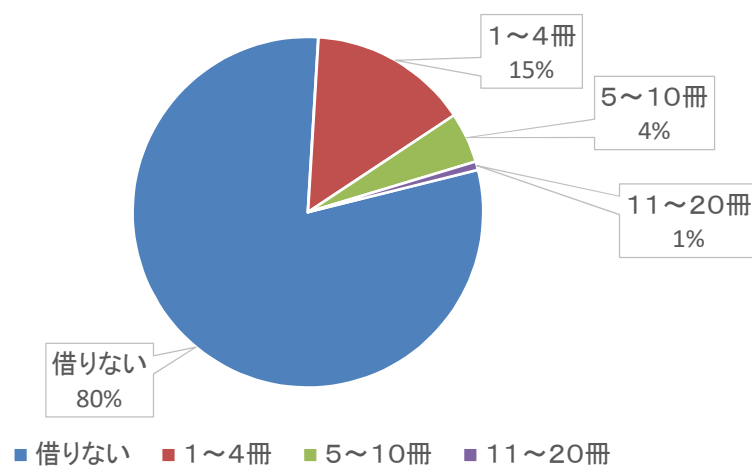
質問8	あなたはだいたい週に何冊の本を読みますか。（読みかけの本も含めます）	割合 (%)	件数 (人)
1	読まない	36.8	95
2	1冊	49.2	127
3	2冊	5.4	14
4	3冊以上	8.5	22
	合計	100.0	258



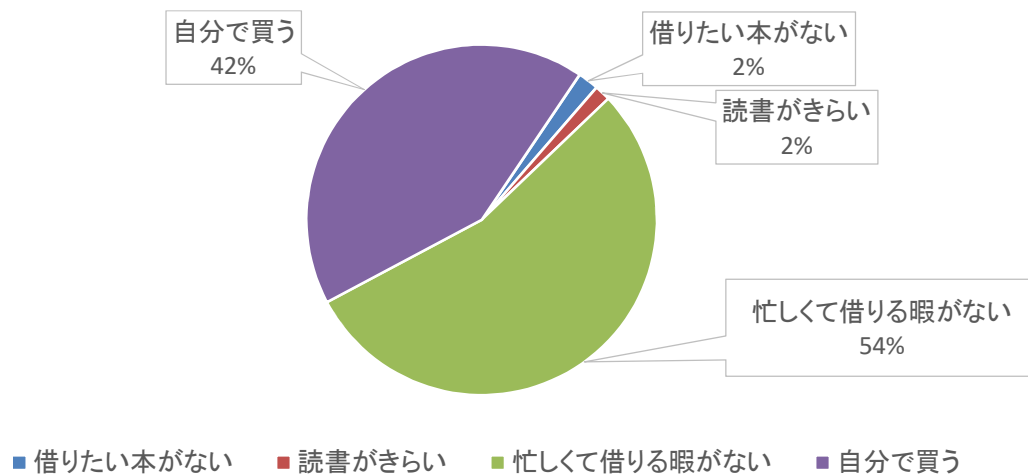
質問9	あなたが本を読む時間は1日どれくらいですか。（平均して）	割合（％）	件数（人）
1	0分	25.6	66
2	30分未満	51.6	133
3	30分～1時間	20.9	54
4	1時間以上	1.9	5
	合計	100.0	258



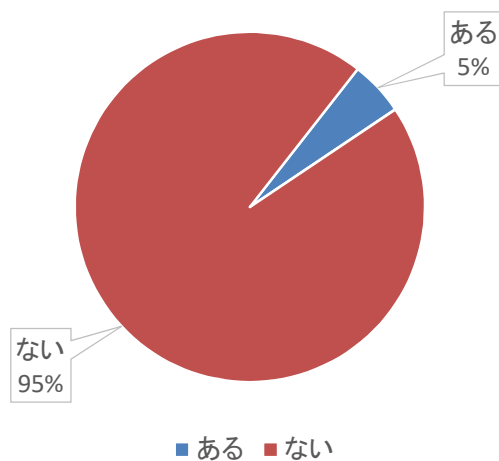
質問10	あなたは月に何冊くらい本を借りますか （市立図書館で）	割合（％）	件数（人）
1	借りない	79.8	206
2	1～4冊	14.7	38
3	5～10冊	4.7	12
4	11～20冊	0.8	2
	合計	100.0	258



質問10-1	借りないと答えた人にだけお尋ねします。なぜ、借りないのですか。	割合 (%)	件数 (人)
1	借りたい本がない	1.9	4
2	読書がきらい	1.5	3
3	忙しくて借りる暇がない	54.4	112
4	自分で買う	42.2	87
	合計	100.0	206

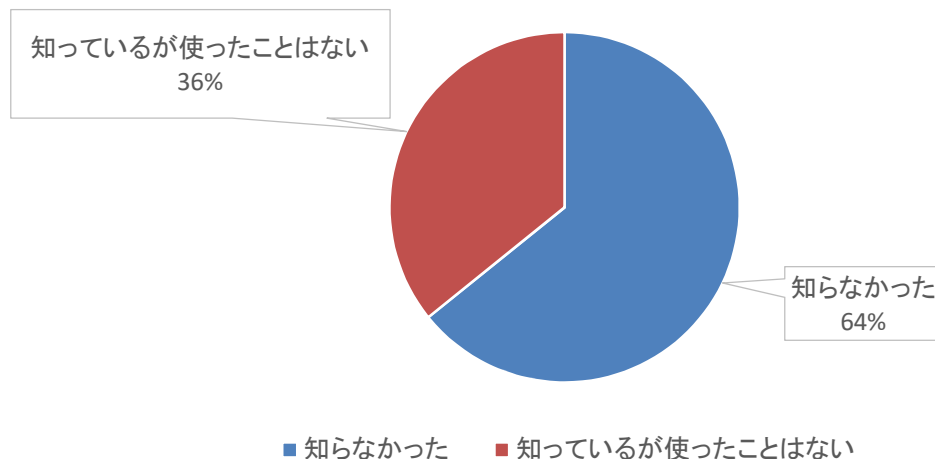


質問11	「さいかい電子図書館」を利用したことがありますか。	割合 (%)	件数 (人)
1	ある	5.0	13
2	ない	95.0	245
	合計	100.0	258

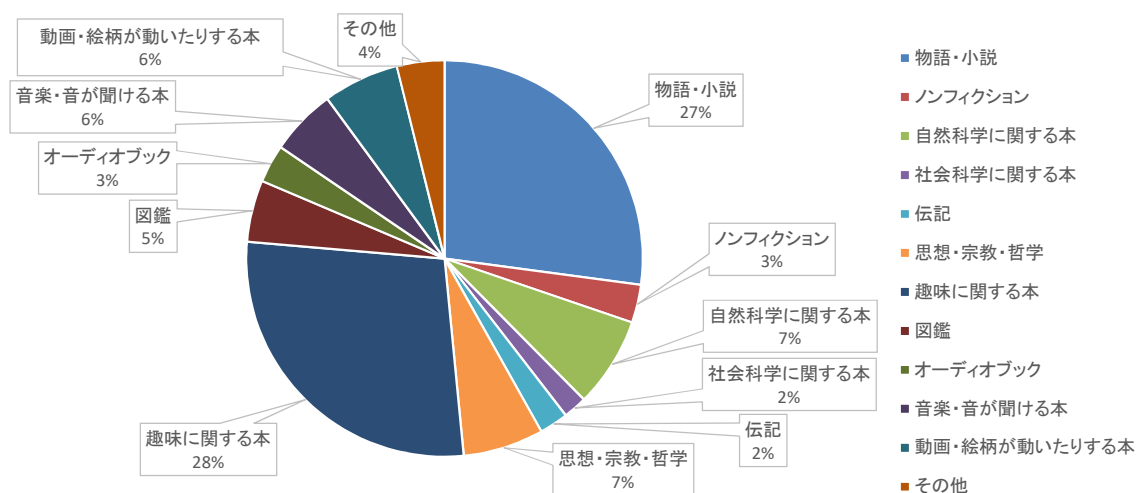


質問11-1	「利用したことがない」と答えた人に聞きます。 利用しない理由を教えてください。	割合（％）	件数（人）
1	知らなかった	63.7	156
2	知っているが使ったことはない	35.5	87
	合計	99.2	243

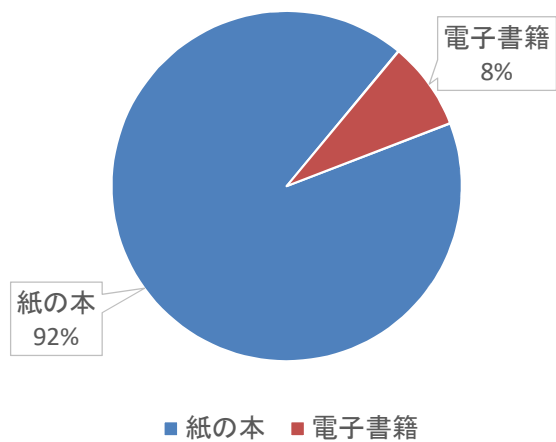
無効回答有



質問12	電子図書館にどんな本があったら利用したいですか。	割合（％）	件数（人）
1	物語・小説	27.1	70
2	ノンフィクション	3.1	8
3	自然科学に関する本	7.4	19
4	社会科学に関する本	1.9	5
5	伝記	2.3	6
6	思想・宗教・哲学	6.6	17
7	趣味に関する本	27.9	72
8	図鑑	5.0	13
9	オーディオブック	3.1	8
10	音楽・音が聞ける本	5.4	14
11	動画・絵柄が動いたりする本	6.2	16
12	その他	3.9	10
	合計	100.0	258

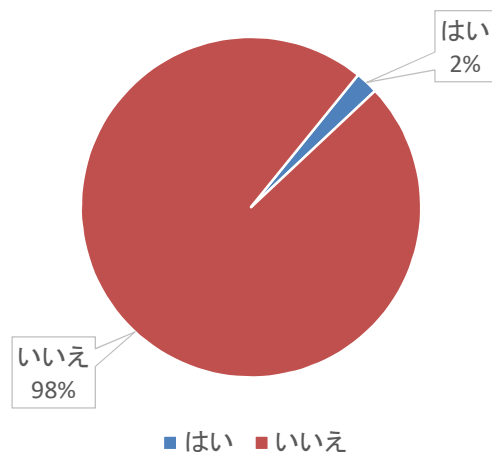


質問13	紙の本と電子書籍どちらの本が好きですか。	割合 (%)	件数 (人)
1	紙の本	91.9	237
2	電子書籍	8.1	21
	合計	100.0	258

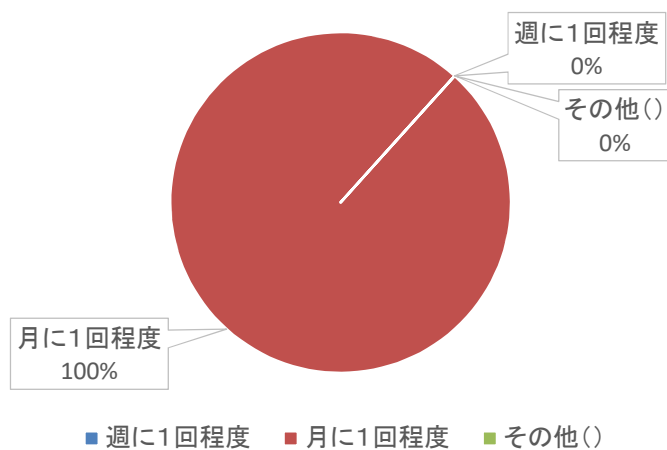


(6) 教員(高校) アンケート調査結果

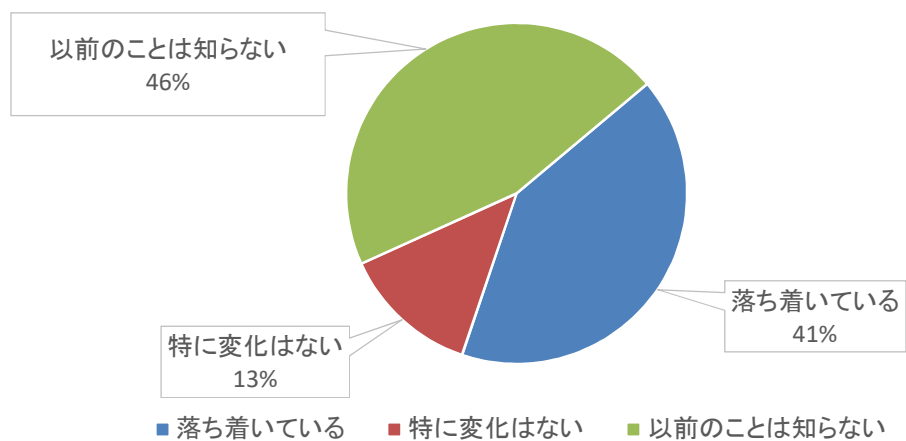
質問1	ブックトークをしていますか。	割合 (%)	件数 (人)
1	はい	2.2	1
2	いいえ	97.8	45
	合計	100.0	46



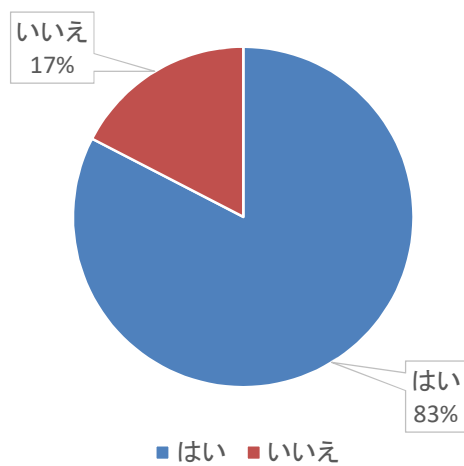
質問1-1	「はい」と答えた方にお尋ねします。どれくらいしていますか。	割合 (%)	件数 (人)
1	週に1回程度	0.0	
2	月に1回程度	100.0	1
3	その他 ()	0.0	
	合計	2.2	1



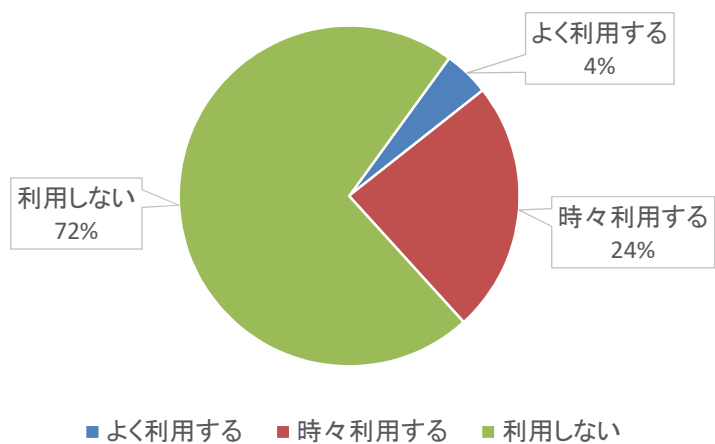
質問2	朝の10分間読書の時間があった日の生徒の様子はいかがですか。 (毎日実施されている学校は、以前していなかった時と比べて)	割合 (%)	件数 (人)
1	落ち着いている	41.3	19
2	特に変化はない	13.0	6
3	以前のことは知らない	45.7	21
	合計	100.0	46



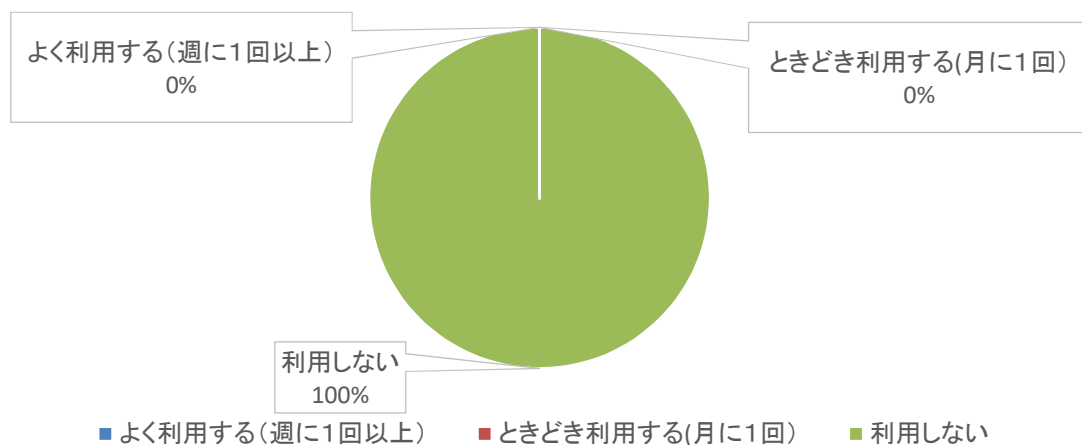
質問3	朝の10分間読書の時間は生徒の読書意欲向上につながっていると思いますか。	割合 (%)	件数 (人)
1	はい	82.6	38
2	いいえ	17.4	8
	合計	100.0	46



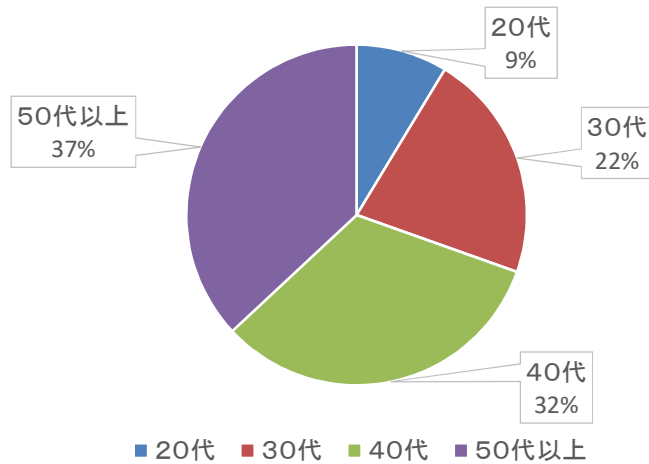
質問4	あなたは、授業で学校図書室を利用していますか。	割合 (%)	件数 (人)
1	よく利用する	4.3	2
2	時々利用する	23.9	11
3	利用しない	71.7	33
	合計	100.0	46



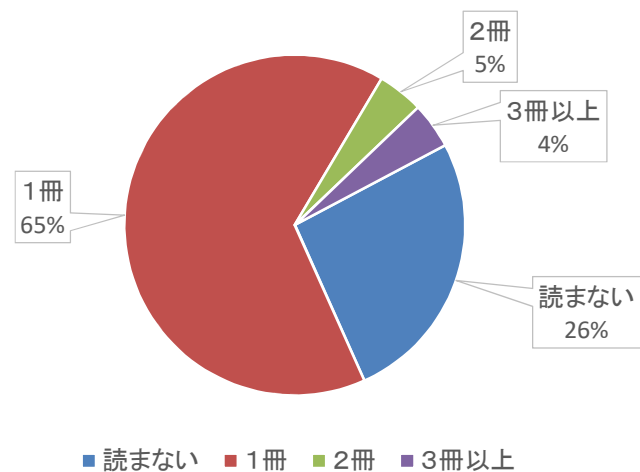
質問5	あなたは西海市立図書館（図書室）をどれくらい利用しますか。	割合 (%)	件数 (人)
1	よく利用する（週に1回以上）	0.0	
2	ときどき利用する(月に1回)	0.0	
3	利用しない	100.0	46
	合計	100.0	46



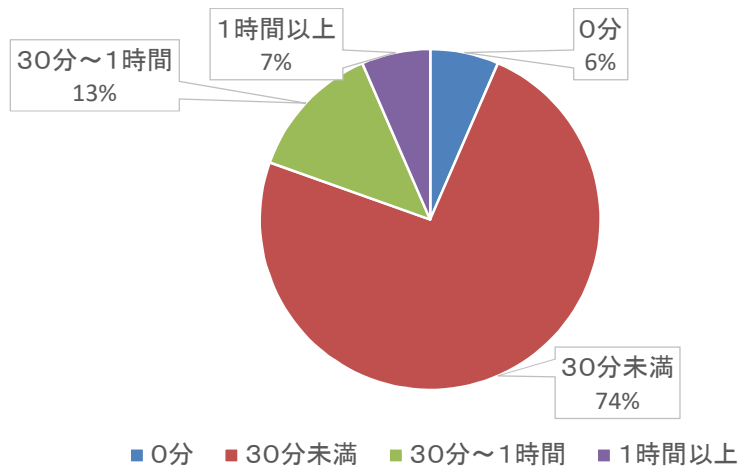
質問6	あなたは、どの世代ですか。	割合 (%)	件数 (人)
1	20代	8.7	4
2	30代	21.7	10
3	40代	32.6	15
4	50代以上	37.0	17
	合計	100.0	46



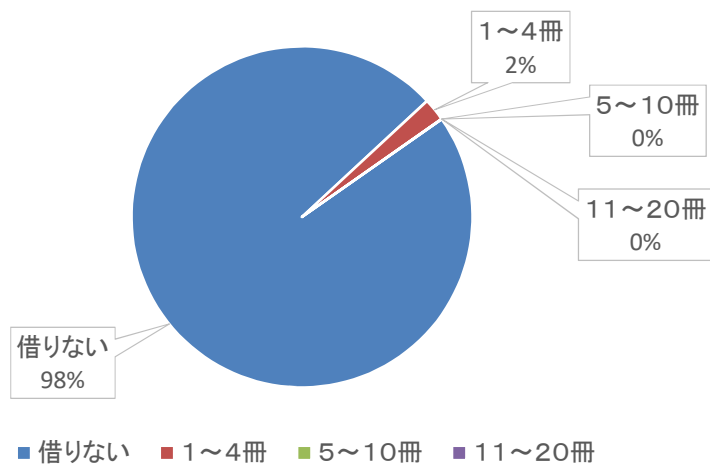
質問7	あなたはだいたい週に何冊の本を読みますか。(読みかけの本も含めます)	割合 (%)	件数 (人)
1	読まない	26.1	12
2	1冊	65.2	30
3	2冊	4.3	2
4	3冊以上	4.3	2
	合計	100.0	46



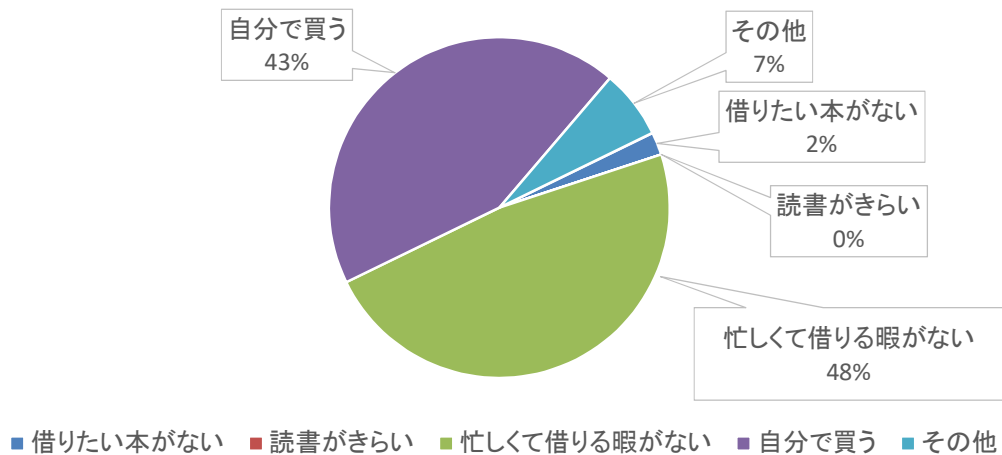
質問8	あなたが本を読む時間は1日どれくらいですか。（平均して）	割合（％）	件数（人）
1	0分	6.5	3
2	30分未満	73.9	34
3	30分～1時間	13.0	6
4	1時間以上	6.5	3
	合計	100.0	46



質問9	あなたは月に何冊くらい本を借りますか （市立図書館で）	割合（％）	件数（人）
1	借りない	97.8	45
2	1～4冊	2.2	1
3	5～10冊	0.0	0
4	11～20冊	0.0	0
	合計	100.0	46

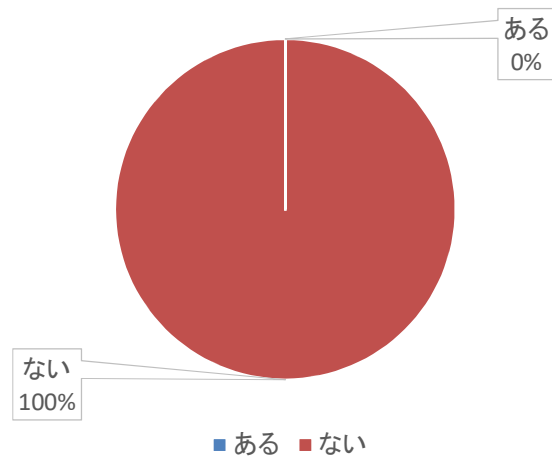


質問9-1	借りないと答えた人にだけお尋ねします。なぜ、借りないのですか。	割合 (%)	件数 (人)
1	借りたい本がない	2.2	1
2	読書がきらい	0.0	0
3	忙しくて借りる暇がない	48.9	22
4	自分で買う	44.4	20
5	その他	6.7	3
	合計	102.2	46



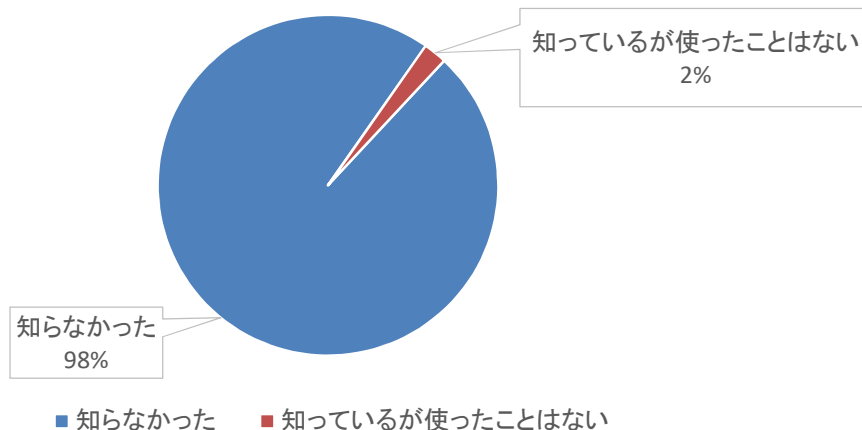
質問10	市立図書館（図書室）に対し、何かご意見やご要望はありますか。	割合 (%)	件数 (人)
—	—	—	—

質問11	「さいかい電子図書館」を利用したことがありますか。	割合 (%)	件数 (人)
1	ある	0.0	0
2	ない	100.0	46
	合計	100.0	46

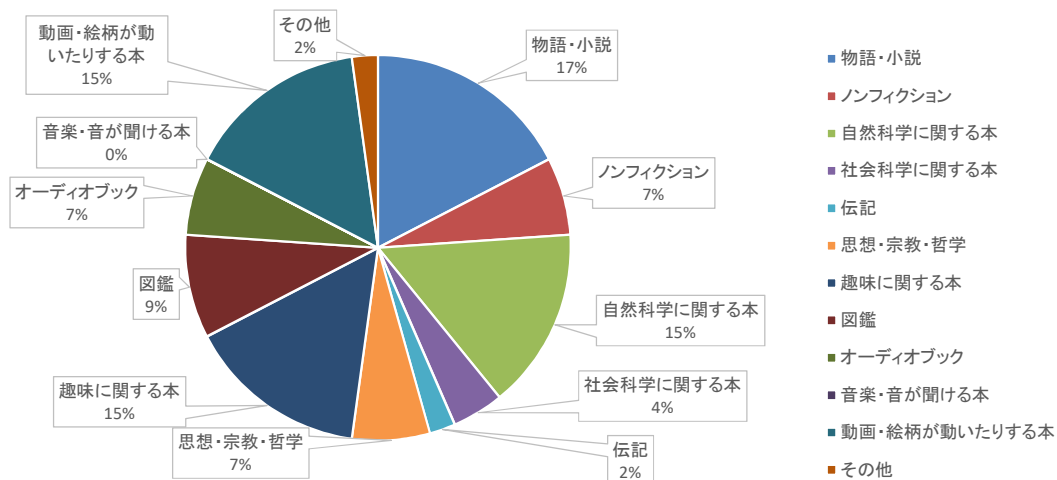


質問11-1	「利用したことがない」と答えた人に聞きます。 利用しない理由を教えてください。	割合 (%)	件数 (人)
1	知らなかった	95.7	44
2	知っているが使ったことはない	2.2	1
	合計	97.8	45

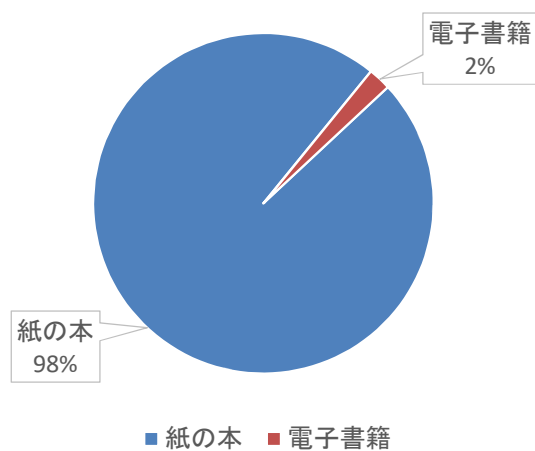
無効回答有



質問12	電子図書館にどんな本があったら利用したいですか。	割合 (%)	件数 (人)
1	物語・小説	17.4	8
2	ノンフィクション	6.5	3
3	自然科学に関する本	15.2	7
4	社会科学に関する本	4.3	2
5	伝記	2.2	1
6	思想・宗教・哲学	6.5	3
7	趣味に関する本	15.2	7
8	図鑑	8.7	4
9	オーディオブック	6.5	3
10	音楽・音が聞ける本	0.0	0
11	動画・絵柄が動いたりする本	15.2	7
12	その他	2.2	1
	合計	100.0	46

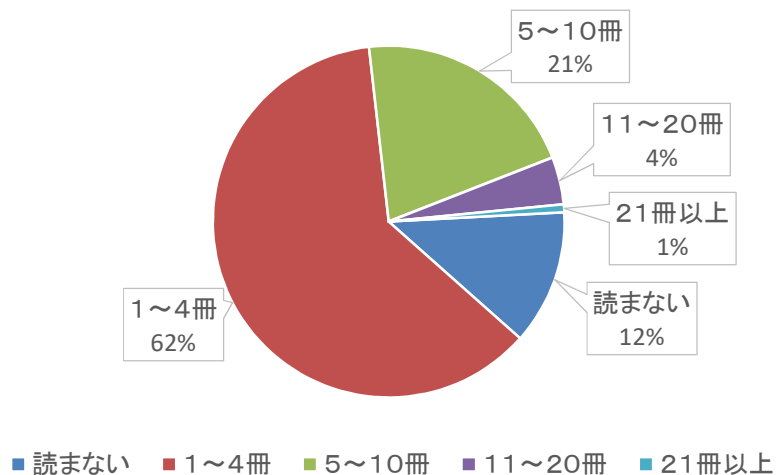


質問13	紙の本と電子書籍どちらの本が好きですか。	割合 (%)	件数 (人)
1	紙の本	97.8	45
2	電子書籍	2.2	1
	合計	100.0	46

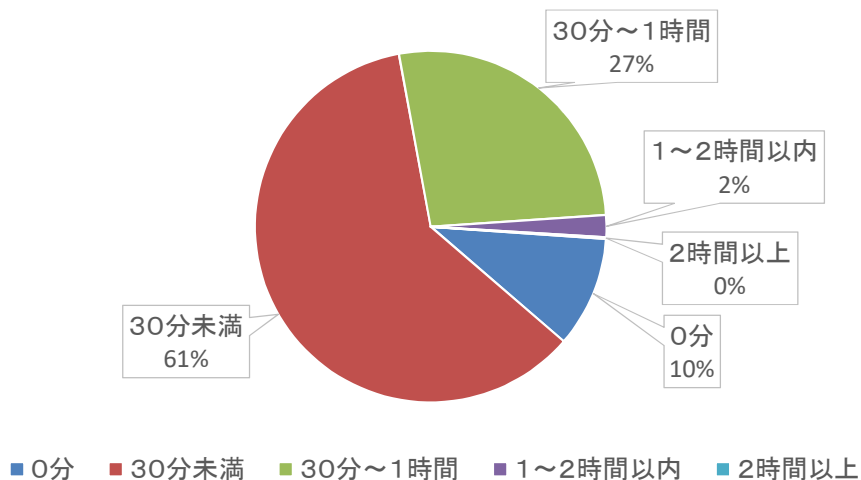


(7) 保護者 アンケート調査結果

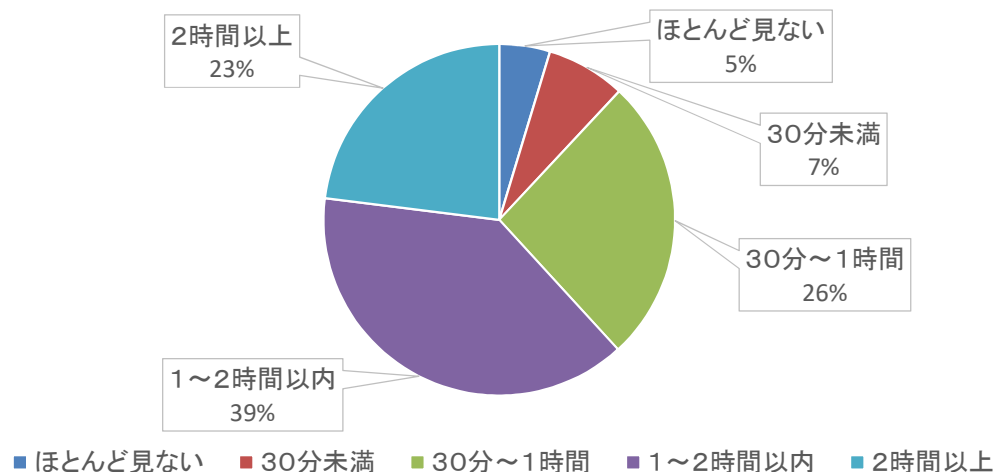
質問1	お子さんはだいたい週に延べ何冊の絵本や本を読みますか。	割合 (%)	件数 (人)
1	読まない	12.4	85
2	1～4冊	61.7	423
3	5～10冊	20.8	143
4	11～20冊	4.4	30
5	21冊以上	0.7	5
	合計	100.0	686



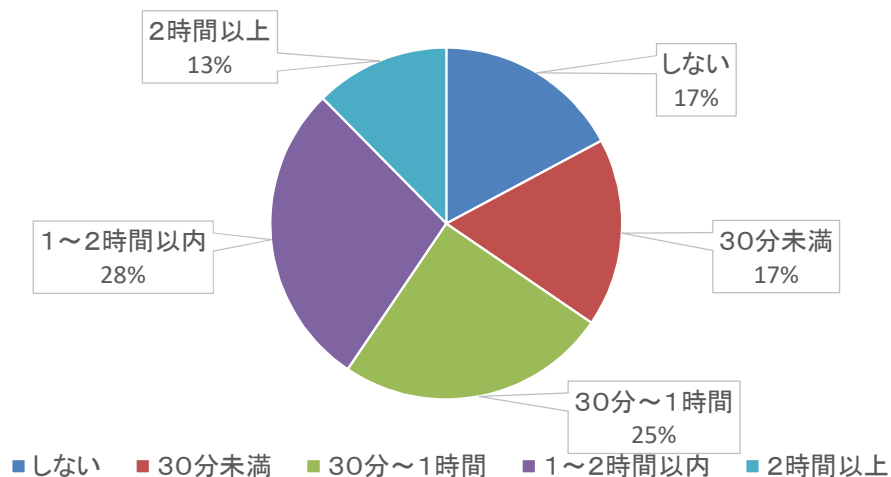
質問2	お子さんが絵本や本を読む時間は1日どのくらいですか。(平均して)	割合 (%)	件数 (人)
1	0分	10.2	70
2	30分未満	60.8	417
3	30分～1時間	26.8	184
4	1～2時間以内	2.0	14
5	2時間以上	0.1	1
	合計	100.0	686



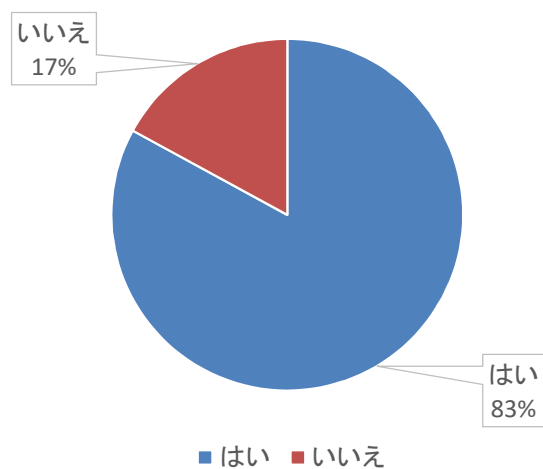
質問3	お子さんはテレビを1日どれくらい見ますか。	割合 (%)	件数 (人)
1	ほとんど見ない	4.7	32
2	30分未満	7.3	50
3	30分～1時間	26.2	180
4	1～2時間以内	38.8	266
5	2時間以上	23.0	158
	合計	100.0	686



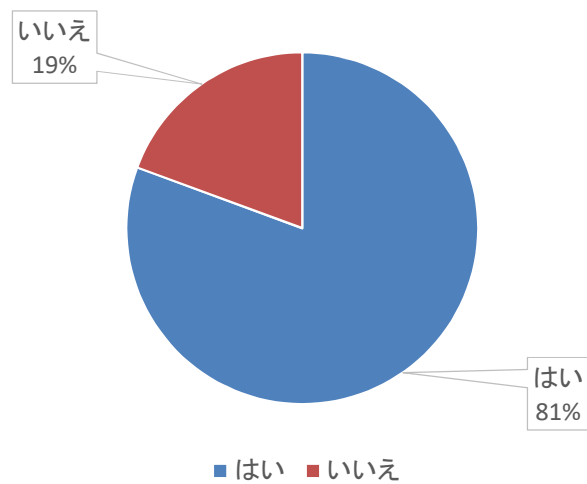
質問4	お子さんは1日に電子メディアをどれくらい使用しますか。	割合 (%)	件数 (人)
1	しない	17.2	118
2	30分未満	17.3	119
3	30分～1時間	24.9	171
4	1～2時間以内	28.1	193
5	2時間以上	12.4	85
	合計	100.0	686



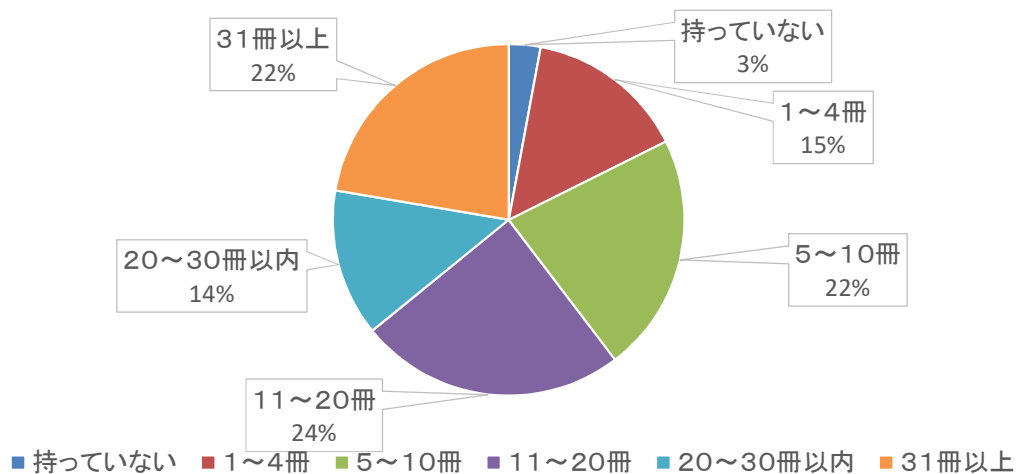
質問5	お子さんには好きな本がありますか。	割合 (%)	件数 (人)
1	はい	82.9	569
2	いいえ	17.1	117
	合計	100.0	686



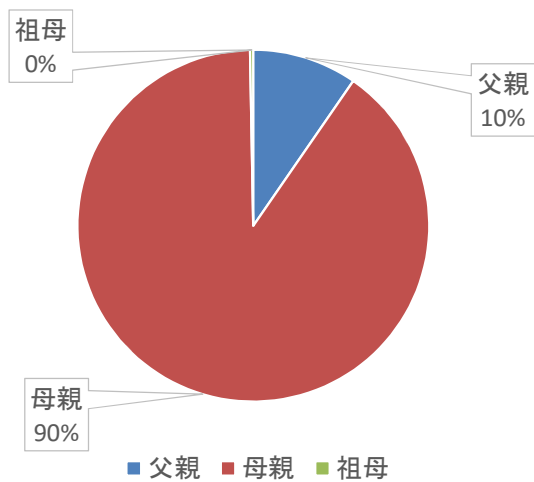
質問6	お子さんは絵本や本を読んでもらうのが好きですか。	割合 (%)	件数 (人)
1	はい	80.6	553
2	いいえ	19.4	133
	合計	100.0	686



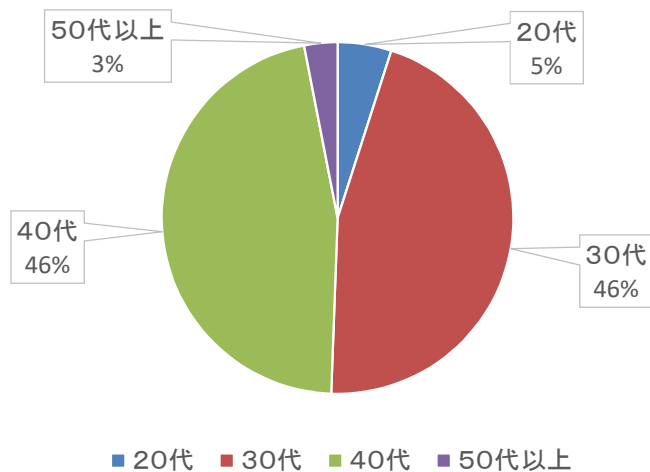
質問7	お子さんは、自分の絵本や物語・図鑑等の本をどのくらい持っていますか。	割合 (%)	件数 (人)
1	持っていない	2.9	20
2	1～4冊	14.7	101
3	5～10冊	22.0	151
4	11～20冊	24.5	168
5	20～30冊以内	13.6	93
6	31冊以上	22.3	153
	合計	100.0	686



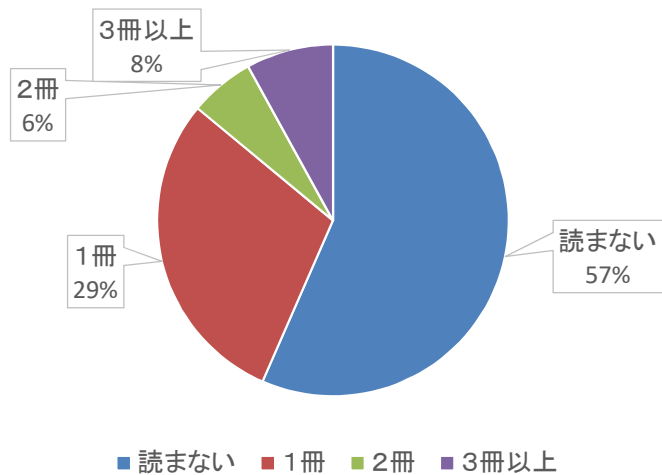
質問8	あなたは、お子さんから見て何にあたりますか。	割合 (%)	件数 (人)
1	父親	9.6	66
2	母親	90.1	618
3	祖母	0.3	2
	合計	100.0	686



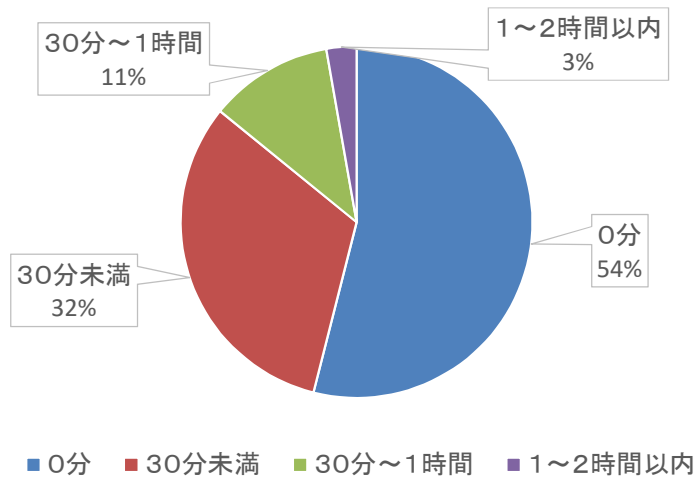
質問8-1	あなたは、どの世代ですか。	割合 (%)	件数 (人)
1	20代	5.0	34
2	30代	45.6	313
3	40代	46.4	318
4	50代以上	3.1	21
	合計	100.0	686



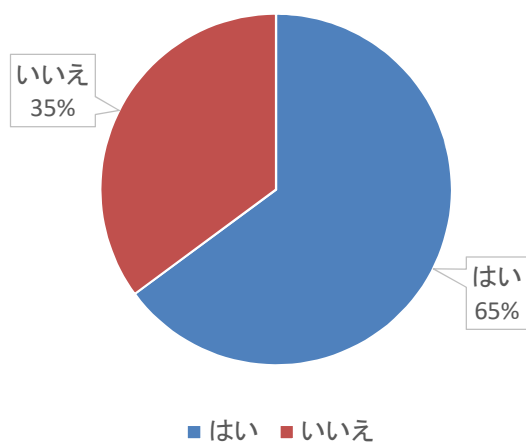
質問9	あなたはだいたい週に何冊の本を読みますか（読みかけの本も含めます）	割合 (%)	件数 (人)
1	読まない	56.6	388
2	1冊	29.4	202
3	2冊	6.0	41
4	3冊以上	8.0	55
	合計	100.0	686



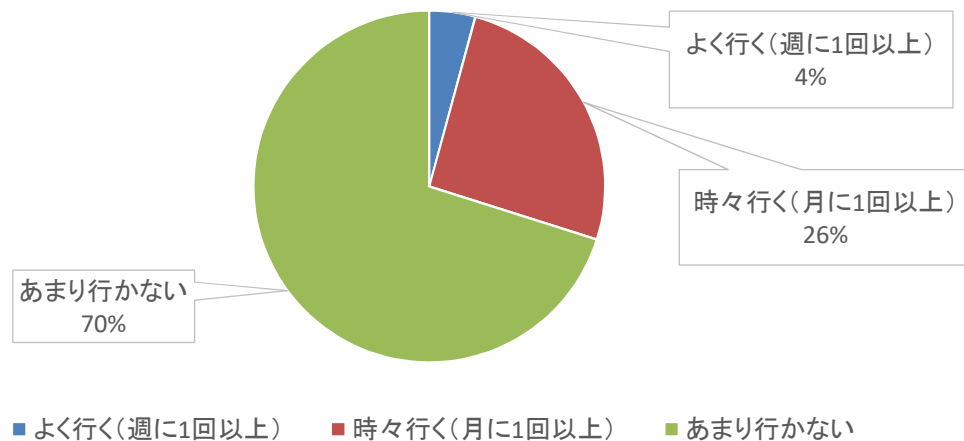
質問10	あなたが本を読む時間は1日どれくらいですか。（平均して）	割合（％）	件数（人）
1	0分	53.9	370
2	30分未満	31.9	219
3	30分～1時間	11.4	78
4	1～2時間以内	2.8	19
	合計	100.0	686



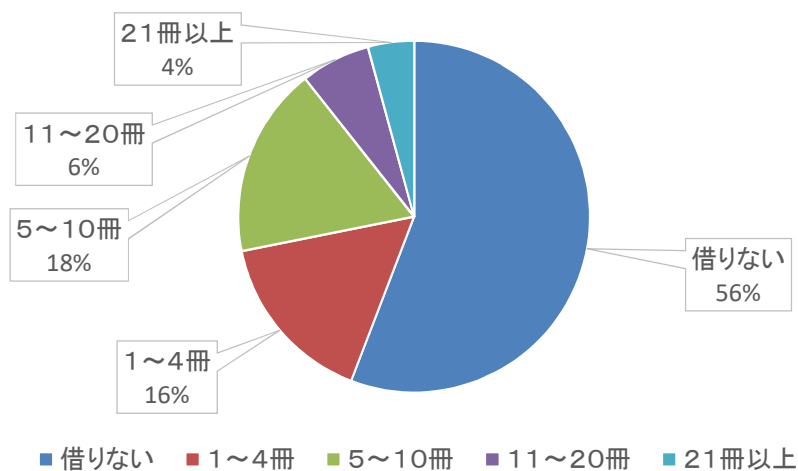
質問11	子どもに絵本を読んだり、おはなしを聞かせたりするのが好きですか。	割合（％）	件数（人）
1	はい	64.9	445
2	いいえ	35.1	241
	合計	100.0	686



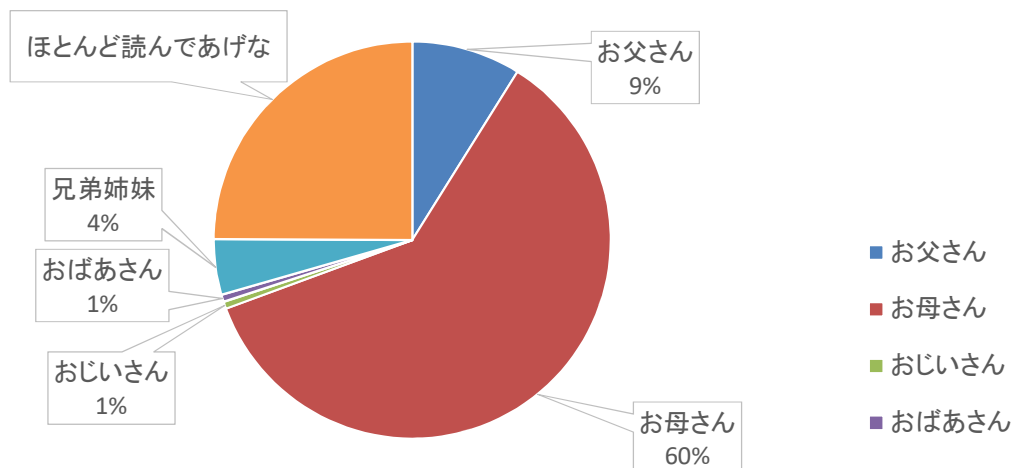
質問12	家族で、市立図書館（室）に行きますか。	割合（％）	件数（人）
1	よく行く（週に1回以上）	4.2	29
2	時々行く（月に1回以上）	25.7	176
3	あまり行かない	70.1	481
	合計	100.0	686



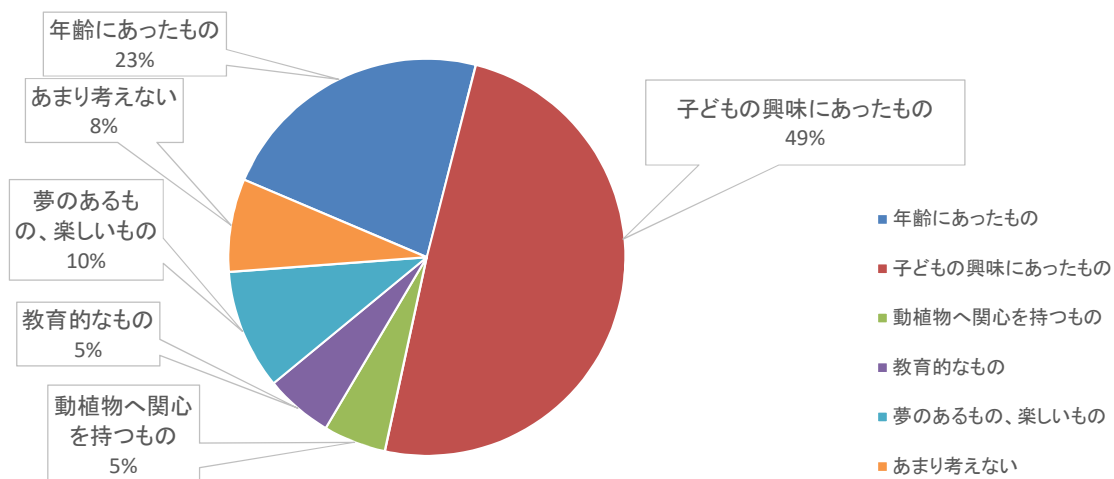
質問13	家族で、市立図書館（室）でだいたい月に何冊くらい本を借りますか。	割合（％）	件数（人）
1	借りない	55.8	383
2	1～4冊	16.0	110
3	5～10冊	17.5	120
4	11～20冊	6.4	44
5	21冊以上	4.2	29
	合計	100.0	686



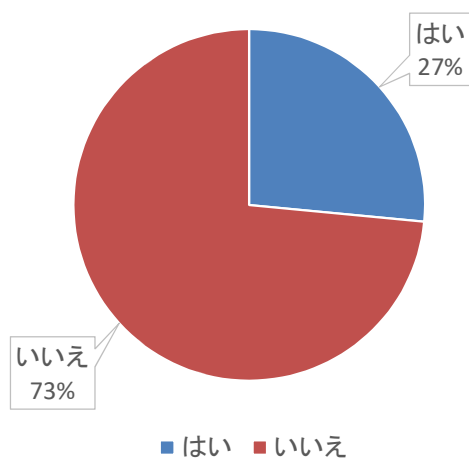
質問14	家で主に、お子さんに絵本や本を読んであげるのは誰ですか。	割合 (%)	件数 (人)
1	お父さん	8.9	61
2	お母さん	60.5	415
3	おじいさん	0.6	4
4	おばあさん	0.6	4
5	兄弟姉妹	4.5	31
6	ほとんど読んであげない	24.9	171
	合計	100.0	686



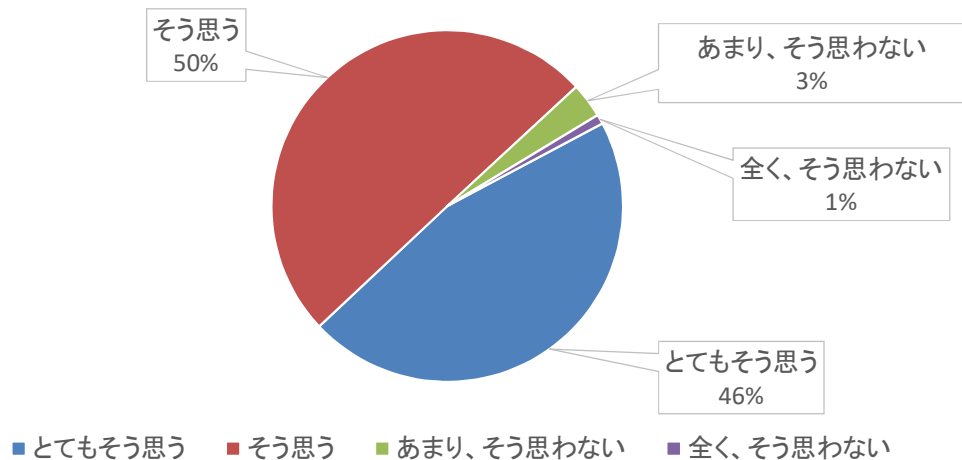
質問15	子どもの本を選ぶとき、どんな本を選んでいきますか。(2つまで)	割合 (%)	件数 (人)
1	年齢にあったもの	22.6	155
2	子どもの興味にあったもの	49.4	339
3	動植物へ関心を持つもの	5.1	35
4	教育的なもの	5.5	38
5	夢のあるもの、楽しいもの	9.8	67
6	あまり考えない	7.6	52
	合計	100.0	686



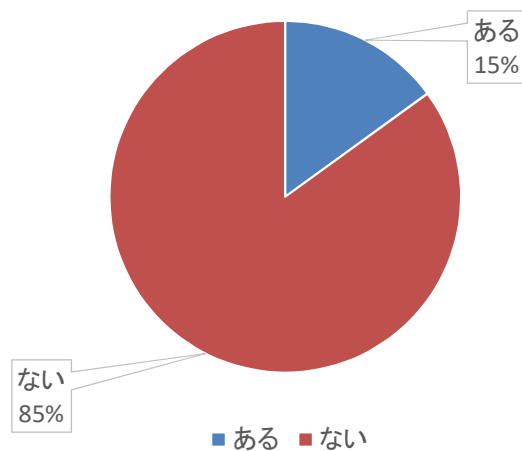
質問16	ノーメディアデー（テレビやスマホなどを見ない日）を実施していますか。	割合（%）	件数（人）
1	はい	26.5	182
2	いいえ	73.5	504
	合計	100.0	686



質問17	あなたは、「子どもにとって、本を読むことは大切」と思いますか。	割合（%）	件数（人）
1	とてもそう思う	45.8	314
2	そう思う	50.1	344
3	あまり、そう思わない	3.2	22
4	全く、そう思わない	0.9	6
	合計	100.0	686

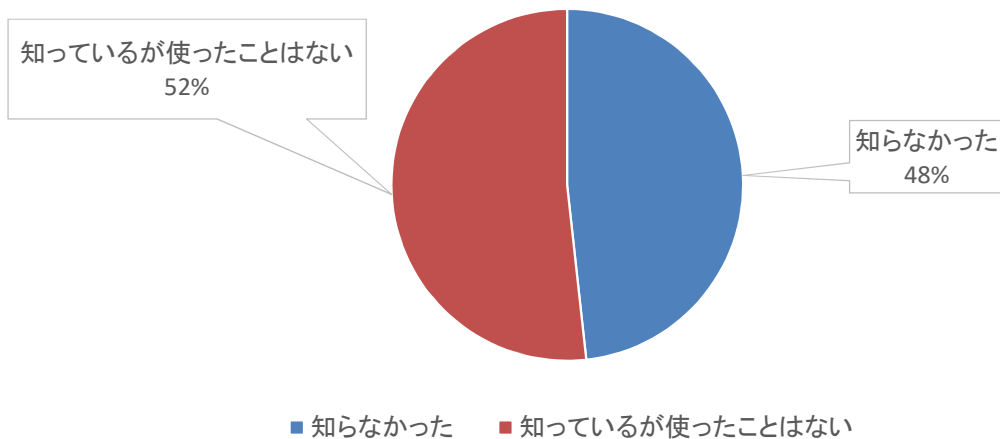


質問18	「さいかい電子図書館」を利用したことがありますか。	割合（%）	件数（人）
1	ある	15.0	103
2	ない	85.0	583
	合計	100.0	686

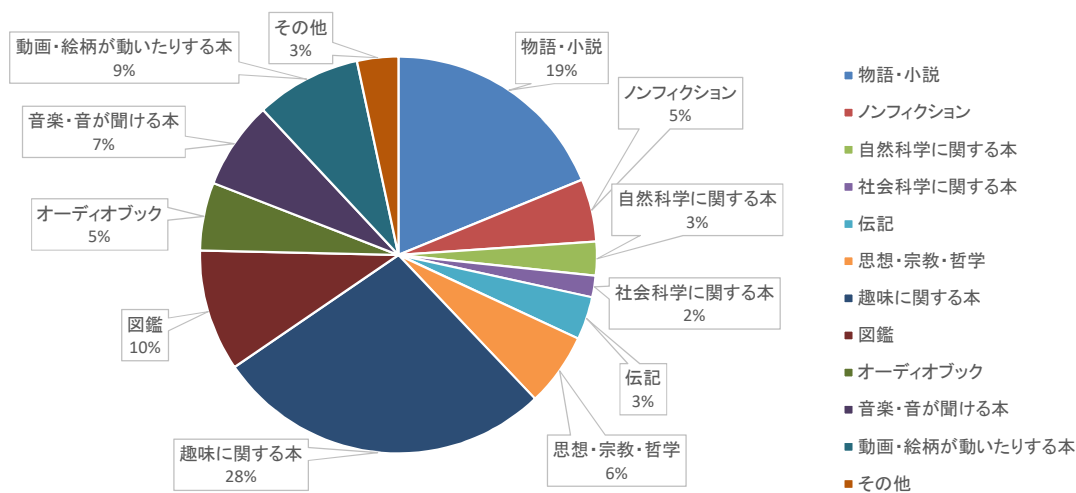


質問18-1	「利用したことがない」と答えた人に聞きます。 利用しない理由を教えてください。	割合（%）	件数（人）
1	知らなかった	48.0	280
2	知っているが使ったことはない	51.5	300
	合計	99.5	580

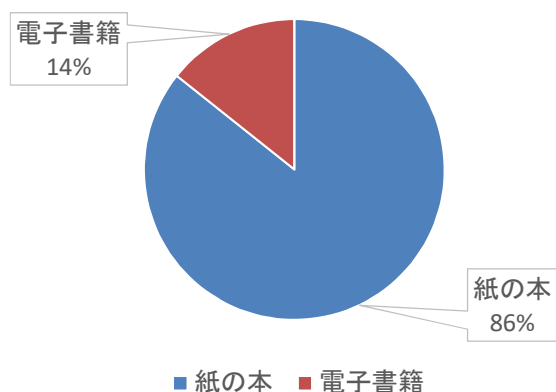
無効回答有



質問19	電子図書館にどんな本があったら利用したいですか。	割合 (%)	件数 (人)
1	物語・小説	18.8	129
2	ノンフィクション	5.1	35
3	自然科学に関する本	2.8	19
4	社会科学に関する本	1.7	12
5	伝記	3.5	24
6	思想・宗教・哲学	6.0	41
7	趣味に関する本	27.6	189
8	図鑑	9.9	68
9	オーディオブック	5.5	38
10	音楽・音が聞ける本	7.1	49
11	動画・絵柄が動いたりする本	8.6	59
12	その他	3.4	23
	合計	142.6	686



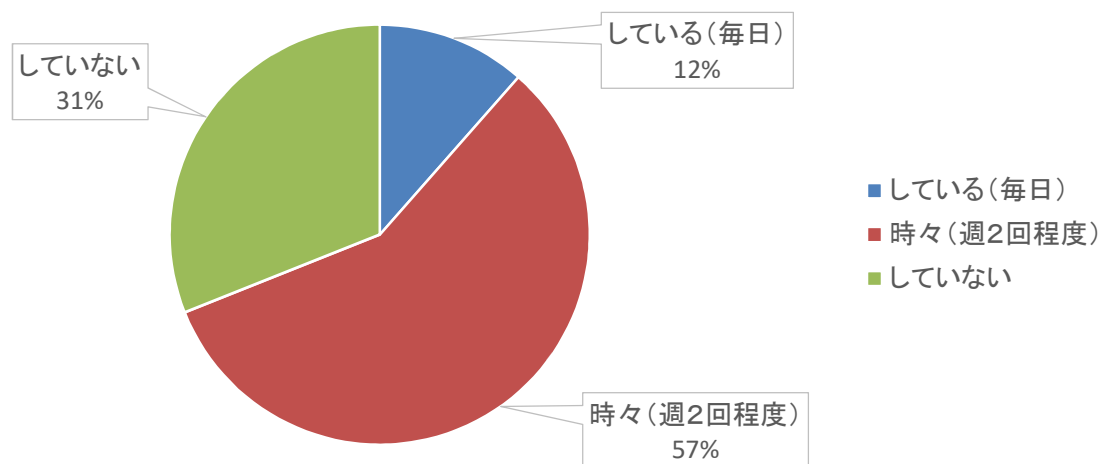
質問20	紙の本と電子書籍どちらの本が好きですか。	割合 (%)	件数 (人)
1	紙の本	85.7	588
2	電子書籍	14.3	98
	合計	100.0	686



(8) ブックスタート アンケート調査結果

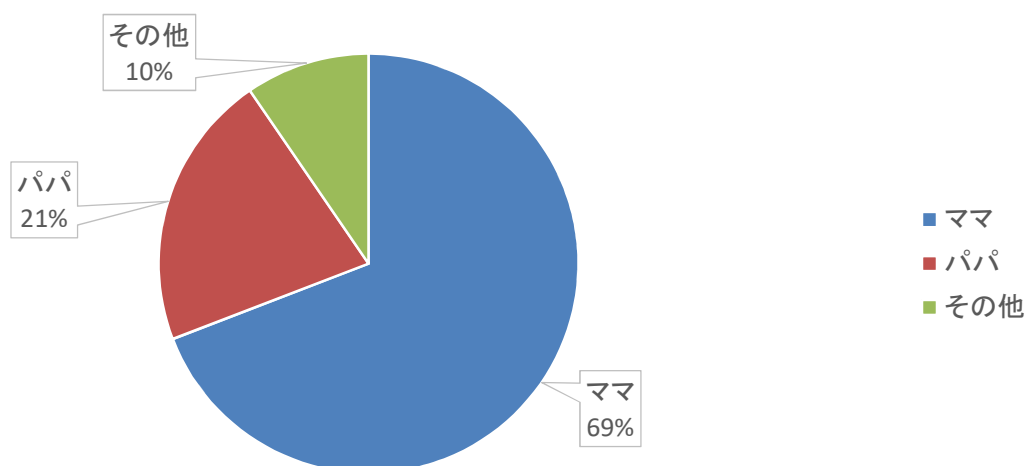
質問1	読み語りはされていますか？	割合 (%)	件数 (人)
1	している (毎日)	11.1	10
2	時々 (週2回程度)	55.6	50
3	していない	30.0	27
	合計	96.7	87

無効回答有



質問2	読み語りはだれがされていますか？	割合 (%)	件数 (人)
1	ママ	72.2	65
2	パパ	22.2	20
3	その他	10.0	9
	合計	104.4	94

複数回答有



読書アンケート結果まとめ

○小学生(移動図書未実施校)

(1) 特長

- ・一週間に3冊以上本を読む児童は 48.0%おり、約半数の児童が2～3日に1冊以上読書を行っていることが把握できた。本を借りる冊数についても「月に 11～20 冊借りる」と回答した児童は 19.9%、21 冊以上借りる割合は 16.3%と、多く読書をする習慣がある児童が存在することがわかった。
- ・「学校に読み読みの時間があってもいいと思う」と回答した割合は 84.7%であり、読み読みに対する関心があることがわかった。
- ・「本を読むことは大切だと思うか」との質問に「とてもそう思う」と回答した割合は 50.4%、「そう思う」と回答した割合は 37.6%であり、高い割合で読書の重要性についての認識があることが把握できた。
- ・「紙の本と電子書籍どちらの本が好きか」の質問に「紙の本」と回答した割合は 80.1%、「電子書籍」と回答した割合は 18.3%であり、80%以上の高い割合で紙の本が好きであることが把握できた。

(2) 前回(第3次)と比較して回答に変化があった項目

- ・1日に本を読む時間が30分以内 ⇒ 74.5% (前回 42.4%) ↑
- ・1日にテレビを見る時間が1時間以上 ⇒ 61.9% (前回 72.0%) ↓
- ・1日に電子メディアを使用する時間が1時間以上 ⇒ 50.4% (前回 33.9%) ↑
- ・授業以外での学校図書室を利用しない ⇒ 12.0% (前回 6.2%) ↑
- ・月に1冊も本を借りない ⇒ 4.9% (前回 27.2%) ↓
- ・本をだれかに読んでもらうのが好き ⇒ 51.2% (前回 38.9%) ↑
- ・家でだれにも本を読んでもらっていない ⇒ 78.5% (前回 68.5%) ↑
- ・学校に読み読みの時間があってもいいと思う ⇒ 84.7% (前回 75.9%) ↑
- ・「本を読むことは大切」と思う ⇒ 88.0% (前回 80.6%) ↑

(3) 課題点

- ・月に1冊も本を借りない児童は 4.9%で、借りない主な理由は、以下のとおりである。
 - ◎読書がきらいだから
 - ◎借りたい本がないから(あまり好きな本がない)
 - ◎面倒くさいから(返すのが面倒くさい、昼休みに借りに行くのが面倒くさい)
 - ◎まだ読んでいない本が家にあるから

◎なくすから

◎借りたいけど遊びが優先になってしまうから

- ・本をだれかに読んでもらうのは好きではないと回答した割合は 48.8%であり、家の人と一緒に本を読んだり、本について話し合うことをほとんどしないとの回答は 55.0%で半数を超えている。このことから、あまり他の人と読書活動を共有する傾向にないことがわかった。
- ・「さいかい電子図書館」を利用したことないと回答した割合は 85.6%であり、その理由は、知らなかったが 81.8%、知っているが使ったことはないが 17.8%であった。知名度が低いことがわかった。

○小学生(移動図書実施校)

(1) 特長

- ・一週間に3冊以上本を読む児童は 47.2%であり、半数近くである。
- ・「本を月に 11～20 冊借りる」と回答した児童は 22.5%、「21 冊以上」と回答した割合は 15.7%であり、移動図書実施校の児童と同様、40%近くの割合で読書をする習慣がある児童の存在を把握できた。
- ・「学校に読み語りの時間があってもいいと思う」と回答した割合は 82.6%であり、移動図書未実施校の児童 84.7%より割合は低い、それでも 80%を超えており、読み語りに対する関心があることがわかった。
- ・「あなたは、「本を読むことは大切」と思いますか」との質問に対して、「とてもそう思う」と回答した割合は 52.5%、「そう思う」と回答した割合は 33.3%で、高い割合で読書の重要性についての認識があることが把握できた移動図書未実施校と同様高い割合であることがわかった。
- ・移動図書を「よく利用する(毎回)」22.7%、「ときどき利用する」38.8%を合わせた「利用する」との回答が 61.5%で、移動図書がおおむねよく利用されていることがわかった。
- ・「紙の本と電子書籍どちらの本が好きか」の質問に「紙の本」と回答した割合は 72.6%、「電子書籍」と回答した割合は 16.6%であり、70%以上の高い割合で紙の本が好きであることが把握できた。

(2) 前回(第3次)と比較して回答に変化があった項目

- ・1日に本を読む時間が30分以内 ⇒ 77.2%(前回 55.7%) ↑
- ・1日にテレビを見る時間が1時間以上 ⇒ 64.3%(前回 79.5%) ↓
- ・1日に電子メディアを使用する時間が1時間以上 ⇒ 51.4%(前回 33.1%) ↑
- ・授業以外での学校図書室を利用しない ⇒ 10.5%(前回 9.0%) ↑
- ・月に1冊も本を借りない ⇒ 5.4%(前回 38.4%) ↓
- ・本をだれかに読んでもらうのが好き ⇒ 55.2%(前回 48.6%) ↑

- ・家でだれにも本を読んでもらっていない ⇒ 77.0%（前回 67.6%） ↑
- ・学校に読み語りの時間があってもいいと思う ⇒ 82.6%（前回 85.7%） ↓
- ・「本を読むことは大切」と思う ⇒ 85.8%（前回 86.0%） ↓

（3）課題点

- ・月に1冊も本を借りない児童は 5.4%、前回の 34.2%よりも大きく減少している。借りない理由は、以下のとおりである。
 - ◎読書がきらいだから
 - ◎借りたい本がないから（あまり好きな本がない）
 - ◎面倒くさいから（返すのが面倒くさい、昼休みに借りに行くのが面倒くさい）
 - ◎自分の本を持ってきているから
 - ◎借りたあと返すのを忘れて迷惑を掛けるから
 - ◎昼休みは外で遊びたいから
- ・本をだれかに読んでもらうのは好きではないと回答した割合は 44.8%であったことから、あまり他人と読書活動を共有する傾向にないことがわかった。
- ・「さいかい電子図書館」を利用したことないと回答した割合は 89.3%であり、その理由は、知らなかったが 84.7%、知っているが使ったことはないが 13.7%であった。移動図書未実施校と同様に知名度が低いことがわかった。

○中学生

（1）特長

- ・一週間に3冊以上本を読むと回答した割合は 16.2%であった。
- ・「本を月に11～20冊借りる」と回答した割合は 6.4%、「21冊以上」と回答した割合は 2.5%で、小学生の 40%弱と比べると、多く読書をする習慣がある生徒が少なくなっていることを把握できた。
- ・「朝の読書は楽しいですか」との質問に対して「楽しい」と回答した割合は 35.9%、「普通」と回答した割合は 51.9%で、多くの生徒が肯定的な意見であることがわかった。
- ・「あなたは、「本を読むことは大切」と思いますか」との質問に対して「とてもそう思う」と回答した割合は 49.7%、「そう思う」と回答した割合は 35.4%と、読書の重要性についての認識は小学生と同様に高い傾向であった。
- ・「紙の本と電子書籍どちらの本が好きか」の質問に「紙の本」と回答した割合は 76.4%、「電子書籍」と回答した割合は 23.6%であり、小学生と同様に 70%以上の高い割合で紙の本が好きであることが把握できた。

(2) 前回(第3次)と比較して回答に変化があった項目

- ・1日に本を読む時間が30分以内 ⇒ 71.0%(前回 68.0%) ↑
- ・1日にテレビを見る時間が1時間以上 ⇒ 63.5%(前回 73.7%) ↓
- ・1日に電子メディアを使用する時間が1時間以上 ⇒ 79.5%(前回 58.1%) ↑
- ・授業以外での学校図書室を利用しない ⇒ 22.9%(前回 15.9%) ↑
- ・月に1冊も本を借りない ⇒ 22.7%(前回 48.5%) ↓
- ・本をだれかに読んでもらうのが好き ⇒ 36.3%(前回 28.8%) ↑
- ・学校に読み語りの時間があってもいいと思う ⇒ 54.8%(前回 50.5%) ↑
- ・小さな子どもに読み語りをしても良い ⇒ 81.7%(前回 31.3%) ↑
- ・「本を読むことは大切」と思う ⇒ 85.1%(前回 86.2%) ↓

(3) 課題点

- ・「月に1冊も本を借りない」と回答した生徒の割合は22.7%であり、その理由は主に以下のとおりである。加えて、理由を「借りたい本がない」とした生徒も多かった。
 - ◎読書がきらいだから
 - ◎時間がない(行く暇がない、部活や習い事で忙しい、読む時間)
 - ◎図書館に行かない(家から遠い、行けない、学校で借りる、読みたい本は学級にある)
 - ◎読みたいものを買って個人的に所有している
 - ◎面倒くさい(借りたり返したりするのがめんどろ)
 - ◎借りると自分がちゃんと返せるか心配
 - ◎用事などがあって、最後まで読めなかったりする。読む気にならない。
 - ◎友達と外で遊んでいるか、教室で遊んでいるから
- ・本をだれかに読んでもらうのは好きではないと回答した割合は63.7%と高く、あまり他人と読書活動を共有する傾向にないことがわかった。
- ・「学校に読み語りの時間があってもいいと思う生徒と、思わない生徒の割合はほぼ半数ずつであったが「いいえ」と回答した割合は45.2%で、小学生と比較すると否定的な割合が高い。
- ・「さいかい電子図書館」を利用したことないと回答した割合は91.7%であり、その理由は、知らなかったが76.8%、知っているが使ったことはないが14.2%であった。小学生と同様に知名度が低いことがわかった。

○高校生

(1) 特長

- ・「一週間に1～2冊本を読む」と回答した割合は62.6%で、高い割合であった。

- ・「紙の本と電子書籍どちらの本が好きか」の質問に「紙の本」と回答した割合は 73.2%、「電子書籍」と回答した割合は 26.8%であり、小・中学生と同様に 70%以上の高い割合で紙の本が好きであることが把握できた。

(2) 前回(第3次)と比較して回答に変化があった項目

- ・1日に本を読む時間が30分以内 ⇒ 28.9% (前回 68.6%) ↓
- ・西海市立図書館を利用しない ⇒ 88.5% (前回 82.6%) ↑
- ・西海市立図書館で本を借りない ⇒ 65.1% (前回 61.0%) ↑
- ・小さな子どもに読み語りをしたい ⇒ 34.9% (前回 43.0%) ↓

(3) 課題点

- ・本を読むことがあまり好きではない生徒は 41.4%で、小学生・中学生と比較すると高い割合であった。
- ・市立図書館(図書室)を利用しない割合は 88.5%、月に1冊も本を借りないと回答した割合は 65.1%であり、「借りたい本がない」との理由が最も多かった。
- ・これから生きていく上で読書が必要かどうかかわからないと回答した割合は 28.7%で、前回の 32.6%と同様に読書の重要性の認識が薄いことが把握された。
- ・「さいかい電子図書館」を利用したことないと回答した割合は 98.4%であり、その理由は、知らなかったが 88.6%、知っているが使ったことはないが 9.5%であった。小・中学生と同様に知名度が低いことがわかった。

○教員(幼稚園・保育所・小学校・中学校)

(1) 特長

- ・「読書の時間があった日の子どもの様子はいかがですか」との質問に対して「落ち着いている」と回答した割合は 51.2%であった。
- ・「読書の時間は子どもたちの読書意欲向上につながっている」と回答した割合はほぼ全ての教員であり、割合は 95.0%であった。
- ・「紙の本と電子書籍どちらの本が好きか」の質問に「紙の本」と回答した割合は 91.9%、「電子書籍」と回答した割合は 8.1%であり、90%以上のかかなり高い割合で紙の本が好きであることが把握できた。

(2) 前回(第3次)と比較して回答に変化があった項目

- ・子どもたちへ読み語りをしている ⇒ 44.6% (前回 60.9%) ↓
- ・ブックトークをしている ⇒ 19.4% (前回 27.8%) ↓
- ・読書の時間があった日の生徒の様子は落ち着いている ⇒ 51.2% (前回 61.1%) ↓
- ・週に1冊も本を読まない ⇒ 36.8% (前回 43.1%) ↓

- ・1日に本を読む時間が0分 ⇒ 25.6%(前回 31.6%) ↓

(3)課題点

- ・「さいかい電子図書館」を利用したことないと回答した割合は 95.0%であり、その理由は、知らなかったが 63.7%、知っているが使ったことはないが 35.5%であった。子ども達と比べると知名度は高いが、それでもあまり使われていないことがわかった。

○教員(高校)

(1)特長

- ・「朝の 10 分間読書の時間は生徒の読書意欲向上につながっていると思う」と回答した割合は 82.6%であった。
- ・「紙の本と電子書籍どちらの本が好きか」の質問に「紙の本」と回答した割合は 97.8%、「電子書籍」と回答した割合は 2.2%であり、ほぼ全ての教員で紙の本が好きであることが把握できた。

(2)前回(第3次)と比較して回答に変化があった項目

- ・ブックトークをしている ⇒ 2.2%(前回 12.9%) ↓
- ・朝の 10 分間読書があった日の生徒の様子は落ち着いている⇒41.3%(前回 61.3%) ↓
- ・朝の 10 分間読書は生徒の読書意欲向上につながっている ⇒ 82.6%(前回 90.3%) ↓
- ・授業で学校図書室を利用していない ⇒ 71.7%(前回 67.7%) ↑
- ・西海市立図書館(図書室)を利用しない ⇒ 100.0%(前回 98.4%) ↑
- ・週に1冊も本を読みない ⇒ 26.1%(前回 9.7%) ↑
- ・1日に本を読む時間が0分 ⇒ 6.5%(前回 1.6%) ↑
- ・市立図書館で月に1冊も本を借りない ⇒ 97.8%(前回 96.8%) ↑

(3)課題点

- ・「市立図書館(図書室)を利用しない」と回答した割合は 100%であり、全く利用されていない状況が把握された。
- ・「さいかい電子図書館」を利用したことないと回答した割合は 100%であり、その理由は、知らなかったが 95.7%、知っているが使ったことはないが 2.2%であった。

○保護者

(1)特長

- ・「(お子さんは)絵本や本を読んでもらうのが好き」と回答した保護者は 80.6%で、子どもたちが絵本や本に親しんでいることがわかった。

- ・「子どもにとって、「本を読むことは大切」と思いますか」との質問に対して「とてもそう思う」と回答した割合は 45.8%、「そう思う」と回答した割合は 50.1%で肯定的な回答が多く、保護者自身に読書の重要性の認識があることがわかった。
- ・「紙の本と電子書籍どちらの本が好きか」の質問に「紙の本」と回答した割合は 85.7%、「電子書籍」と回答した割合は 14.3%であり、高い割合で紙の本が好きであることが把握できた。

(2) 前回(第3次)と比較して回答に変化があった項目

- ・お子さんが週に1冊も絵本や本を読まない ⇒ 12.4%(前回 9.6%) ↑
- ・1日に絵本や本を読む時間が0分 ⇒ 10.2%(前回 7.8%) ↑
- ・お子さんの1日あたり電子メディア利用時間が1時間以上 ⇒ 40.5%(前回 6.8%) ↑
- ・お子さんが絵本や本を読んでもらうのが好き⇒ 80.6%(前回 91.9%) ↓
- ・週に1冊も本を読まない ⇒ 56.6%(前回 63.3%) ↓
- ・1日に本を読む時間が0分 ⇒ 53.9%(前回 57.0%) ↓
- ・子どもに絵本を読んだり、おはなしを聞かせるのが好き⇒ 64.9%(前回 75.6%) ↓
- ・家族で、市立図書館に行かない ⇒ 70.1%(前回 74.3%) ↓
- ・家族で、市立図書館に月に1冊も本を借りない ⇒ 55.8%(前回 61.3%) ↓

(3) 課題点

- ・「さいかい電子図書館」を利用したことないと回答した割合は 85.0%であり、その理由は、知らなかったが 48.0%、知っているが使ったことはないが 51.5%であった。知名度は半数近くあるのに使われていないことがわかった。

〇ブックスタートパック受け渡し時のアンケート

(1) 特長

- ・「読み語りを実施している」との回答は 66.7%と高い割合を示し、「読み語りをしている人は母親が主に行っているが、父親やきょうだいも読み語りを行っているとの回答もあることから、家庭の中で絵本を通してのコミュニケーションが図られていることが伺える。

(2) 前回(第3次)と比較して回答に変化があった項目

- ・読み語りをしている(毎日) ⇒ 11.1%(前回 17.8%) ↓

(3) 課題点

- ・年齢の異なるきょうだいに読む本の選び方に迷うなどの回答があること、全ての保護者が読み語りを行っているわけではないこともわかった。

参考データ

○本を読むことが好き (％)

		小学校 (移動図書未実施校)			小学校 (移動図書実施校)			中学校		高等学校	
はい	今回	82.3	↑ 1.4		73.3	↓ 3.8		66.6	↑ 1.5	58.6	↑ 1.6
	前回	80.9	増		77.1	減		65.1	増	57.0	増
いいえ	今回	17.7	↓ 1.4		26.7	↑ 3.8		33.4	↓ 1.5	41.4	↓ 1.6
	前回	19.1	減		22.9	増		34.9	減	43.0	減

※高等学校のみ、「あまり好きではない 34.9%」と「きらい 8.1%」の合計。

○本を読むことは大切と思う (％)

		小学校 (移動図書未実施校)		小学校 (移動図書実施校)		中学校	
とてもそう思う	今回	50.4	↑ 0.2	52.5	↓ 1.6	35.4	↓ 2.5
	前回	50.2	増	54.1	減	37.9	減
そう思う	今回	37.6	↑ 7.2	33.3	↑ 1.4	49.7	↑ 1.4
	前回	30.4	増	31.9	増	48.3	増
あまりそう思わない	今回	9.0	↑ 3.6	10.5	↓ 0.1	12.9	↑ 2.3
	前回	5.4	増	10.6	減	10.6	増
全くそう思わない	今回	3.0	↑ 0.3	3.7	↑ 1.0	2.0	↓ 0.2
	前回	2.7	増	2.7	増	2.2	減

○1日の読書時間について (％)

		小学校 (移動図書未実施校)		小学校 (移動図書実施校)		中学校		高等学校		保護者	
0分 (朝読を除く)	今回	28.3		28.6		49.5		60.1		53.9	↓ 3.1
	前回	なし		なし		なし		なし		57.0	減
30分以内	今回	27.0	↓ 15.4	29.1	↓ 26.6	33.7	↓ 34.3	14.6	↓ 54.0	31.9	↑ 3.3
	前回	42.4	減	55.7	減	68.0	減	68.6	減	28.6	増
30分～1時間	今回	14.1	↓ 19.8	7.6	↓ 26.5	18.8	↓ 5.2	8.1	↓ 15.2	11.4	↑ 0.6
	前回	33.9	減	34.1	減	24.0	減	23.3	減	10.8	増
1時間以上	今回	9.5	↓ 3.3	7.8	↓ 2.2	10.1	↑ 2.3	6.2	↓ 1.9	2.8	↑ 0.8
	前回	12.8	減	10.0	減	7.8	減	8.1	減	2.0	増

○1日に電子メディア(ゲーム、インターネット、携帯電話等)をどのくらい使用しますか(％)

		小学校 (移動図書未実施校)		小学校 (移動図書実施校)		中学校	
1～2時間以上	今回	50.4	↑ 16.5	51.4	↑ 18.3	79.5	↑ 21.4
	前回	33.9	増	33.1	増	58.1	増

○「1日にテレビをどのくらい見ますか」との質問について (％)

		小学校 (移動図書未実施校)		小学校 (移動図書実施校)		中学校	
1～2時間以上	今回	61.9	↓ 10.1	64.3	↓ 15.2	63.5	↓ 10.2
	前回	72.0	減	79.5	減	73.7	減

○「朝の読書は楽しいですか」との質問について

(%)

		小学校 (移動図書未実施校)		小学校 (移動図書実施校)		中学校	
楽しい	今回	55.9	↑ 0.6	57.5	↓ 2.4	35.9	↓ 4.7
	前回	55.3	増	59.9	減	40.6	減
あまり楽しくない	今回	8.4	↓ 0.5	9.8	↓ 0.2	12.2	↓ 5.0
	前回	8.9	減	10.0	減	17.2	減

資料2

西海市立図書館協議会委員名簿

(任期: 令和3年6月1日～令和5年5月31日)

No.	役職	氏名	選出団体
1	委員長	富永 清貴	西海市社会教育委員会
2	副委員長	下川 太郎	西海市校長会
3	委員	岸下 雅美	西海市PTA連合会
4	委員	長岡 文子	西海市地域婦人会
5	委員	谷口 雅樹	SYNC
6	委員	小森 わかな	西海市教育委員会学校教育課
7	委員	豊田 久美子	学校図書館司書
8	委員	大串 久美子	図書ボランティア
9	委員	武藤 仁美	西海市保育会

資料3

西海市立図書館(室)一覧

No.	図書館(室)名	所在地	電話番号	蔵書数 (冊)
1	西彼図書館	西彼町喰場郷 736 番地4	0959 37-0228	58,734
2	大島図書館	大島町 1922 番地2	0959 37-0247	58,079
3	西海歴史民俗資料館 図書室	西海町黒口郷 488 番地1	0959 37-0234	42,086
4	崎戸中央公民館 図書室	崎戸町蠣浦郷 1645 番地1	0959 37-0158	9,849
5	大瀬戸歴史民俗資料館 図書室	大瀬戸町瀬戸西濱郷 61 番地1	0959 37-0268	36,726
合 計				205,474

※蔵書数は 2022 年3月末時点

資料4

用語の意味索引(あいうえお順)

索引	語句(五十音順)	頁数
あ	朝読	14
う	WEBOPAC(ウェブオーパック)	17
え	SNS	6
え	LLブック	9
お	オーディオブック	9
お	おはなし(おたのしみ)会	7
か	家族10分間読書	11
が	学習・情報センターとしての学校図書館	13
こ	ココロねっこ運動	11
こ	こどもの読書週間	6
こ	コミュニティ・スクール(学校運営協議会)	12
さ	西海市図書館まつり	6
し	市立図書館だより『かのこゆり』	8
と	図書司書	6
と	図書除菌機	9
と	とりよせくん	17
ど	読書センターとしての学校図書館	28
ど	読書週間	6
ど	読書ラリー	7
の	ノーテレビデー	11
の	ノーメディアデー	11
び	ビブリオバトル	14
ぶ	ブックスタート	5
ぶ	ブックトーク	10
ぶ	ブックリサイクル	7
や	ヤングアダルト	8
よ	読み語り	5
れ	レファレンス	5

